

<h1>凌 泳</h1> <p>表紙題字 藤井正太郎 先生</p>	
野田会長メッセージ	2
長谷川幹事長メッセージ	3
平成19年度 役員案	4
祝・水球チーム 平成18年度 神戸大学 課外活動優秀団体賞受賞	5
現役部員寄稿Ⅰ	6
主将 大川 広己	6
競泳主任 土方 了輝	7
水球主任 司馬 竜也	8
主務 芝井 隆	9
追悼	10
【特集】	
2006年・凌泳会	12
アンケート結果報告	
月見の宴	23
関東支部総会	24
関東支部忘年会	25
アンケートのご意見から 今回初登場!!	
【リレーエッセー】	26
平成卒代表 甲野 賢(平1)	27
女性代表 小笠原陽子(昭50)	28
昭和卒代表 石井義章(昭27)	30
【寄稿】	31
安茂 弘(昭39)	31
酒井 正人(昭53)	32
【マスターズ活動記録】	33
(06年1月～12月)	
■会員からのお便り	40
凌泳会総会	40
月見の宴	44
卒部の辞	48
現役部員寄稿Ⅱ	67
現役部員紹介	
4回生	67
3回生	69
2回生	72
平成18年度 水泳部活動報告	74
【歴代記録】	104
歴代10傑(競泳)	104
水球歴代戦績(初登場)	109
商船大歴代10傑	111
(みずむし会のいわれ)	121
平成18年度 凌泳会総会報告	122
平成17年度 凌泳会会計報告	125
平成17年度 神戸大学体育会 水泳部会計報告	126
■編集後記 (寄稿のお願い)	128

## 平成年代に期待する

凌泳会会長 野田 浩志・昭 36

昨年の総会で故 富岡前会長の後を継ぐ様指名を受けました。会の活性化に取り組みました前会長の御遺志を継承することは勿論ながら、終わりの無い課題であると受け止めております。精一杯努力を傾注して参りたいので会員諸氏のご支援、御鞭撻をお願いします。

昨年、現役陣は良く頑張りました。水球面では連続のインカレ出場、競泳面でも全国国公立出場を共に果たし当初の目標を達成。これ偏に、個人個人の自己ベストの集積であろうと思います。先輩として強い水泳部は頼もしいだけでなく、自分の現役時代と重ね合わせて元気を与えられるものであります。競泳、水球共に次の一勝への壁は高いけれども全員が力を合わせて乗り越えて下さい。

本誌の装丁を変えました。会の活性化の参考とするためにと昨年実施したアンケートの結果から早速出来ることを実施したものです。集約結果を本誌に掲載しているのでご覧下さい。会員からの熱意溢れるご協力に感謝すると共に頂きました御意見、御批判をこれからの会の運営に反映させて会員相互の連絡と親睦の実を挙げ、水泳部の発展に寄与したいと考えています。総会には今出来る事他将来に向けて取り組みたい課題を提起します。これから1年掛けて議論に参加して下さい。

平成の時代も19年となり平成年代卒の会員が凌泳会会員のほぼ半数を占めるに至りました。平成年代卒の会員は今や社会における中核的存在であります。当然のことながら、これからの凌泳会にあっても現役と昭和世代との橋渡しの役割を超えて諸行事への参加、試合への応援、会費の納入などに中核的役割を果たして頂きたいと期待しています。

御承知のように凌泳会では会員から寄せられた会費と寄付金の中から年間約100万円の他インカレ出場などの必要に応じたカンパなどにより現役部員の活動を支援していますが、シーズンの長期化や試合数の増加によって現役部員の金銭的負担も少なくありません。現役時代に受けた先輩からの支援に思いを致し会費の納入にご協力をお願いします。

会員相互のコミュニケーションはここ数年間でインターネットの活用や名簿の整備によって大きく改善されました。しかし会員名簿をご覧頂くと消息不明者が意外と多く、謂わば「虫食い状態」が見られます。連絡が取れないことが、「会のコミュニケーション不足」の一因でもあるので、会員同士特に一緒に現役生活を過ごした仲間同士で相補って下さい。

今年は全国国公立戦が神戸で行われます。神戸大学が当番校となりますので、応援方々協力をお願いします。

## ご挨拶

凌泳会幹事長 長谷川 健・昭 49

昨年の総会にて幹事長の大役をおおせつかりました長谷川でございます。会員の皆様にはご挨拶が遅くなり、申し訳ございません。凌泳誌上をお借りして改めてご挨拶申し上げます。精一杯努めさせていただきますので、どうかよろしく願い申し上げます。

幹事長を拝命してまもなく一年が過ぎようとしています。野田新会長の下、凌泳会の永遠の課題とも言える「会の活性化」のために何を行えばよいか、模索の中の一年でした。有難いことに昨年の総会で活性化のための「アンケートの実施」の提案がなされ、実施することが出来ました。本誌がお手元に届く頃には、本年の総会でアンケート結果の報告がなされ、活性化のための「具体策」が提案されていることと思います。一步一步着実に進めていきたいと思えます。主務を中心に現役諸君のご協力を期待するところ大であります。

小生、一昨年の全国大会の折は実行委員長の大役を仰せつかりました。小生自身は大したことも出来ず、実行委員の皆様のお力によるところが非常に大きかったのですが、おかげさまで盛会となり、その時、私は改めて凌泳会の底力を感じました。幹事役が何がしかの機会を作れば大いに盛り上がる事が出来るとの確信を持ちました。

「具体策」を着実に進めていくことで、毎年全国大会の時のような賑わいのある総会や応援のプールサイドにしたいと思えます。

昨年の三商大戦は神戸で行われました。応援に来場のOBは当然かもしれませんが神戸が最も多かった。市大で行われた市大戦の来場OBも市大より多く、市大恒泳会幹事長よりうらやましいとの言葉がありました。これは偏に私にとっても大先輩に当たる諸先輩の来場の賜物であり、声をかけていただいた先輩には頭が下がります。ただ、この形が各世代に広がればと思います。試合応援のあとは同期会となったら、二次会、三次会となれば、それはそれですばらしいと思えますし、年に一回はそのような機会があってもいいじゃないですか。それが、凌泳会総会の日になるか、三商大戦の日になるか、各世代で決めていただき参加していただければと思います。

取り留めのない文章を書きました。卒業以来初めての投稿ではないかと思えます。悪文お許しください。

最後になりましたが、今シーズンもよろしく願います。プールサイドでお目にかかりたいと存じます。

## 平成19年度 凌泳会役員(案)

会長 野田 浩志(昭36 営)

副会長 田渕 五郎(昭30 営) 得丸 哲士(昭46 農)

監事 佐藤 一夫(昭30 法)

幹事長 長谷川 健(昭49 経)

幹事 岡村 司(昭34 法) 北村 敏(昭34 経) 萩原 武(昭37 工)  
岡田 重義(昭37 営) 佐敷 定雄(昭49 農) 桑本 万理(昭55 教)  
上田 剛弘(昭56 営) 吉田不二彦(昭60 営) 羽瀬 智文(平2 法)  
西村 尚(平6 商船大)

コミュニケーションシステム担当 家門 秀行(平5 理)

凌泳編集担当 川本 典子(昭51 工)

現役監督担当 金 一波(昭59 経Ⅱ)

会計担当 諫山 大介(平9 発)

名誉顧問 吉野 栄(昭15 学) 石井 義章(昭27 学)

特別顧問 西田 修身(特別会員)

顧問 山口 宗樹(昭16 学) 三宅 林(昭21 学)

支部幹事

(関東) 支部長 田渕 五郎(昭30 営)

黒田 英雄(昭35 営) 林 莊八郎(昭38 経)

佐敷 定雄(昭49 農) 徳永 守(昭63 農)

成田 康修(平11 営Ⅱ)

(中部) 支部長 手嶋 忠之(昭41 理)

(中国) 支部長 今井 政一(昭24 専)

(四国) 支部長 以西 吉一(昭45 工)

(九州) 支部長 谷水 利行(昭59 法)

運営委員

平成卒の各学年の幹部経験者(各学年1名)に委嘱する

# 祝・水球千一

## 平成18年度 神戸大学課外活動優秀団体賞受賞

去る2007年3月16日、課外活動において目覚しい活躍をした団体及び個人に対する表彰式が、神戸大学百年記念館六甲ホールで行われました。平成18年度の受賞は4団体・9個人。水泳部・水球チームは団体表彰を受けました。

表彰式では、野上智行学長から、各団体・部員に表彰状が手渡され、被表彰者を代表してカヌー部の工学部4年・竹田広希さんが挨拶しました。



Photo 課外活動表彰風景(神戸大学広報室提供)

### 被表彰団体(優秀団体)

- 水泳部(水球)
- 競技ダンス部
- 男子バスケットボール部
- フットサル部

### 被表彰者(優秀部員)

- アメリカンフットボール部  
     発達科学1年 大園 樹

### 被表彰者(優秀部員・卒業年度者)

- 硬式野球部 法4年 佃 勝也
- 男子バスケットボール部  
     経営4年 守口 大
- 卓球部 経済4年 貴戸 崇能
- 柔道部 農4年 長光 孝昌
- カヌー部 工4年 竹田 広希
- カヌー部 経営4年 中野陽介
- フットサル部 経済4年 鴨 宏一
- 吹奏楽部 工4年 平田 健悟

## 主将として

主将 大川 広己

今年度主将を務めさせていただくことになりました大川広己です。僕自身、まだまだ未熟な面が多いですが、仲間と協力し合い、懸命にがんばっていきたくて思っておりますのでよろしく願いいたします。

私は、主将として「強いチーム」とは何であるかを常に探し求めて行動していきたいと思えます。「チームが強い」ということは、ただ戦力が豊富で、試合に強いただけということではないと私は思っています。部員同士の思いやり、部員自身の部活に対する強い意志、さまざまなものに対する感謝の気持ちなどなどが合わさって「強いチーム」を形成するのではないかと考えています。私はそういったことから、例年以上にミーティングの回数を増やしていこうと考えています。競泳においては月一の幹部MT、全体MTをおこない、部員同士の意見交換や、意識の向上に努めています。水泳部全体

としても、定期的にMTを開いて、各面の情報交換を行ったり、行事に関しての話し合いを行っています。また、日ごろお世話になっているOB様方や他大学とのつながりあいも今まで以上に意識して、交流を深めていきたいと考えています。

「強いチーム」とは何であるか。その答えをこのシーズンを通して部員全員と見つけ出していきたいと思えます。

また、今年度競泳では全国国公立選手権の主幹校に当たっております。より一層のチームの団結力が求められると思えます。各個人が自分の能力を生かして働くことによって、すばらしい大会になるようがんばっていきたくて考えています。

最後になりましたが、今年度もOBの方々には沢山の協力をお願いすることになると思えますが、応援のほうよろしく願いいたします。

## 競泳主任として

競泳主任 土方 了輝

平成19年度シーズンに競泳主任を務めさせていただくことになりました土方了輝です。競泳の経験者ではありますが主任のような役割は初めてで、なかなかうまく立ち回れないことがあるかもしれませんが、主任としてチーム全体を支え、個人の結果でしっかり貢献し、更に全体の士気を上げられるように精一杯頑張っていきます。

さて、昨年度の神戸大学水泳部は人数という観点からもわかると思いますが、とても危機的な状態でした。実力が突出しているわけでもなかったのですが、昨年度の屈辱の3部から2部の昇格は部員の限らない努力が引き寄せた結果でした。今年新たなチームで戦うことになりますが、昨年の努力と粘りを忘れず更に上を目指して泳ぎ、少しずつでも確実に上の成績を残せるように努力を重ねていこうと思います。

具体的な目標としましては、男子全国公団体権の獲得は当たり前の

こととして、今年は神戸で開催される全国国公立に全員で出場すること、そしてリレー・個人ともに決勝に必ず残ること、そして関西学生選手権で全員が決勝に残り5位以上で残留することを挙げています。困難なこともありますがチームの全員がそれを意識して練習に取り組める環境を作ろうとしています。今年度は、これらを実現させるための工夫として主任格をもう一人置き、練習の面で効率的な役割分担を行って効果的な練習を行える環境づくりを目指しました。他大学との交流も積極的に増やし、知らない知識や技術を会得できるような機会も持てるようにしています。陸上トレーニングも多く行い基本的な体造りを徹底しようとしています。

これらの競技的な部分もしっかりこなすと同時に、部員一人一人をしっかり見て主任としての信頼を得てうまくチームをまとめていけるように努力していきますので、どうか今年も神戸大学水泳部をよろしく願いいたします。

## 水球主任として

水球主任 司馬 竜也

今年度水球主任を務めさせていただき  
ます司馬です。まだまだチームを統括する  
ことの大変さが分かったばかりで至らない  
点も多くありますが自分にできるだけの事  
はしていくつもりです。よろしくお願いいたします  
します。

私個人の話をする、今年は大学で水  
球をして三年目、高校から数えると六年目  
となる年です。全国的にはジュニアから経  
験しているものも沢山いますが関西に限っ  
て言えばもうベテランと言っても過言では  
ないほどの水球暦を持っていることになり  
ます。これまではチームの一選手として試  
合に出ていましたがもうチームの柱となら  
なくてはならないと思っております。これま  
では守りを重視したプレーヤーでしたが攻  
撃でも活躍できるようなプレーヤーを目指  
して日々練習に励んでおります。

次に主任として考えていることで、現在  
選手が一人足りておらず、何としてもメンバ  
ーを補充することが最初の課題です。補充  
が出来たなら次は秋のリーグ戦までチーム  
の皆には筋力、泳力、状況判断力を養っ  
てもらおうと思っています。高校時代のチ  
ームメイトや知人のクラブチームの人にも

協力をお願いして実戦形式で質の高い練  
習も計画しております。

ここ二年続けてインカレにも出場でき  
ており、現役の皆には昨年の最上回生が抜  
けた状況ではあります、「今年も負けな  
い」というプライドがあると思っております  
ので、私が主任の年でインカレに行けな  
かったということがないようにしたいです。「勝  
つ」ことに食欲なチーム作りを目指します。  
それにはやはり各個人で自信を持ってもら  
わないといけない、効率のいい練習を考え  
る事も私に課せられた使命だと考えており  
ます。

最後になりましたが、今年も皆様応援よ  
ろしくお願いいたします。



Photo 水球メンバー(2006年・水球HPより)

## 主務として

主務 芝井 隆

19年度主務を務めさせて戴きます  
芝井 隆です。

諸先輩方には、多多、お世話になる  
ことがあるかと思いますが、どうぞ宜  
しくお願い致します。

今は未だ、これから自分が主務と  
して十分に活躍出来るかどうか、とい  
う不安もある中、この文章を執筆して  
いる段階ではありますが、この、神戸  
大学体育会水泳部が、より強いチー  
ムへと成長できる様に、自分には何  
ができるか、ということを考えながら、

広い視野と柔軟な思考を以って、役  
職を務めてゆきたいと思えます。

また、諸先輩方のご支援が大きな  
原動力となっております。そのことに  
感謝し、凌泳会の皆様との結び付き  
をより一層強くし、神大水泳部をより  
強く、安定感のある組織としていける  
よう、強い意識を持って何事にも臨  
んで行ければ、と考えています。  
最後に、これからも応援よろしく願  
い致します。



Photo 六甲台プール(2006年8月12日・旧三商大戦)

【追 悼】

嗚 呼 井 川 先 輩

石井 義章・昭 27



photo 三商大水上競技大会(昭和22年7月28日 於:宝塚50米プール)

後列:左より 三宅 山越 鈴木

前列:左より 嘉納 武内 小西 井川

平成19年3月30日夜、田淵副会長からの電話で井川さんのご逝去を知らされた。あのお元気な井川さんが……、信じられない気持ちであった。

私が井川さんと最後にお会いしたのは一昨年の5月29日であった。この日六甲台講堂で凌霄思誠会(旧制神戸商業大予科の同窓会)の創立65周年記念祭と、併

せて同会の解散総会が開催された。私は会の事務局長としてその幕引きを仰せつかり多忙な一年を送った。記念祭当日200人を超す会員が集まり、井川さんも横浜から駆けつけ「おー石井君元気か、ご苦労さんやな」と労いの声をかけて下さった。

井川さんは昭和15年、前記予科の1回生として大阪住吉中学から4修で入学され

た。旧制中学は5年制であったが、成績優秀なもの4年修了で受験出来たのである。しかし翌16年12月大東亜戦争勃発、緒戦の戦果もむなしく次第に戦局は悪化し、高校・大学予科の修学年限は3年から2年半に短縮され17年9月に学部進学、更に翌18年10月には学生の徴兵延期が廃止され20歳以上の者は学業を放棄して軍務に服した、所謂「学徒出陣」である。

20年8月敗戦に伴い出陣の先輩方は再び六甲台に戻ってこられた。私は20年4月前記予科の6回生として入学したが、御影にあった校舎も寮も空襲で灰燼に帰した為、10月から再開された授業は六甲台の学部校舎を借りて行われることになった。翌21年夏、練習を始めようとした矢先プールは進駐軍に接收されてしまった。以来我々は神戸市内の小、中学校のプールを借り歩く事となった。やがて復員・復学された学部の先輩方と共に我々予科生も練習に加わった、井川さんとお出合したのもこの頃である。

井川さんは自由形の泳手であり、併せて水球でも活躍された。今回この追悼文を書くに当たり、学生時代のご活躍の様子を載せたいと古いスクラップブックを繙いたがなかなか見つからない。何分敗戦直後で紙も筆記具も不自由な頃である、僅かに昭

和22年9月14日に宝塚公認50米プールで行われた「兵庫県選手権水上競技大会」の200と400の自由形に(神経大)として井川さんのお名前を見つけることが出来た(註)。この他三商大戦、大阪市大戦等も行われたが私の手元には資料が無い。ただ「凌泳七十年史」編纂の折三宅 林先輩からご提供頂いた写真があったので掲載した。

井川さんは卒業後総合商社「丸紅」に就職され海外駐在員或いは支店長としてインド、タイ、オーストラリア等で活躍、最後は本社取締役迄登り詰められた。

井川さん、三途の川で待っていてください、私も遠からずそちらに参りますから一緒に泳ぎましょう。

合掌

(註) 名簿では20年卒業とある井川さんが22年の試合に出ておられるのを奇異に感じられるかもしれないがそれは下記の理由による。学徒出陣の学生は任地の関係で復員、復学の時期が様々であった。凌霜会では名簿作成に当たり、入学期を以て回生を割り当て、本来卒業したであろう卒業年度を卒年とした。凌泳会の名簿もそれに準じた為である、因みに井川さんの実際の卒業は昭和22年9月であった。

## 【特集】 2006年・凌泳会アンケート結果報告

川本 典子・昭 51

このアンケートは、近年、凌泳会の催しへの出席率が低く、また、会費の納入率も低い状況が続いており、とくに女性や平成になってからの卒業生でその傾向が顕著だという実態をふまえ、広く会員諸氏の意見を聴取し、原因を探ろうという主旨で実施する運びとなりました。ここに結果の概要をご紹介します。

まず、アンケートにご回答くださいました皆様、並びに、アンケート実施にあたりアドバイスや回収率アップ作戦にご協力くださいました皆様に感謝します。

- アンケート実行委員 野田会長 萩原副会長 長谷川幹事長  
家門 秀行(平5・コミュニケーションシステム担当)  
川本 典子(昭51・アンケート事務局)  
浦谷 正史(現役主務)
- アンケートの印刷・発送 浦谷主務をはじめとする現役の皆さん
- 回収率アップ作戦協力者 小笠原陽子(昭50) 松井 玲子(昭52)  
桑本 万里(昭55)

※各卒業年の窓口となっていたいただいた皆様のお名前は省略いたします。

悪しからずご了承ください。

- 回収時料金受取人払窓口およびデータ入力 家門 秀行(平5)

### 調査概要

- 調査対象：凌泳会会員、及び、準会員

※名簿の住所で到達可能な者

- 調査方法：郵送法(返信用封筒同梱)

- 調査期間：2006年6月末発送

→ 2006年7月末日返送締切

- 回収状況：発送数 385 通

(うち 12 通届かず、実質 373 通)、

回収数 84 件(回収率 22.5%)

[名簿人数を母数としたときの世代×性別回収率]

	男性	女性	全体
昭和	21.7%	35.3%	23.5%
平成	7.0%	15.5%	10.0%

### 回収サンプルのプロフィール(単位:人)

	昭和	平成	男性	女性
関西圏	34	7	26	15
首都圏	25	8	27	7
その他	4	5	7	2
総計	63	20	60	23

	出席している層	あまり出席していない層	全体
関西圏	17	24	41
首都圏	13	21	34
その他	0	9	9
総計	30	54	84

以上のように、平成卒業者の回収数が少ないことは今回の主旨からして残念ではありますが、回答者の地域バランスは良く、あまり出席していない層からも多数回答がいただけました。

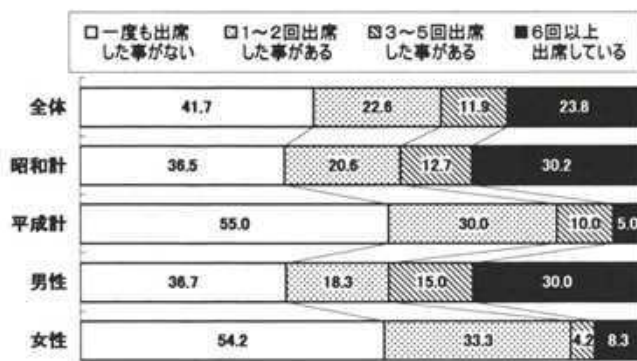
(注)出席している層:

3～5回出席+6回以上出席

あまり出席していない層:

一度も出席した事がない+1～2回出席(詳細は下記結果参照)

### 最近5年間の凌泳会への参加状況



単位:%(以下同様)

「一度も出席した事がない」が 41.7%、「1～2回」が 22.6%、計 64.3%は殆ど催しに参加していません。「一度も出席してい

ない」+「1～2回」の合計は、平成卒業者が 85.0%、女性は 87.5%と、想定どおり平成・女性の参加率の低さが目立ちます。

## あまり出席しない理由

	全体	世代別		性別	
		昭和計	平成計	男性	女性
神戸から遠い所に住んでいるから	59.3	61.1	52.9	66.7	47.6
同期の友人などが参加しないので自分だけ出てもつまらないから	40.7	27.8	70.6	30.3	57.1
子供の世話・親の世話などで家を空けられないから	27.8	27.8	23.5	18.2	42.9
土日は休みだが仕事が忙しくて余裕がないから	20.4	22.2	17.6	15.2	28.6
催しが土日に開催されるため仕事の都合で行けないから	16.7	13.9	23.5	21.2	9.5
特にこれといった理由はない(何となく)	13.0	11.1	17.6	15.2	9.5
会費が高いから	7.4	5.6	11.8	3.0	14.3
後輩の活躍に関心が湧かないから	5.6	5.6	5.9	9.1	0.0
大学の水泳部に愛着がないから	3.7	5.6	0.0	3.0	4.8
催しの内容がつまらないから	1.9	2.8	0.0	3.0	0.0
凌泳会に限らず出身校の催しには行かない主義だから	1.9	2.8	0.0	0.0	4.8
中学や高校の同窓会やOB会など沢山あって全部出ていられないから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13.0	5.6	29.4	12.1	14.3

理由として最も多いのが「神戸から遠い所に住んでいるから」で、59.3%。次が「同期の友人などが参加しないので自分だけ出てもつまらない」で、40.7%。3位「子供の世話や親の世話」、4位「土日は休みだが忙しくて余裕がない」と続きます。

属性別に見ると、平成卒業者は「同期の友人などが参加しないので自分だけ出てもつまらない」が70.6%とダントツに多く、女性は「子供や親の世話」「土日は休みだが忙しくて余裕がない」など、家事を理由とする割合が高くなっています。

## 凌泳会の主旨に関する理解

	全体	世代別		性別		参加状況別	
		昭和計	平成計	男性	女性	出席している層	あまり出席していない層
現役の活動をOB・OGが支援する	71.4	76.2	55.0	75.0	62.5	83.3	64.8
OB・OGと現役が交流を図る	66.7	66.7	65.0	71.7	54.2	86.7	55.6
OB・OGの相互交流を図る	53.6	57.1	45.0	55.0	50.0	80.0	38.9
はっきりとした主旨はなく、伝統を受け継いでいるだけ	4.8	4.8	5.0	5.0	4.2	0.0	7.4
その他	6.0	3.2	15.0	6.7	4.2	6.7	5.6

凌泳会の主旨については、比較的良好に理解されていると言えるでしょう。ただ、あ

まり出席していない層では理解の幅が狭い傾向が見られます。

## 凌泳会総会について

凌泳会総会が会の運営方針などを決める重要な催しであることは、どの層でも9割の方が理解しています。

しかし、「堅苦しいからあまり参加したくない」という人が全体の4割程存在し、とくに女性では8割、平成卒業者の65%が出席したくないと思っています。

「もっと楽しいプログラムがついていたら参加するか?」という質問も投げかけてみ

ましたが、女性は楽しいプログラムがついていても、参加したくないということが判明しました。

凌泳会総会の神戸以外の地方での開催については、全体の13.1%が希望しています。凌泳会総会について「あまり知らない。よくわからない。」とする者も2割ほどおり、とくに女性では4割が「あまり知らない。よくわからない。」としています。

	全体	世代別		性別		参加状況別	
		昭和計	平成計	男性	女性	出席している層	あまり出席していない層
「凌泳会総会」は会の運営方針などを決める重要な催しだ	90.5	88.9	95.0	91.7	87.5	93.3	88.9
「凌泳会総会」は役員や幹事の会合で、一般の会員は出席しなくていい	10.7	11.1	10.0	8.3	16.7	6.7	13.0
「凌泳会総会」には一般の会員も出席すべきだと思うが、堅苦しいので、あまり参加したくない	40.5	31.7	65.0	23.3	83.3	13.3	55.6
「凌泳会総会」に、もっと楽しいプログラムがついていたら参加するのに、と思う	22.6	23.8	20.0	26.7	12.5	36.7	14.8
神戸以外の地方での開催を増やすべきだと思う	13.1	11.1	20.0	15.0	8.3	16.7	11.1
「凌泳会総会」について、あまり知らない。よくわからない。	19.0	17.5	20.0	10.0	41.7	3.3	27.8

## 凌泳会総会についての自由解答(抜粋)

### 【昭和・女性】

- 1学年1名責任出席くらいの拘束があっても良いのでは?特に若い人たちの学年で。
- 少なくとも私が現役の時代に、総会の意味を正式に説明してもらった事がなかった。はっきりとした位置づけを知らないまま卒業し、その後長い年月が過ぎた感じ。

### 【昭和・男性】

- 幹事会で総会準備について協議し、本部幹事、支部幹事、運営委員が分担して参加の呼びかけを行う。会員の10%=40名が一つの目途。幹事・委員が、友人1名を誘えば40名になる。

- 東京在住者にとって、神戸の土地は遠く、簡単に出席するという訳にはいかない。全国大会などの Big Event に出席するのが精々。
- 準備は大変でしょうが、4年に1回位は東京の凌霜クラブで開催されると東京の参加者は増えるのではないかと思う。
- 卒業10年や20年などのクラス全員を名指しで出席してもらい、元気な顔を見せるだけでも意義があると思う。
- 総会に合わせて何かイベントを加えてはいかが?

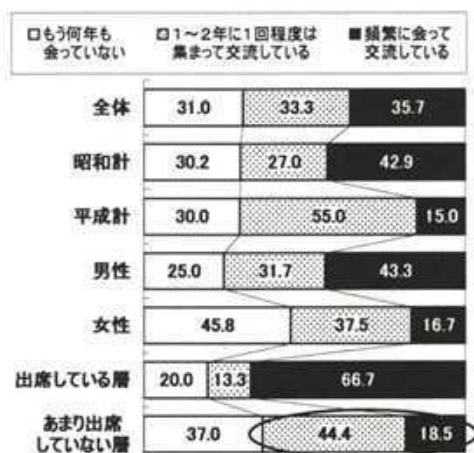
【平成・女性】

- 肩書き(凌泳会の)がないと出席しづらいので、各回生の主将などに参加を促してはどうでしょうか。(〇回生代表ということで・・・)難しいかも知れませんが。

【平成・男性】

- 総会に参加する人が固定化されるのは問題だと思う。風通し良く、流動性を確保すべきだと思う。
- (プログラムについては)現状ではOB会費をこのような抽象的目的に用いることは認めがたい。  
(地方での開催については)費用対効果の問題と、やはり母校は神戸に在ることも重視すべきであるという要請とを慎重に比べるべきと考える。  
決算・予算書等を事前に開示されることが必要と考えますが、検討の材料が予め届けられることなく、当日の討論が几帳かつ実りの薄いものとなっている感を持ちます。もっとも、事務負担増加を考えると、仕方ないことかと思うこともあります。ネットの活用をされてはいかがでしょうか。

水泳部時代の仲間との私的な交流頻度



では、個人的には当時の友人と接触しているのでしょうか？ 結果は、「頻繁に会って交流している」「1~2年に1回程度は集まって交流している」「もう何年も会っていない」がそれぞれ3分の1ずつに分かれました。

しかし、凌泳会の催しにあまり出席していない層でも、62.9%が私的な交流はしていることがわかりました。

## どんな工夫や状況があれば凌泳会の催しに出たくなるか

	全体	世代別		性別		参加状況別	
		昭和計	平成計	男性	女性	出席している層	あまり出席していない層
同期生や前後の人が沢山集まれば	44.0	41.3	50.0	43.3	45.8	56.7	37.0
自分たちの年代前後だけの小規模な集まりなら	31.0	30.2	35.0	33.3	25.0	33.3	29.6
催しの会費が安ければ	31.0	31.7	30.0	30.0	33.3	33.3	29.6
自分が住んでいる地域で開催されれば	23.8	25.4	20.0	25.0	20.8	33.3	18.5
現役が大会で優勝を争うくらいに強くなれば	19.0	20.6	15.0	21.7	12.5	43.3	5.6
参加しやすい日程ならば	19.0	22.2	10.0	20.0	16.7	20.0	18.5
ゴルフコンペなど、水泳以外のイベントがあるなら	16.7	15.9	20.0	18.3	12.5	20.0	14.8
現役が訪ねてきてくれて面識ができれば	16.7	14.3	20.0	20.0	8.3	30.0	9.3
勉強になるような講演などがあれば	13.1	15.9	5.0	15.0	8.3	20.0	9.3
将来的に仕事や家事から解放されたら	10.7	6.3	20.0	8.3	16.7	3.3	14.8
宴会ではなくて家族で参加して楽しめるような催しなら	8.3	4.8	20.0	6.7	12.5	6.7	9.3
子供の面倒を見てくれる託児システムがあれば	8.3	4.8	15.0	3.3	20.8	6.7	9.3
どんな工夫がされても参加するつもりはない	1.2	1.6	0.0	0.0	4.2	0.0	1.9
その他	13.1	12.7	15.0	11.7	16.7	16.7	11.1

では、どうすれば凌泳会への参加が増えるのでしょうか。

「同期生や前後の人が沢山集まれば」出たくなるという人が最も多く、44%にのぼります。「自分たちの年代前後だけの小規模な集まりなら」出たくなるという人や、「催しの会費が安ければ」という人もそれぞれ31%います。

属性別に見ると、出席している層で「同

期生や前後の人が沢山集まれば」や「現役が大会で優勝を争うくらいに強くなれば」という割合が高くなっています。

平成卒業者は、「将来的に仕事や家族から解放されたら」や「家族で参加して楽しめるような催しなら」が他の属性より多く、ライフステージ特性が出ています。

女性は「託児システムがあれば」という割合が高いのが特徴的です。

## 会誌『凌泳』の閲読状況

	全体	世代別		性別		参加状況別	
		昭和計	平成計	男性	女性	出席している層	あまり出席していない層
最近『凌泳』が手元に届いていない	4.8	0.0	20.0	3.3	8.3	0.0	7.4
詳しく読んでいる	31.0	31.7	30.0	40.0	8.3	46.7	22.2
ざっと目を通す程度	58.3	60.3	50.0	51.7	75.0	53.3	61.1
届いているが、ほとんど読んでいない	6.0	7.9	0.0	5.0	8.3	0.0	9.3

『凌泳』を「詳しく読んでいる」人は31%。ほとんどの人が「ざっと目を通す程度」に終わっています。

平成卒業者の場合は、「最近『凌泳』が手元に届いていない」人が20%で、他の

層より目だって多くなっています。

女性は「ざっと目を通す程度」が7割を越えていて、残念ながら、苦勞して編集された『凌泳』が十分に読まれていないという実態がわかりました。

### 会誌『凌泳』の編集内容評価

現在の編集内容で十分良くできていると思う	69.0
OB・OG関係の記事が少なすぎると思う	28.6
内容が真面目すぎると思う	14.3
戦績にページを割きすぎていると思う	15.5
インターネットの時代だから紙の会誌は必要ない	13.1
デザインが悪いと思う	13.1
写真が少なすぎると思う	46.4

十分に読んでいただけていないようなら、改善の方向性を探る必要があるので、編集内容についての評価もしていただきました。

その結果、概ね良くできているとは評価されているものの、「写真が少ない」とか、「OB・OG関連の記事が少ない」との指摘が比較的多く見られました。

### 会誌『凌泳』に関する自由回答(抜粋)

#### 【昭和・女性】

- 「会員からのお便り」欄への投稿が増えていけば、催し参加への橋渡しとなると思う。出欠はがきの通信欄への書き込みも、もっと皆に薦めれば良いと思う。
- 「紙」の会誌から、やはりインターネット上へと内容を移してゆく方向へ移ってほしいと思います。立派な会誌ですのに、置き場所がなくなり、過去のバックナンバーを借りたりできるようなシステムがあったらいいのと思います。

#### 【昭和・男性】

- OB・OGの消息欄、例えばリレーエッセイ等の記事を増やす。なかなか難しいが幹事から指名する。
- 水泳に関係のない知識や情報が入っても良い。

#### 【平成・女性】

- 自分の直接知っている人に関する記事がな

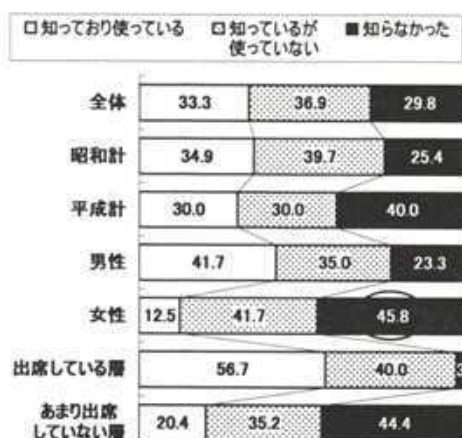
いと、読んでも面白みがないと思うので、年別にリレーエッセイなどを依頼して連載してはどうでしょうか。ページにより活字や体裁がバラバラで少々読みづらいところがありますが、何とか改善できないでしょうか。レイアウトや余白スペース、活字の大きさを工夫して、もう少し薄くできないでしょうか。その分写真やカラーページが入れられるとよいと思います。

- 薄くて少量でもいいので「～が結婚した」とか、個人のトピックに寄ったものが読みたい。

#### 【平成・男性】

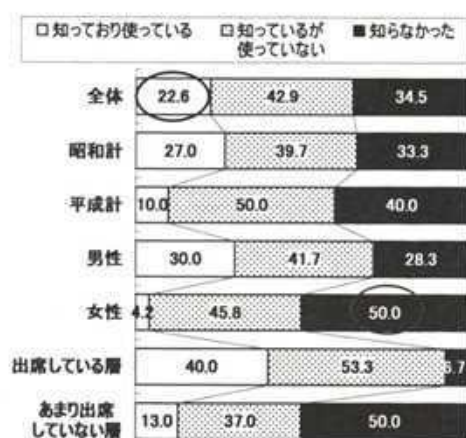
- 新コーナー案 ①「あの選手たちは今…?」(現役時代の写真と今の写真との比較したりする) ②「ノスタルジック・ミーティング」(現役時代の話について座談会形式で4～5人に語らせる) ③「われらがヒーロー」(神戸大学のOBの中で顕著な成績を残した選手を特集)

## 凌泳会のメーリングリストの認知・利用



メーリングリストに登録すると各種お知らせがメールで届くようになっています。このことを知らなかった人が3割弱。とくに女性では4割以上が認知していません。メーリングリストを「知っており、使っている」人は丁度3分の1。ほぼ同割の36.9%は「知っているが使っていない」という状況でした。

## OB・OG掲示板の認知・利用



また、インターネットに「OB・OG掲示板」があり、自由に書き込んだり閲覧することができるようになっています。このことを「知っており使っている」人は22.6%と少なく、これについても、女性の認知率の低さが目立ちました。

### MEMO

#### ■ 凌泳会メーリングリストのお申込

<http://groups.yahoo.co.jp/group/ryoei-kai/>

Yahoo!等で「凌泳会」で検索してください。

#### ■ OB・OG掲示板

<http://6119.teacup.com/kobeswim/bbs>

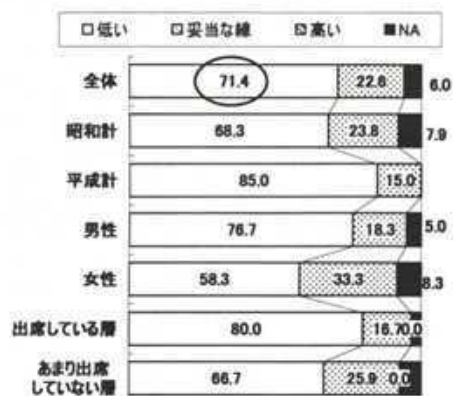
Yahoo!等で「神戸大学 水泳部」で検索してください。

神戸大学水泳部 Web サイトの中にあります。

どうぞ活用ください！！

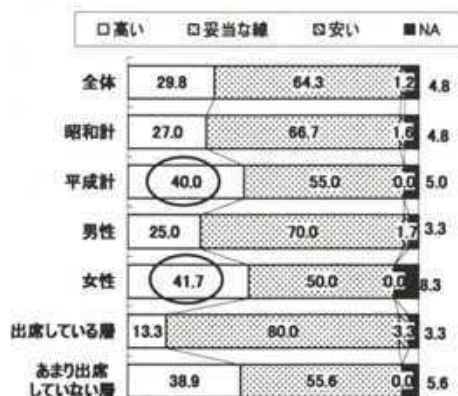
## 年会費について

### (1)現状50%の納入率についての考え



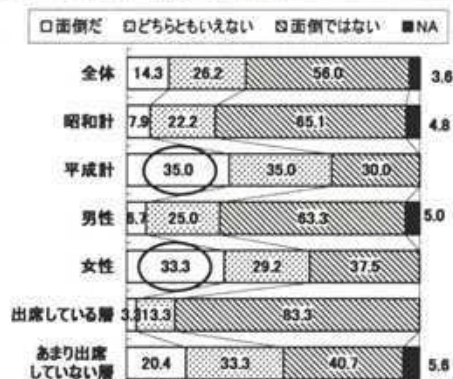
納入率については7割以上の方が「低い」としています。

### (2)8,000円の年会費についての考え



平成卒業者と女性で4割前後が8,000円が「高い」と感じています。

### (3)年会費の納入は面倒か？



納入の面倒さについても、平成卒業者と女性で「面倒だ」とする人が多い傾向があります。

### (4)年会費を納めている人といない人がいることの不公平感

不公平感がある 19.0  
 どちらともいえない 38.1  
 任意なもので仕方がない 36.9  
 ※属性による差は少なかった

## (5)年会費についての自由解答(抜粋)

### 【昭和・女性】

- 自動振替を積極的に進めると良いと思う。(特に50代以上)知らない間に銀行から引落されるし、会費を払う事によって凌泳会に関心を持つと思うから。
- 現役が強くなること。しかし、どうやったら強くできるのか、私には具体的なアイデアがない。(学内にトレーニングを研究している研究室はないのですか?)プラス、集金にまわらないとお金は集まらないと思います。
- 8000円という額が本当に負担になっている人がいるのならば、払える額(3000円とか5000円とか寄付金として)だけの納入も勧めていけば良いと思う。特に納入率の悪い学年には重点的に、言いやすい学年の人から電話などでお願いしてもらおう。
- 年会費5,000円、夫婦8,000円の方が良いのでは?

### 【昭和・男性】

- 卒業年度の近い単位での小グループ(密な連絡網)を組織化し、そのリーダーとの連絡網をネットワーク化する。
- 現役のOB訪問の強化
- ①銀行自動振込の地道な努力  
②未納者への現役の訪問
- 現実問題として何%まで納入率をアップできるでしょうか? 50%は他のクラブに比べると低くないのではないのでしょうか。これ以上上げるためには、各年次毎に岡村さんのようにこまめにかつてのチームメイトに声を(電話を)かけてくれる人が必要だと思います。一度本気でこういう年次別世話人をリストアップしてみませんか。
- 納入率が低いことを気にしていますが、  
1. 徴収目標額はあるのですか。目標額が

あれば集金活動は具体化する気がします。  
2. 納入していない人には凌泳会員であり続ける意思のない人もいます。意思がない人を会員として抱え続けられ、納入率が低いのは当然です。会員を整理してはどうですか。

### 【平成・女性】

- 卒業と同時に、基本的には強制的に引き落としの手続きを取るべき。卒業して年月が経過するほど、払おうとしなくなるはず。
- 自分達も先輩がたの会費でいろいろと活動を支えていただいていたというのは分かっているものの、それがずっと続いていくと思うと、少し捨てている感も否めない…のが正直なところ。世代や家庭の有無などによっては、苦しいこともあるのでは?
- 額を下げた納入率を上げる。何年分が一括払いにすると割引するなどの工夫をする。
- せめて卒業後最低でも5年くらいの支払い義務を認識づけるべきではないか。社会に出た瞬間に切れてしまう人もいる。4~5年でも支払い続けられれば凌泳会への意識も変わるのでは?

### 【平成・男性】

- 銀行口座引き落としになってから、現役との接点は一切なくなった。遺憾であり、引き落としをやめることも考えている。
- 凌泳会の会費はある意味「奨学金」の返済の様なものだとは私は考えます。分割納入やOB訪問による集金など、まだまだできることが沢山あるのではないのでしょうか?
- 各年次に責任者を設定し、働きかけを強化する。



## 月見の宴

長谷川 健・昭 49

今年の月見の宴は、三連休初日の9月16日(土)に例年通り六甲台プールで行われました。午前の競泳はシーズンを締めくくるにふさわしいレースとなり、インカレ出場を獲得したポロは若手OBとの白熱した試合となりました。

続いて行われた会議では、凌泳会活性化のためのアンケートの中間報告や、月見の宴の開催日を例年の9月中旬からポロインカレ終了後に変更してはとの提案がなされました。いずれも来年の総会にて報告されると思います。

会議終了後、懇親会となりました。今年の懇親会は、得丸氏(昭 46)よりご寄贈を受けたバーベキューセットにて、得丸氏ご手配の宮崎牛の焼肉パーティとなり、参加者一同大いに盛り上がりました。

得丸氏、並びにパーティの世話をお願いした現役諸君にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、インカレ出場のポロチームに対しカンパの募金も行いました。ご協力有難うございました。



(会議懇親会 出席者)

石田 憲治(海事科学部教授)	
石井 義章(昭 27)	佐藤 一夫(昭 30)
北村 敏(昭 34)	野田 浩志(昭 36)
酒井 孝栄(昭 36)	萩原 武(昭 37)
得丸 哲士(昭 46)	大橋 進(昭 46)
岩切 博(昭 46)	長谷川 健(昭 49)
川本 典子(昭 51)	金 一波(昭 58)
川原田 貢(昭 60)	西村 美和(平 1)
羽瀬 智文(平 2)	家門 秀行(平 5)
戸本 謙一(平 5)	中山 勝之(平 5)
西村 尚(平 6)	古谷 洋之(平 17)
岡田 大(平 17)	米田 晃士(平 17)
長谷川 堅一(平 18)	石田 達郎(平 18)

【支部活動報告】

関東支部夏季総会

田淵 五郎・昭 30



7月19日には、関西から野田会長はじめ、佐藤(昭 30)・萩原(昭 37)・得丸(昭 46)4氏の特別参加もあって、総勢30人の賑わいでした。

昭和36年頃の合宿風景の記念フィルム上映もあったのですが、画面上の若者たちよりも、今の60歳代の出席者たちの方が深刺と見えたくらいです。

野田会長からは本部および現役水泳部の現況報告を頂きました。

数年ぶりにご出席の中崎先輩(昭 24)、小原先輩(昭 29)、海外から帰国の岩切氏(昭 46)など歓談は尽きぬ上、徳永氏(昭 63)はご夫人を同伴されてなごやかな一夕でした。

(ご出席者)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 山口 宗樹(昭 16)   | 中崎日出男(昭 23) |
| 小原 祥男(昭 29)   | 佐藤 一夫(昭 30) |
| 榊原 修造(昭 30)   | 田淵 五郎(昭 30) |
| 細田 忠雄(昭 33)   | 岡見 晴児(昭 33) |
| 黒田 英雄(昭 35)   | 上村 久治(昭 35) |
| 萩原 武(昭 37)    | 丸山 卓也(昭 38) |
| 荒井 康之(昭 38)   | 鈴木 剛弘(昭 38) |
| 林 莊 八郎(昭 38)  | 鈴木 正弥(昭 39) |
| 滝沢 章三(昭 39)   | 前田 和秀(昭 40) |
| 熊岡 禎二(昭 44)   | 木内 資雄(昭 44) |
| 井上 与志男(昭 45)  | 得丸 哲士(昭 46) |
| 岩切 博(昭 46)    | 藤田 弥門(昭 57) |
| 徳永 守(昭 63) 夫妻 |             |
| 日比 勝己(昭 62)   | 成田 康修(平 11) |
| 濱出 憲一郎(平 11)  | 以上          |

## 関東支部忘年会

田渕 五郎・昭 30



忘年会での特記事項の第一は、山口宗樹顧問(昭 16)がこの12月めでたく卒寿を迎えられ、皆でお祝い申し上げたこと。(凌泳会の他に多くの同窓会や親睦の集いを元気に世話されているお姿に我々は学ばねばなりません)

第二の特筆事項は、支部幹事を長年務めて頂いた濱出氏(平 11)に代って、成田氏(平 11)が名乗りを上げてくれたこと。(また皆で盛り立て、運営に協力しましょう)

それから、去る9月には全日本インカレ水球(於:相模原)の応援とカンパ(計20名)をありがとうございました。

(ご出席者)

山口 宗樹(昭 16)	榊原 修造(昭 30)
田渕 五郎(昭 30)	細田 忠雄(昭 33)
岡見 晴児(昭 33)	上村 久治(昭 35)
井上 隆史(昭 37)	山田 貴彦(昭 37)
丸山 卓也(昭 38)	荒井 康之(昭 38)
林 莊八郎(昭 38)	鈴木 正弥(昭 39)
滝沢 章三(昭 39)	前田 和秀(昭 40)
熊岡 禎二(昭 44)	浦野 敏明(昭 60)
日比 勝己(昭 62)	徳永 守(昭 63)
成田 康修(平 11)	濱出憲一郎(平 11)

以上

## リレーエッセー(第1回)

2006年・凌泳会アンケートで寄せられたアイデアの中で、『凌泳』にリレーエッセーのコーナーを設けて、地方在住の方の寄稿のチャンスを作ったり、今まであまり寄稿する機会がなかった方にご参加いただけるようにしてはどうかというものが複数ございました。同様のご意見は幅広い世代から寄せられました。そこで早速、今号よりこのアイデアを採用させていただきました。

当企画のスタートに際し、幹事有志のミーティングにてせん越ながら、四種類の斬り口でスタートしようということにさせていただきました。

- ① 平成卒世代
- ② 女性
- ③ 商船大OB・OG
- ④ 昭和卒世代男性

つまり、課題となっている平成卒世代と女性陣の参加促進策としての任務も担っております。

第1回の人選につきましては、次のような基準によってお願い致しました。

- ① 平成世代・・・平成元年卒の方からスタートするのが妥当であろう。名簿には昭和63年卒のところに掲載されているが、実質平成元年卒であり、本人も平成卒を鼓舞？して止まない甲野賢氏にお願いしました。
- ② 女性・・・女性部員第一号からスタートするのが妥当であろう。しかし、第

一号である正井康子さんとは現在連絡がとれない状態にあるため、第二号である小笠原陽子さんをお願いしました。

- ③ 商船大OB・OG・・・大学合併に伴う水泳部の合併前から、商船大×神戸大のご夫妻だった西村尚さんをお願いしました。が、お仕事が多忙のため、残念ながら今回は未掲載です。
- ④ 昭和卒世代男性・・・名誉顧問であり、常に凌泳会にご尽力いただいております石井義章氏にお願いしました。

それぞれ、次回出筆者のご指名もいただいておりますので、指名された方は、次回よろしくお願い致します。

なお寄稿お願い時のミスで小笠原さんが2ページ分もお書きくださり、折角ですので全文掲載しました。悪しからずご了承ください。

(編集委員 記)

## 雨ニモ負ケズ・・・

甲野 賢・平 1

リレー寄稿を仰せつかり快諾はしたものの、拙文の上に文章目的が定まりそうもなく、まるでお話しにならない。諸先輩方にお読み頂くほど人生経験もなく、今更後輩や現役諸君へ上からモノ言いもまっぴらだ。どうやら昭和末期の水泳部時代を思い出しながら、当時の雰囲気や虫干作業して寄稿させて頂くことでご勘弁願うしかなさそうである。

小生が水泳部時代を過ごしたのは、バブル真っ盛りの昭和六十年から平成元年(一年余分)。それは「脳ミソまでマッチョな時代」であったように思う。先輩後輩性別問わず、小生の知る昭和五十年代後半から平成初期の面々は、心身共にマッチョだった。

体力にこだわり、武器のような身体を支えるメシと酒の量は尋常ではない。乳酸はアルコールで流し出せると信じていた。勝ちにこだわる。勝つまでやめない。勝つこと以外しない。詐欺してでも勝つ。そして明るい。

勝ち負けよりも自分のプレー、レースを優先し、科学的トレーニングを緻密にこなし、栄養学に基づく食生活という最近の各分野トップ選手達に見られるスタイルは無縁だった。取り組んではみるものの、結局は力で解決していた。そして小生が入部した頃の諸先輩方が残した足跡は、水泳部史上に燦然と輝く戦跡だった。

一人々々の逸話武勇伝を記すと、凌泳

誌が一冊出来上がってしまう。その機会は宴席に譲ろう。競泳、水球、体育会、酒、喧嘩、犯罪もどき、男、女、・・・「カー杯」という言葉がぴったりの昭和末期だった。

男厄年も超えると、背中の中のつちりといろんなものを背負うようになる。今もトライアスロンを続けているが、もはや上位の影も見えない。だけど私は走り続ける。八十を超えても走っていれば、年代別で勝てるではないか。それでも駄目なら百歳で走ってやる。間違いなく小生のルーツは、体育会水泳部に根ざしている一。

当時作った、有名な詩のパロディを思い出し、拙文を終えたい。

雨デモ飲ミ 風デモ飲ミ 雪デモ 夏ノ暑サ  
デモ飲メル 丈夫ナ胃腸ヲ持チ 慾ニ満チ シ  
バシバ激怒シ イツモゲラゲラ笑ッテイル 一  
日ニ白米七合ト 肉ト魚ト野菜ヲ食ベ アラユ  
ルコトヲ春歌ノ材料ニ入レ良ク見聞キシ作り ソ  
シテ忘レズ 六甲ノ山ノ林ノ中ノ 小サナ緑色  
ノプールニ居テ 東ニ競泳ヤポロガアレバ 行  
ッテ自分モ加ワリ 西ニ宴会ガアレバ 行ッテ  
春歌ヲ唄イ 北ニ野球ヤサッカーガアレバ 行  
ッテ自分モ入レト言イ 南ニ喧嘩ヤソショウガ  
アレバ オモシロイカラ自分モ入レト言イ 日  
照ノ時ハガンガン泳ギ 寒サノ春ニハオロオロ  
泳ギ ホメラレハセズトモ 苦ニハサレル ソウ  
イウモノニ ワタシハナリタイ

(次回は守沖敦君に繋ぎます)

## アメリカ暮らしの思い出

小笠原 陽子・昭 50

22年前のことですが、アメリカの中西部ミネソタ州ロチェスターという小さな町で主人と4歳の長男と3人で暮らすことになりました。州都は、ミネアポリス、ここから南に約200km、30人乗り位の小さな飛行機に乗り換え、30分飛ぶと まわりをみわたすと何にもないローカルな空港に降り立った。

まず、迎えに来られた先生の驚かれたことは、スーツケース他ダンボールなど荷物が10個あったことでした。機内持ち込みを入れて一人3個までは無料なので3人で9個、1個分は超過料金を払って合計10個です。それも、やたら重い書籍文献類が7ケースもあったのです。航空便で送ればよいと思ったのですが、書籍類は渡米の直前まで使って向こうに着いたらすぐに必要になるからと、主人が言うので仕方ありませんでした。

ロチェスターには病院とその関連施設以外ほとんどなにもありませんでした。主な住民は医師、看護師、お百姓さんでした。

この Mayo Clinic にアメリカ全土から患者さんが集まってきて、ホテルに宿泊して治療をうけるのです。病院といっても、診療棟研究棟、そして入院のための St. Mary's Hospital(カトリック系)Methodist Hospital(プロテスタント系)がありみんな、高層ビル

ディングです。おもしろいのは、St. Mary's には、産科がなく小児科で メソジストホスピタルに産科があったことです。なぜかという、カトリックでは堕胎が禁じられているからで、かといって医学的な理由で堕胎が必要な場合もあるわけで、本人の宗教に関係なく、受診可能な科のある病院にいけばよいのです。

そして、このロチェスターは冬になると、 $-20^{\circ}\text{C}$ から  $-30^{\circ}\text{C}$ にまで気温が下がり過酷な寒さになるので、病院と各施設とホテルが地下道でつながっているのです。もちろん、地下道も暖房がきいているし、きれいな絵が壁に飾ってあって、通院も快適という訳です。

いなか町で、みんなとても人柄がよくて知らないひとでも、道で出会うと'Hi'と、にっこり笑ってあいさつしてくれます。スーパーでも日本のように他人行儀な'いらっしゃいませ'ではなくて、'Hi'です。'Hallow'は、あまり使いません。おはようも、こんにちはも、こんばんはも'Hi'で OK! 皆、とてもフレンドリーです。

子供の教育も、のんびりしていて幼稚園は1年しかなく、義務教育なので小学校のなかにあります。しかも、午前だけか午後だけなのです。家庭でのしつけはきびしく、特に発達障害とかでない子どもでも、お

行儀の悪いこどもだと、1学年おくらせたりします。親として立派ですね。なかなか私にはできそうもありません。実際、我儘に育った我が息子は、先生方には、異様に写ったようです。幼稚園に入る前にナーサリースクールがあって、週に2~3回午前中だけの日本の保育園の様な所もありました。

せっかくのアメリカ生活でしたが、残念というか幸いという、1年後、子供が生まれたのです。おかげで私の行動は大変制限されてしまいました。

例の産科のあるメソジスト Hospital で 小さな2060gの baby でした。驚いたことに小さいだけで何の問題もない。'Everything is beautiful' といわれてたった5日で退院させられてしまいました。

日本だと保育器に入って1ヶ月くらいは退院できないでしょうに、とても不安でしたが、生まれてからは小児科なので、St.mary's (カトリックの方)に通って、豆乳と母乳で1ヶ月後には3000gまで育ちました。1回分ずつ、豆乳を瓶詰めにしてキャップをとるとそのままミルク入り哺乳瓶になるというとても便利なものでした。当時はやっぱりアメリカはすごいと感激したものでした。

入院中のことですが、病院が産後2日めに夫婦をフルコースの Dinner に招待してくれるのです(もちろん、病室で)。これは、

ちょっと粋なはからいで、産後は当分 Baby の世話で夫婦とも忙しくてゆっくり食事もできないでしょうから、ということらしいです。それと、さらに感激したのは、入院中、毎回、食事のメニューのなかからメイン、デザートなど選べるのです。もちろんいくつ〇をつけてもOK! 足りないひとにはさらに廊下の冷蔵庫のなかにスナックや飲み物が用意してあって、自由にいただいてよいのです。さぞかし料金もお高いのではと思われるでしょうが、保険で100%カバーしてくれるのです。やはり、食べ物に関しては豊かな国なのでしょうね。

そのほか、赤ちゃんがいたために非常に行動は制限されたのですが、ミネソタの北に車で旅行したときのことは忘れられません。ミシシッピ川がミネソタとウイスコンシンの境を流れているのですが、その上流にイタスカという湖があって、そこからミシシッピの流れがはじまっているのです。あの海のようなミシシッピーも源流は、ほんの30センチ幅の小川でした。それが、中流のミネソタまでくると、湖のようになってしまうのです。

今の、私の夢は、もう一度ロチェスターで暮らすことですが、さて、いつのことになるでしょうか。

では、次回は、川本典子さんにお問い合わせいたします。

よろしくネ!

## 「凌泳百年史」

石井 義章・昭 27

「凌泳七十年史」という本がある。部室にも何冊かある筈だ、温故知新これを繙いて水泳部の歴史を知って欲しい。そして後14年経つと創部百年が巡ってくる。あの頃を偲びながら今後の希望を綴ってみた。

昭和59年5月の総会で私は幹事長を辞任した。その挨拶の中で今後は凌泳会の年史編纂に当たりたい、昭和66年に「凌泳七十年史」刊行を目指しとりかかると宣言した。(凌泳誌昭和60年度号10頁参照)

この事は突然思いついたのではない。年と共に資料は散逸し先輩も次々と亡くなられる。早くこれらを纏めておかねば手遅れになると言う焦りがあった。そして旧制神戸商業大学卒業の最後のOBとして、その歴史を新制神戸大学の後輩に伝えるのは自分の責務でもあると思ったからである。

正式に会の事業として審議、可決されたのは昭和63年の総会であった。翌64年1月8日(正しくは前日に昭和天皇が崩御されたので平成元年の初日)初泳ぎ会の折り、次の方々に編集委員をお願いし活動を開始した。橋本 力君(昭30 工)、堂本直正君(昭30 工)、前田 修君(昭34 理)、上田剛弘君(昭56 営)、それに私の5人である。この他実行委員として三宅 林先輩(昭21 旧)には基金の運用、管理をお願いし、田淵五郎君(昭30 営)には在京委員として関東方面の連絡、取纏めに

当たってもらった。

「凌泳七十年史」は平成3年10月予定通り出来上がった。この3年間スタッフ一同のご苦労は大変なものであったが詳述する紙数はない。

この年史は賛助頂いた会員各位に配布したが、後に続く後輩たちにも残してやらねばと、三十冊を保留した。以後10年間、総会の席で3冊ずつ現役部員に渡した。果たして読んでくれたか、又今部室に何冊残っているだろうか。あの三十冊を毎年1冊にしておけば30年もったのにと惜まれる。

今年水泳部が生まれてから86年になる(大正10年起算)、14年後には創部100周年が巡ってくる。この時「凌泳百年史」は作られるだろうか。資料集めに2~3年、編集に1年かかるとすれば10年後には着手しなければならない。そう遠い話ではない。

年史を作るのに大事なことは、毎年の資料を正確に残すことである。後輩のために部員一同協力して記録を整備しその日に備えて欲しい。

後14年経つと私は93歳になる、生存不可能な年ではない、もし元気でいれば百周年記念大会に赤い櫂を締めて泳ぎたいと思っている。

「リレー随想」のバトンを第6代凌泳会長に就任した野田浩志君(昭36 営)に渡します。

50歳から近くのスポーツクラブの20m プールで泳ぎ始めた。きっかけは子どもから「お父さん、おなかが出てきた」の一言だった。その後16年間続けている。

泳ぐからには試合にでて、良い記録で泳ぎたかった。1年目は100m平泳ぎ1分32秒台、全国ランキング20位ぐらいの成績だった。思っていたより良かった。当時マスターズ事務局の武政氏に褒められた。

熱心に練習し、筋力トレーニングもやった。毎年記録が伸びた。7年間伸び続けた。やり始めた頃、雲の上にいる人に追いついた。57歳の時突然1分23秒台が出てびっくりした。55歳区分の日本記録に1秒半ぐらいまで迫ったがそれまでだった。それ以後は記録が落ちてきた。これが普通だろう。

その頃からバタフライを始めた。平泳ぎのキックを併用したバタフライだ。マスターズ大会のみ認められていて長い距離では結構通用する。ジャパンマスターズで200m、2位になったこともある。しかし年々落ちてきている。同年代で200mを泳ぐ人が10人ぐらいになってしまった。サバイバルだ。いつまで泳げるか挑戦してみようと思っていた矢先に腰を痛めてしまった。

2年前、ジャパンマスターズ10年連続出場で表彰を受けた。メダルも毎年40個ぐらい増えて300個を超えた。これ以上もらってもしよ

うがないと思うがレースでは必死に頑張ってしまう。

所属しているスポーツクラブ(JSS)でマスターズの試合が毎年行われている。関西・西ブロック大会で10クラブが参加する200人ぐらいの大会である。その大会には15年前から参加しているが負けたことがない。50歳区分より上の平泳ぎの大会記録もすべてもっている。しかし記録面ではライバルが出現した。3年前から接戦をしている。ほとんど同じ記録だがいつも少し勝っている。同じクラブの水泳コーチをしている女子大生である。彼女が言った。「今も勝てないけど10年前にも負けた。」私は忘れていたがやっと思い出した。

当時、毎日会社の帰りにプールによって泳いでいた。隣では選手コースの人達が練習をしていた。主に小学生だった。その中にひとときわ背が高く、平泳ぎの速い女の子がいた。200m平泳ぎの記録をとる時、コーチに頼んで私も隣のコースで泳がせてもらった。彼女とのマッチレースだった。前半負けていたが後半追いついてタッチの差で勝った。2人とも3分10秒だった。当時のベストがでた。その時の6年生の少女が大学生になっていた。彼女は甲南女子大に通っているが神戸大学の水泳部で練習しているという。凌泳会の準会員に載っていた。不思議な縁である。

## 【寄稿 2】子供達に水泳の楽しさ教えますか ～フレンズクラブ～

酒井 正人・昭 53

フレンズクラブは、もともと1979年に近所の人の依頼で水泳指導を始めたのがきっかけとなってできたクラブです。当初は、水泳好き子供好きな私が受け身的にやっていたのですが、翌年、子供のほうからクラブ名を付けようという提案がなされ、私のほうも本腰を入れる気になったのです。

その頃の私は、自分の生き方に思い悩み、会社を辞め小学校教師を目指していた時期で、自分の手で何か社会的な活動をやってみたいと思っていた頃でもありました。そういった気持ちの高揚がクラブの活動へのエネルギーとなっていったのです。その後会員数が増え一次は3歳児から中学生まで60名を超えることもありました。現在は30名ほどですが毎週土曜日の午後楽しく水泳の練習に励んでいます。練習場所は深江の自衛隊プールやポートアイランドスポーツセンタープール、夏場は魚崎小学校の屋外プールを使っています。

フレンズクラブは位置付けとしては社会教育活動の一環であると考えています。当然、その目的は人づくりであり、常時活動としての水泳を通して、心身の健全な育成を目指しています。

身体的には、水泳技術や体力の向上、日常的な運動の習慣化、精神的には、水泳に対する自信や生活面での積極的な姿

勢など、いずれにしてもひとりひとりが違った個であるという視点に立って、子供の可能性を伸ばしていこうという考え方なのです。したがって、水泳指導においては、泳力別に班編成はしてあるものの、年齢や性格、友達関係、指導者との関係などもある程度考慮した上で独自のカリキュラムを展開しています。

指導者は神戸大水泳部のOB、OGをはじめとして、みんな水泳が好きで子供が好きな人たちばかりです。それぞれに仕事を持っており週一回とはいえ、なかなか全員はそろいませんがそれぞれにやりくりし、せっせとプールに足を運んでいます。

クラブでは水泳指導以外に、春秋の遠足、夏のキャンプ、クリスマス会、また年に1回は水泳競技大会にも出場しています。

クラブでは子供達に楽しく水泳指導をしてくださるボランティアの方を募集しています。子供達と一緒に水泳を楽しみませんか。

凌泳会のみなさまぜひ練習をのぞきに來てください。なお詳しいことは下記フレンズクラブホームページをご覧ください。

<http://friendsclub.michikusa.jp/>

連絡先

上田剛弘(S56 卒:自)

078-997-2260

連絡をお待ちしています。

## マスターズ活動記録(06年1月～12月)

### 新春マスターズ 2006 東京 (1月28日～29日 辰巳国際水泳場)



厳冬大雪の日本列島ですが、今年もマスターズの熱い戦いが3千名弱の参加者を集めて、東京辰巳のプールで、1月28日(土)、30日(日)行われました。

凌泳会のメンバーも田淵さん、榊原さん、岡見さん、武政、井上、浦野、濱出、が出場しました。結果は記録ページへ。

打ち上げはプール併設のコーヒーショップで、ビールを一杯飲んで2週間後の再会を期して別れました。今回はHさん、M君が不参加だったせいでは無く、これから、町田、相模原、千葉と2週間毎にありますのでお屠蘇気分何時までも浸るわけにはいかない理由があったのです。(井上隆史・昭37)

※表は氏名、年齢区分、種目、順位、タイムの順(以下同様)

田淵五郎	70	25M・背	②	18-73
"	70	50M・背	③	40-64
"	70	100M・背	③	1-32-32
"	70	200M・背	②	3-24-35
榊原修造	70	25M・平	⑤	22-34
"	70	25M・蝶	⑥	19-17
岡見晴児	70	50M・背	⑥	46-03
"	70	100M・背	⑥	1-46-82
井上隆史	65	25M・背	③	19-43
"	65	50M・背	⑤	43-87
"	65	100M・背	⑥	1-39-85
"	65	100M・個メ	⑦	1-38-52
武政英幸	65	50M・背	③	41-19
"	65	100M・背	④	1-34-14
"	65	25M・蝶	④	16-66
"	65	100M・個メ	⑤	1-30-77
浦野敏明	40	200M・蝶	③	2-54-30
濱出憲一郎	30	25M・自	①	12-35
"	30	200M・自	②	2-07-89

## 2006 新春マスターズ大阪

(2月11日～12日 なみはやドーム)

安茂 弘	65	25M・平	②	18-22
"	65	50M・平	③	41-00
"	65	100M・平	④	1-30-30
"	65	200M・平	②	3-19-17
呉竹正人	45	25M・背	⑤	17-93
"	45	200M・背	②	3-13-94
小南裕明	35	100M・蝶	③	1-03-41
"	35	200M・蝶	①	2-19-63

## 第6回町田市マスターズ

(2月12日 町田市室内立プール)

田淵五郎	70	50M・背	②	41-03
"	70	100M・背	①	1-33-93
細田忠雄	70	100M・自	③	1-43-24
井上隆史	65	400M・自	⑨	7-18-54
"	65	50M・背	④	45-81
前田和秀	65	100M・背	①	1-40-70
"	65	200M・背	①	3-39-47

## 第10回神奈川マスターズ短水路大会

(2月26日 さがみはらグリーンプール)

神奈川マスターズ短水路大会がさがみはらグリーンプールでありました。凌泳マスターズのメンバーは岡見さん、細田さん、前田さん、井上の横浜4人組が参加しました。残念ながら年々レベルが上がりメダルラッシュとはいきませんでした。が、まずまずのところでした。

例によって上溝銀座の川沿いの焼き鳥屋で反省会やら、次回の打ち合わせやらを行い、結果焼酎は2本オーダーし、少し残して、次回4月に元気になることを店の親父と、お姐さんに約束し散会しました。

焼酎が少し残ったのは、レースが早く終わった人と100個メの出場を取りやめた人がプール併設のコーヒーショップでビールを飲んで、慣らし運転をしていたからです。

(井上隆史・昭37)

細田忠雄	70	25M・自	⑦	18-11
岡見晴児	70	25M・背	④	20-49
"	70	50M・背	③	45-91
井上隆史	65	50M・背	①	44-37
"	65	100M・個メ	④	1-31-61
前田和秀	65	25M・背	⑦	19-70
"	65	100M・背	③	1-40-69

## FIAマスターズ 2006

(3月4日～5日 千葉県国際水泳場)

榊原修造	70	50M・平	⑩	”52-76
田淵五郎	70	100M・背	③	1-34-40
"	70	200M・背	②	3-31-93
岡見晴児	70	50M・背	⑤	48-48
"	70	200M・背	⑥	4-01-46
井上隆史	65	50M・背	⑦	45-61
"	65	100M・背	③	1-38-62
安茂 弘	65	100M・平	①	1-32-09
"	65	200M・平	②	3-22-82
"	65	100M・蝶	③	1-35-06
"	65	200M・蝶	①	3-43-42

## 2006年日本マスターズ短水路大会

本大会は、(社)日本マスターズ水泳協会が主催する公式大会で、全国各地で開催され、全国大会はありません。

### ■全国20傑に入られた方の記録

田淵五郎	70	25M・背	⑦	18-43
〃	70	50M・背	⑪	41-65
〃	70	200M・背	②	3-25-59
岡見晴児	70	100M・背	⑭	1-42-31
井上隆史	65	100M・背	⑭	1-36-22
〃	65	100M・個メ	⑯	1-29-75
〃	65	200M・個メ	⑰	3-31-60
武政英幸	65	100M・背	⑱	1-35-11
安茂 弘	65	25M・平	⑧	18-30
〃	65	50M・平	⑩	40-89
〃	65	100M・平	④	1-30-49
〃	65	200M・平	⑥	3-22-56
〃	65	100M・蝶	⑦	1-30-44
〃	65	200M・蝶	①	3-30-08
〃	65	100M・個メ	⑮	1-29-07
〃	65	200M・個メ	⑪	3-24-91
佐敷定雄	55	200M・自	③	2-27-65
〃	55	50M・蝶	④	30-55
〃	55	100M・蝶	②	1-11-53
山野和則	45	200M・平	⑩	3-04-67
小南裕明	35	100M・蝶	⑭	1-04-21
〃	35	200M・蝶	②	2-22-63
西村美和	35	50M・背	⑯	37-65

### ■各会場での戦記と成績

#### 明石会場

(4月16日 コナミススポーツクラブ明石)

関東の皆さんも好記録でがんばっておられますね。関西の大会も、4月16日明石会場から始まりました。近くの明石城公園のさくらは満開を過ぎて少し散りかけていました。毎年、明石大会はこのさくらとと

もに始まる感じです。

安茂さんは金・銀、山野、呉竹、小南さん達はすべての種目で銀メダルという好成績でした。今回はメドレーリレー220歳以上に参加しました。リレーに参加するのは、とてもいいですね。四人で出場するという連帯感みたいなものが楽しいです。結果は、先頭争いをしていたのですが、最後にかわされて5位でした。

大会には、我々の唯一の幼い応援団である呉竹ジュニアが来てくれて和みました。私は車で行っていて、自分のレースが終わると早々に失礼しました。後、結果など例によって安茂さんに整理していただきました。(米田啓祐・昭37)

米田啓祐	65	25M・自	④	17-43
〃	65	100M・自	④	1-34-23
安茂 弘	65	50M・蝶	②	40-22
〃	65	100M・個メ	①	1-29-07
山野和則	45	100M・自	②	1-10-17
〃	45	100M・平	②	1-24-24
呉竹正人	45	100M・背	②	1-27-82
小南裕明	35	50M・蝶	②	30-13
〃	35	100M・蝶	②	1-04-21
200Mメドレーリレー 呉竹・山野・安茂・米田				⑤ 2-36-64

#### 相模原会場

(4月16日 さがみはらグリーンプール)

全国でマスターズのショートの大会が始まりました。生憎常連の前田君は出張のため欠席でしたが、関東でも先陣を切って、田淵さん、岡見さん、細田さん、井上の4

人が相模原のプールに集合しました。

水路の面白いところは、泳法毎に出場可能種目が多いので、レース毎のメダルのチャンスの可能性が異なることです。金メダルが常連の田淵さんが銀だったのに同じバックですが、距離の違うレースに出場した岡見さんが、金メダルを獲得しました。日ごろの精進が報われたものでしょう。

100Mのレースが16:00頃から始まり、50Bが終わったのは、17:00を過ぎており、細田さんが18.00の上溝銀座(?)の反省会まで飲まなかったのは、今後に期するものがある証明でしょう。今年はジャパンマスターズのメドレーとか、リレーに出場しようと気炎を挙げて、散会しました。(井上隆史・昭37)

細田忠雄	70	25M・自	⑥	17-28
"	70	50M・自	⑦	40-16
田淵五郎	70	25M・背	②	18-43
"	70	50M・背	④	41-65
岡見晴児	70	50M・背	⑥	45-60
"	70	100M・背	①	1-42-31
井上隆史	65	50M・背	③	43-25
"	65	100M・個メ	④	1-29-75

#### 安城会場

(4月23日 安城市スポーツセンター)

手嶋忠之	60	50M・自	②	33-15
"	60	100M・個メ	④	1-29-28

#### 習志野会場

(4月23日・24日 千葉国際総合水泳場)

2,885人参加とかで、50mプールを横に2面使う方式の大会でした。辰巳と比べてプールサイドの床が汚れていて(大勢の

通行で)少し気になりました。

凌泳会からの参加は私一人でしたが、榊原先輩(リーヴ幕張)と佐敷君(柏洋)も泳いでいました。二日間の大会だったこと、自分の種目が終了した時点でプールをあとにしたことで、佐敷君の記録は手元がありません。でも、240~279クラスの200M R(第3泳者)で日本新記録(2-10-68)の表彰を受けていました。競技のスターターも務めていて活躍していました。榊原さん、立派な記録でした。(武政英幸・昭39)

田淵五郎	70	200M・背	②	3-25-59
榊原修造	70	25M・背	②	17-81
武政英幸	65	50M・背	③	42-91
"	65	25M・蝶	⑤	17-16
佐敷定雄	55	200M・自	①	2-27-65
"	55	50M・蝶	①	30-55
"	55	100M・蝶	①	1-11-53

#### 海老名会場

(4月29日 神奈川県海老名プール)

岡見さん、細田さん、前田君、井上の4人の凌泳マスターズが集いました。その前の27日に凌霜クラブの木曜会で凌泳会の滝沢章三君講師の「住まいの安震—耐震偽装問題。あなたの家は大丈夫？」の講演を聴いた後の懇親会で、武政君から、マスターズでの100バックの活躍を聞きました。バックはこちらが専門と前田君と大いに氣勢を上げましたが、結果は武政君に及びませんでした。(中略) 100個メで安茂君、武政君、手嶋君の記録の背中が見えてきて、パーティールレースを楽しむことも出来るのはショートの水泳の楽しみでもありますね。

岡見さんは今回も25バックで金を獲得し、+240の混合フリーリレーでも金ですから立派なものです。終了後の居酒屋の懇親会は焼酎ボトル1.5本でした。(井上隆史・昭37)

細田忠雄	70	25M・蝶	②	23-17
＃	70	100M・自	⑤	1-37-67
岡見晴児	70	25M・平	①	20-29
＃	70	100M・自	②	1-28-02
井上隆史	65	100M・背	②	1-36-22
＃	65	200M・個メ	①	3-31-60
前田和秀	65	25M・背	③	21-45
＃	65	100M・背	⑤	1-40-15

### 神戸会場

(4月30日 エス・パディオスポーツクラブ)

安茂 弘	65	100M・蝶	②	1-30-44
＃	65	200M・個メ	②	3-24-91
山野和則	45	50M・平	②	37-40
＃	45	200M・平	①	3-04-67
小南裕明	35	25M・蝶	②	13-89
＃	35	200M・蝶	①	2-22-63

### 新座会場

(5月3日 コナミススポーツクラブ新座)

今回の各地短水路大会の凌泳諸氏記録と自分の記録を比較してみますと、100個メは安茂、手嶋(+60だが、来年は+65入りはず)、井上の諸氏に及ばず残念。

一方、100背では、井上、前田両氏に水を空けることができました。快哉。山田さん、記録を良く見ていただき有難うございます。(武政英幸・昭39)

武政英幸	65	100M・個メ	②	1-30-75
＃	65	100M・背	②	1-35-11

### 門真会場

(5月13日～14日 なみはやドーム)

短水路大会の門真会場に行って来ました。参加人数は2600人の大規模な大会でした。

凌泳会からは、西村夫妻、山口さんと私の4人でした。(呉竹さんは海外出張のため不参加)

今回は平泳ぎ4種目に出場しましたが、青木義昭氏(200m平泳ぎWRホルダー)が同じ種目に出場で、25mだけでも勝てないかとかがんばりましたが0.5秒及ばずすべて2位でした。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	25M・平	②	18-30
＃	65	50M・平	②	40-89
＃	65	100M・平	②	1-30-49
＃	65	200M・平	②	3-22-56
西村美和	35	50M・背	⑤	37-65
西村 尚	35	50M・平	⑨	36-26
出口達也	30	50M・背	③	31-48

### 京都会場

(5月28日 京都アクアリーナ)

短水路大会最終の京都会場に行ってきました。参加人員2300人で、2面使用の大規模な大会でした。凌泳会関係は、私ひとりでした。

今回出場した200mバタフライは、同年齢区分では出場者は3人でしたが、エントリータイム上位2人にたまたま勝つことができ、金メダルでした。短水路大会全体の中でも、9人中1位になれたようです。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	200M・蝶	①	3-30-08
------	----	--------	---	---------

(2006年日本マスターズ短水路大会関連 終)

## 第1回 コナミスポーツクラブ

### マスターズ西日本大会

(6月18日 コナミスポーツクラブ)

安茂 弘	65	25M・平	①	18-69
〃	65	100M・平	①	1-29-18
小南裕明	35	100M・蝶	②	1-03-42

## ジャパンマスターズ 2006

(7月14日～17日 東京辰巳国際水泳場)

今年も「海の日」はプールで過ごせることがうれしいと思います。

遠くは神戸から安茂さんが参加し久しぶりの再会を楽しみました。

私は、都合で初日は欠席し、昨日100Bと50Fに出場しました。50Fは出場選手が3000人とかで決まったコースでの試合(青梅マラソン、ボストン、ハワイマラソン等は出発まで何十分かかるので、記録は単純に比較できない)では世界最大の出場者のレースではないかと思うと話をしていましたら、安茂さんは去年の方が多かったと思いますとの見解でした。いずれにしても、本年世界最大のレースであることは間違いないでしょう。

95歳の清水静江さん(コナミ入間川)の女性が1.14.38で世界新記録樹立の時は館内割れんばかりの拍手でした。単調になり勝ちなレースを盛り上げてくれました。

佐敷さんはスターターで頑張っておられるので、岡見さん安茂さんと小生の3人で

昼ごはんを食べながら再会と健闘をたたえ合いました。常連の田淵さんが都合が悪くて欠席されたのは残念でした。

最終日の今日は、武政さん、阿部さん、浦野さん、小南さん、濱出さん、岩切さんが加わり賑やかになるはずですよ。

レースの後仲間と飲むビールのうまいことは昔とちっとも変わらないですね。

今日は大いに期待されますね。(井上隆史・昭37)

岡見晴児	70	50M・背	⑰	48-10
〃	70	100M・背	⑱	1-48-22
井上隆史	65	50M・自	28	34-17
〃	65	100M・背	⑭	1-38-70
武政英幸	65	200M・背	⑭	3-57-12
〃	65	50M・蝶	⑯	39-42
〃	65	100M・蝶	⑩	1-45-38
〃	65	200M・個メ	⑩	3-33-02
安茂 弘	65	50M・平	⑧	42-10
〃	65	100M・平	②	1-32-10
〃	65	200M・平	⑥	3-30-38
〃	65	200M・蝶	⑤	3-42-53
阿部洋三	60	50M・蝶	⑨	38-38
佐敷定雄	55	200M・自	④	2-33-77
〃	55	50M・蝶	②	31-08
〃	55	100M・蝶	①	1-13-69
浦野敏明	40	200M・個メ	⑬	2-54-99
小南裕明	35	50M・蝶	21	30-41
〃	35	100M・蝶	⑤	1-05-94
〃	35	200M・蝶	②	2-27-34
濱出憲一郎	30	200M・個メ	⑩	2-38-94



## 2006 兵庫県マスターズ

(8月20日 神戸ポートアイランドスポーツセンター)

呉竹さんは急用のため参加できず、凌泳会関係は私ひとりでした。

競技役員(折り返し監察員)をしながら試合に出ましたが、まずまずの成績で、100平では大会記録が出ました。(安茂 弘・昭 39)

安茂 弘	65	50M・平	①	41-57
"	65	100M・平	①	1-31-72

## 第14回神奈川マスターズ長水路

(9月2日～3日 横浜国際プール)

我が凌泳会のメンバーは田淵さんのほかに横浜カルテットが揃い踏みをしました。

圧巻は50BACKで3人が同じ組に出場しました。例年の如く終了後焼肉屋で遅い昼飯と反省会を実施、明日の健闘を誓ったのですが、Hさんが飲みすぎてか(?)、今日の50バタを棄権したのは残念でした。

次は長水路の町田(1500M FREE か40 OI.M.)か忘年会で会いましょうと解散。

岡見さんは満足のタイムを記録しご機嫌でした。

前田君が50肩が直って、レースに出場出来たのは明るい NEWS です。

また、小生が田淵さんの記録を破ったのは初めてです。小生400Fに出場しましたが、やっと米田さんの記録に並ぶことが出来たのは大変嬉しい想いです。

尚、初日に未来の凌泳会の有力メンバーを引き連れて、浦野君が家族一同で見学に来ていました。

来年は隣の家族プールで子供を遊ばせながら、レースに出場してもらいたいものと思います(井上隆史・昭 37)

細田忠雄	70	50M・自	⑪	39-87
田淵五郎	70	50M・背	④	43-08
"	70	100M・背	④	1-37-54
岡見晴児	70	50M・背	⑤	46-12
"	70	100M・背	⑤	1-45-45
"	70	200M・背	③	3-55-32
井上隆史	65	400M・自	⑥	6-56-89
"	65	50M・背	③	43-06
"	65	100M・背	④	1-40-54
"	65	200M・個メ	③	3-37-48
前田和秀	65	50M・背	⑤	47-85
"	65	100M・背	⑤	1-43-21

## 2006 スポーツ報知マスターズ

(9月18日 大阪プール)

米田啓祐	65	50M・自	⑨	37-33
"	65	100M・自	⑪	3-25-00
安茂 弘	65	50M・平	①	41-45
"	65	100M・平	①	1-33-98

## 千葉マスターズ

(10月21日～22日 千葉県国際総合水泳場)

佐敷定雄	55	200M・自	②	2-32-78
"	55	50M・蝶	②	30-60
岩切 博	55	100M・蝶	⑤	1-34-90

以上

## 会員からのお便り

今号より、近況等をご記入いただきましたもののみ、掲載させていただいております。  
悪しからずご了承ください。

### 【凌泳会総会】

#### 山口 宗樹(昭16)

現役の皆様のご活躍を祈り各地のOBの方々のご健様を願います。

私は、89歳になりましたがまあまあ元気です。

#### 富中 暁(昭18)

ヘルスクラブで少し泳いでサウナ、一応続けています。

#### 萩野 茂希(昭18)

一応元気にやっております。

年々足腰が目に見えて弱ってくるのがわかります。ここまできたからには、健康に注意して一日でも長生きしたいものです。

#### 山本 幸雄(昭28)

昨年秋の初めよりわずらわしている足の皮下組織が黴菌にやられ血管が蜂の巣状に破壊される病気により一ヶ月余入院車椅子生活を体験しました。

#### 橋本 力(昭30)

兵庫国体、高校水球競技では、現役諸君にお世話になります。

#### 村田 邦夫(昭30)

名古屋で一人淋しく暮らしております。

#### 田淵 五郎(昭30)

私の住む団地の管理組合役員を本年度割り当てられ、かなりの頻度で週末を束縛されます。マスターズには、極力参加しています。

水泳部の本年の活躍を祈ります。

#### 松田 司朗(昭32)

昨年腰痛を患いまして全く外出できず情けない思いをしております。

#### 岡見 晴児(昭33)

マスターズ水泳を楽しんでいます。年に5~6回は凌泳諸氏と会いレース後の一杯が楽しみとなりました。

#### 高橋 靖周(昭33)

昨年6月に会長に退き、仕事の方はだいぶ楽になりました。お蔭様さま海外旅行の回数は以前より増え、その分だけ人生を楽しんでいます。健康の方も毎週の水泳のお蔭で至って元気です。

#### 細田 忠雄(昭33)

横浜在住の皆さんとマスターズ競技会あとの酒盛りを楽しんでいます。

**上村 久治(昭35)**

昨年半ばより完全にFreeな生活となりました。囲碁と写真撮影で明け暮れています。

**原 謙三(昭35)**

昨年は健康を害しヶ月入院を余儀なくされました。今年は少しづつ健康を取り戻しよい年にしたいと願っています。

**酒井 孝栄(昭36)**

元気に日々を過ごしています。今年も部員皆様のご活躍をお祈りいたします。

**岡田 重義(昭37)**

立ち上げた一部になった硬式野球部をリーグ優勝させ神宮大会に送り出すこととサッカー部を今年中に二部リーグに昇格させることに血道をあげています。

**米田 啓祐(昭37)**

現役のみなさんの御健闘を祈ります。

**萩原 武(昭37)**

皆さん一丸となって稔り豊かな年にしてください。

**藤岡 治男(昭38)**

NPO法人東大阪市水泳協会の代表として活動しております。

**丸山 卓也(昭38)**

プールには週3回通っておりまして目下遊泳しておりますが健康には一番の運動ですね。皆様のご健勝をお祈りします。

**安茂 弘(昭39)**

今年も4月から5月にかけてマスターズ短水路大会が各地で行われていますが、4会場9種目にエントリーしがんばっています。

**滝沢 章三(昭39)**

この連休に昔3年間駐在員として生活したアメリカのヒューストンに海洋技術会議に出席の為行ってきました。20年前とほとんど変わっておらず、とくに住んでいたところは、昔のままでした。日本の変化が早すぎるのかも知れません。

**手嶋 忠之(昭41)**

水泳だけは続けております。週に1, 2度ですが、仕事が終わった後に1200~1300m程泳いでおります。

**中畑 勝明(昭41)**

満64歳になりましたが心身共健康でボランティア活動等に精を出しています。

**山口 幸郎(昭41)**

3月31日付にて(財)日本品質保証機構を退職致しました。

**阿部 洋三(昭42)**

'04年末に退職後は年金生活を送っています。湘南の地に引きこもった状態で水泳中心の生活です。週に3~4回程度泳いでいますが、公営のプールなのでマイペースで練習できないのが悩みです。

**宮部 高博(昭42)**

現場から離れることがスムーズに出来ず  
いまだに仕事をしています。今後とも健  
康に注意して暮らしてゆくつもりです。

**玉置 明(昭45)**

いまだ朝日機材(株)という会社に出向、  
元気でやっています。なかなか水泳は  
出来ていませんが東京での会合等には  
出席するつもりです。

**以西 吉一(昭45)**

最近プールへの足が遠のいています。  
不況で多忙のせいかな？身体に良くな  
いですね。

**得丸 哲士(昭46)**

毎週1回1500m以上をのんびり泳ぐ水  
泳生活を相変わらず続けています。

**木下 修一(昭53)**

うちの3人の子どもがみんな小学生にな  
りました。草太郎(小4)、花絵(小2)、水  
彩(小1)です。将来、神大水泳部のお  
世話になることがあればよろしくお願  
いします。

**後藤 信人(昭53)**

4月から週一程度でプールに入るよう  
になりましたが、一回で1000m位がやっ  
とでマスターズ復活はまだ先のことに  
らりそう。

**土井 祐二(昭55)**

松山に4月から転勤になりました。道後  
温泉の近くでのんびりした所です。

**桑本 万里(昭55)**

市内の体育館、区民センタープールな  
どで火～土に中高年の健康体操や水  
中ウォーキングの指導をしています。六  
甲台のプールでいっしょに泳いだ同輩、  
先輩後輩方と再会できる日を楽しみにし  
ています。

**中尾 稔(昭55)**

昨年秋より松山から高松へ異動してお  
ります。ここ数年泳ぐ機会はなかなか作  
れませんが今年で50歳となることもあり、  
折角四国にいるということで88箇所を廻  
ってみようかと思っています。

**土井 紀子(昭57)**

3匹の子ブタちゃんたちの世話を追わ  
れています。それぞれに独り立ちしてく  
れたら凌泳会にも参加したいと思ってい  
ます。皆様のご活躍をお祈り申し上げま  
す。

**富岡 洋三(昭57)**

昨年は、亡父(道雄)死去に際しまして  
諸先輩方から現役の皆さんに至るまで  
数多くの方々よりご弔慰を賜り誠に恐れ  
いります。本来長男である私が総会の場  
でごあいさつすべきところですが所用に  
より欠席せざるを得ず失礼ながらこの場  
を借り、改めてお礼申し上げます。

現役部員の皆さんの活躍をお祈りしま  
す。

**山野 和則(昭59)**

今年もマスターズ短水路大会に参加しました。

4月16日明石会場

100Br(2位)、100Fr(2位)

4月30日神戸会場

50Br(2位)、200Br(1位)

会場で多くの会員の皆様にお会いできることを願っています。

**浦野 敏明(昭60)**

昨年10月左足首を骨折しギブス生活を初めて経験しました。駅を歩く人の速さに驚くと共に自分も普段はそうなんだなあ、異常だなあと実感致しました。最近水泳も再開し今年も多分200Flyに出ます。

**奥村 直樹(平1)**

ようやく仕事も落ち着いてきて泳ぐ時間が出るようになりました。現役の皆さん今シーズンも頑張ってください。

**鈴木 知寿子(平6)**

昨年10月に次男を出産しました。

**小南 美穂子(平7)**

昨年12月に長男を出産し、現在は子育てにいそしんでおります。出産前は、マタニティスイミングを楽しんでいましたが、次はベビースイミングにいつ挑戦しようかと考えているところです。

**河原 知成(平8)**

みなさんのご活躍は、いろいろと伝え聞いておりますが、なかなか仕事が忙しくて応援に行く時間を作れないことを申し訳なく思っています。このシーズンこそは、プールサイドにお立ち寄りできればと思っていますので、その際はよろしくお願ひします。

**恵美 裕(平9)**

家族を連れ、来年10月迄スウェーデンへ渡航しております。

**土井 祥宏(平11)**

ご活躍を期待しています。

**林 恭子(平12)**

2006年3月に結婚し、熊本で新しい生活がはじまりました。お近くにお越しの際は是非お知らせ下さい。皆様の活躍を応援しております。

**藤田 麻希子(平13)**

3月に女兒を出産し、初の子育てに追われています。

**小齋 一彰(平18)**

今シーズンの水泳部の活躍を期待しております。

**松本 和也(平18)**

競泳面・水球面全員の活躍を期待します。また4回生はラストシーズンを悔いのないように精一杯頑張り楽しんで下さい。

## 【月見の宴】

### 山口 宗樹(昭16)

90才近くなり友人も減り淋しい限りです。一緒に泳いだ仲間は大西氏(在神奈川)、吉野氏(在大阪)位でしょうか。ソ連捕虜生活時代も水(池?)を探して泳ぎましたがそろそろ水もお別れでしょうか、残念です。現役の皆様のご健斗を祈ります。

### 荻野 茂希(昭18)

一応元気にやっております。84才にもなりますと外出もオックウになり自宅で園芸や野菜作りを愉しむことが多くなりました。毎月一回大阪凌霄クラブの同期の定例午餐会には必ず出席していますが参加者も毎回10名以下とだんだん少なくなりました。

### 富中 暁(昭18)

例年通り7月下旬から信州(黒姫と軽井沢)に行ってましたが帰京。万事step by stepです。

### 湯山 正三(昭19)

毎日のように近くのジムに行き1時間近く遊泳しています。女房もつれて。

### 山本 幸雄(昭27)

今年は殊のほか猛暑の夏でした。何とか元気に乗り切りました。6月より町内自治会の依頼もあり小学生下校時間の安全保護パトロール隊の一員としてボランティア活動をやっております。昨年痛めた左足も殆ど治癒したようでホッとしております。

### 岡澤 幹夫(昭29)

週2~3回のプール通いをしています。

### 田淵 五郎(昭30)

ポロの吉報を待っています。競泳陣ご苦労様でした。マスターズの記録は落ちる一方ですが何とか続けています。

### 堂本 直正(昭30)

パソコンに毎日のように水泳部の活躍ぶり、対外試合の結果などを配信してもらい見ております。私まづは毎日をのんびりと趣味ごとと読書、TV、友人との交流などで過ごしております。

### 村田 邦夫(昭30)

社労士としてぼつぼつ仕事をやっております。

### 高橋 靖周(昭33)

「凌泳・富岡道雄会長追悼特集号」を読みながら青春時代が遠くに過ぎ去ったことを思い知りました。これからは、健康に注意して卒寿を迎えるまで後約20年泳げるといいなと思っています。

### 榮川 泰介(昭34)

相変わらず雑用に追われています。

### 岡村 司(昭34)

本年のご健斗、ご苦労様。成果を検討、来年からの対策を構築されるよう願ってやみません。

**奥野 吉矩(昭35)**

これまでの勤務先(株)渡辺商行の光源・光装置部門を昨年12月に分離、新会社(株)ワコム電創を設立致しました。小生も68歳となり本来ならば引退の年齢ですが新会社所属となり、当分の間続投です。これは最後のご奉公になると思います。

**上村 久治(昭35)**

1年前に全くのフリーな生活となりましたので、その後は大学の写真教室や都筑写真倶楽部でしごかれながら専ら写真撮影に入れ込んでいます。この夏は花火撮影に5回も行きました。長岡や諏訪湖の花火大会には泊りがけでした。

**黒田 英雄(昭35)**

母校にはなかなか近づくチャンスがなくて…。東京凌泳会にはできるだけ顔をだしています。

**原 謙三(昭35)**

杜甫の詩にある通り「人生七十古来稀より」の70歳を昨年迎え、ほとんど年をとったものだといささかうんざりしている昨今です。昨年一寸病を患い入院したりしましたが、今はきわめて元気になり7月には沖縄の海に4泊5日で潜って来ました。

**米田 啓祐(昭37)**

マスターズ水泳に出場を目標に時おりプールで泳いでいます。

**高岡 保宏(昭37)**

小生3月末に姫路市教育長を辞任しました。重責から解放され、ほっと一息をついていたところです。今は、自由な時間を仲間とのゴルフ、旅行等で楽しんでいます。この4月から(財)姫路市文化振興財団に勤務しています。時間的には、かなり余裕が出来たので今までの不義理分を回復したいと思います。

**萩原 武(昭37)**

全国公から三商大戦までぶっ通しの強行軍で疲労の極だったことと察します。力の限り頑張ったファイトに感動しました。

**荒井 康之(昭38)**

今シーズンも皆様頑張りましたね。お疲れ様でした。最上級生の皆さんには、アッというまの4年間だったと思います。部活のためがまんしていた事など、あと半年の間に十分に楽しんで下さい。但し、体調には気をつけられますように。

**丸山 卓也(昭38)**

週2~3回プールで軽く800~1000mくらい流していますが健康の維持には一番よさそうです。皆様の活躍が出来ます様、環境作りに協力していきたいと思います。

**安茂 弘(昭39)**

今年の日本マスターズ短水路大会のランクが発表され65才区分200バタで9人しか出場者がいませんでしたが、1位になりました。

**鈴木 正弥(昭39)**

関東凌泳会では年2回の総会や春秋のゴルフコンペで皆さんと楽しくおつきあい頂いております。

**武政 英幸(昭39)**

マスターズ水泳と地域の小・中学校での水泳指導(泳げない子)、ジュニア水泳競技の競技委員などと河童の縁は続いています。

**前田 和秀(昭40)**

4月末運動中首を痛め同時に首の神経も損傷を受けてしまいました。5月20日頃までは整形外科でもらう痛み止めが全く効かず右上半身・右腕の筋肉がげっそり落ちました。その後整体師気功師にかかり、やっと痛みはとれたのですが現在も右腕のしびれは残っています。7月からゴルフ、水泳を再開しましたがみじめな状態です。何とか元の状態に戻すべく気功師とリハビリ運動をやっていきます。

**手嶋 忠之(昭41)**

このところ大学も忙しくなってきました。余りプールにも行けないでおります。名古屋で開かれるレインボーマスターズには参加したいと思っております。

**中畑 勝明(昭41)**

6月に非常勤の仕事も退職し現在は月数回の地域ボランティアの活動をしております。お蔭様で心身共健康に恵まれております。

**熊岡 禎二(昭44)**

最近になってやっと同世代の人達(木内さん、井上与志男さん、岩切さん)と東京地区の凌泳会で会うようになってきました。また7月には得丸さんとも卒業以来久しぶりに会うことができ楽しかったです。たまには神戸の方に行ってみたくはありますが、なかなか機会がなくて。

**小林 育夫(昭46)**

小生もジムにて休日には少しずつ泳いでいます。

**得丸 哲士(昭46)**

今年の目標

- 1、水泳生活 年間150000m
- 2、凌泳生活 岡村会に積極参加
- 3、趣味生活 達磨絵の収集

**佐敷 定雄(昭49)**

今年もシーズンが終わりですか？早いですね。本年もご苦勞様でした。来期の活躍の準備も始めて下さい。

**壇上 明夫(昭52)**

皆様の一層のご活躍を心から祈念申し上げます。

**大林 良和(昭53)**

皆様のますますの御活躍をお祈りいたします。

**木下 修一(昭53)**

子ども3人(小4・小2・小1)をスイミングスクールに通わせておりますが、上達の具合は皆、遅々たるものです。父たる私は、50m泳ぐだけで息が上がってしまいます。

**慈幸 弘樹(昭55)**

50才になり体力の低下を意識するようになりました。暇をみては、プールに通っています。

**上田 剛弘(昭56)**

皆さん大変ご無沙汰しております。ただ今仕事バカから親バカ真只中にあり土日は専ら子どもとの時間としております。

**金 一波(昭58)**

今年は日本にいるより海外が多いので水泳部の面倒を見られなくて申し訳なく思っています。今年は少ない戦力でよく戦いました。楽天イーグルスよりましと思います。来年は、より一層上へ頑張ろう!

**吉岡 宏之(昭59)**

06年4月転勤で大阪に戻ってきました。

**渡辺 久美子(昭61)**

2年程前から“オバサン体型”を低炭水化合物ダイエットとエステの強力マシンで4kg減に成功し、何とか夏を乗り切れそうです。9月には、遅い夏休みでグアムへ潜りに行ってきます。

**奥村 直樹(平1)**

現役の皆さんお疲れ様でした。

**西村 美和(平1)**

今年は例年以上に現役の皆さんのご活躍を楽しみに拝見しています。どうか良い結果となります様頑張ってください。応援しています。

**田中 和彦(平2)**

この度IDU社を円満退社し、独立起業いたしました。私もついに40才。水泳を離れて長く、昨今は娘とプールに行く程度。現役の皆さん、できる環境にある時に精一杯頑張ってください。

**山田 基洋(平6)**

水泳の方は、100mまでは現役時代のタイムにかなり近づいてきました。冬にまた1500mに挑戦します。

**小南 美穂子(平7)**

昨年末に出産し、8ヶ月の子どもの世話を追われる毎日です。

**久保 達也(平14)**

今後も現役の皆様のご活躍を期待しております。頑張ってください。

**福本 守(平16)**

毎日陸上で汗水流して働いています。水中にいた頃に戻りたい。あまり顔を出せてないですがいつも応援していますので1日1日を大切に頑張ってください。

**松本 和也(平18)**

1年間お疲れ様でした。この1年は、チームにとって大きな変動の時だったと思います。今シーズン良かった所、やれなかった事を振り返って来シーズンに繋げて下さい。

## 【卒部の辞】

小川 啓 経済・Fr

大学入学直後の新歓祭で水泳部のテントを訪問し、半ば勢いで入部を決意してから4年が経ち、気づけばこうして卒部の辞に筆を走らせていることに、今更ながら月日が経つことの早さを実感しています。思い返せば、入部当初は日々の練習についていだけでも精一杯で、大学受験で鈍った身体には十分過ぎるほど厳しい練習でした。

そして、がむしゃらに泳いだ1年もあつという間に過ぎ、初めての後輩もできた2年生の頃には、少しずつ目標がカタチとなって見えてきました。それは、自由形長距離を専門に置くこと、つまり、1500m 自由形をメインに考えていくことです。もちろん、初めから上手いくはずもなく、どうやって練習しているものか、まったく見当もつきませんでした。

課題を残したまま、その年のシーズンも終わり、いよいよ3年生へ進学。いわゆる幹部学年と呼ばれる一年間。そしてこの一年間は、私自身、主将という役職を務めさせていただきました。多忙ではあつたけれども、それ以上に充実した一年間を過ごすことができたのは、先輩後輩はもちろん、やはり同期の力添えがあつたからこそ、だと思っています。主将として、また、いち選手としてやってきたこの一年間は、私の中に今でも印象深く残っています。

そして、最終学年。主将の役職は後輩に譲り、長距離選手として泳ぎに専念してきた一年間、心に残る出来事はたくさんあります。1500m 自由形で初めて目標タイムを切ることができた石川学生、男子3部優勝で2部に昇格できた関西学生、微弱ながらリレーに出させてもらった全国公、そして、最終レースとなった近国。そのレースひとつひとつに思い出があり、今でも、当時のラップ表を見ると、その時のアツイ気持ちがよみがえります。

今こうして卒部の辞を書いていると、当時の記憶が思い起こされると同時に、改めて卒部ということの実感が湧いてきます。今思うことは、現役水泳部員の成長と、これからの水泳部の発展を願うばかりです。駄文ながらこれを読んでいる部員ひとりひとりには、それぞれの目標があると思います。その目標に向かって頑張れ、などという言葉はおそらく誰からも聞いてきたことだと思うので、各人も分かっていることだと思うので、あえてこの場では言いません。私が一番言いたいことは、自らの言葉に責任を持って、そして、最後まであきらめるな、ということです。卒部していくいち先輩の言葉だと聞き流してくれても結構ですが、心の片隅にでも置いていてもらえると幸いです。今はまだ分かんなくても、きっと後になって分かる時が来

るはずです。

最後になりましたが、監督をはじめ、お世話になった先輩方、支えてくれた後輩たち、

そしていつも励ましてくれた同期のみんな、本当に、本当にありがとうございました。

## 井口 靖之 経済・Polo

先輩方が寄稿されていた卒部の辞をついに自分が書くことになってしまったのかと、桜咲くこの時期に思っています。おかしいところはどこにもございません。

4年間を振り返ってみると、一回生の頃から心に残る試合や練習があります。

初めて六甲台プールで練習したときのショックは忘れられません。グレーのコンクリートそのままの色、寒くて震えの止まらないプール……。1回生の頃、僕は真夏の8月にウエットスーツを2回着ました。とにかく寒かったのを覚えています。

試合ではへなちょこなながら、出させていただき、好き放題やりました。

当時の立命の4回生に「殺すぞ」と言われ、水球はそういうものだとの間違った(?)認識が僕に植え付けられました。この認識は尼崎 K 高校出身の後輩に受け継がれています。

2回生の頃は、ちょっとだけプレーが出来るようになり、理想と現実とのギャップに悩む日々でした。とにかく「強くなりたい」という一心ではありましたが、周りに当たる事や暴言を吐くなどかなり迷惑をかけてしまいました。

しかし、それも某Aヶ崎K高校の監督に雷を落とされるという事件にて幕を閉じました。

試合の面でも、忘れられないことがありました。

秋リーグ最終戦、対高専。この試合に勝てばインカレという状況でまさかのドロー。

最後の1秒まで諦めずにやりましたが、最後ボールを目の前に追いながら無情の試合終了のブザー。杉本町プールで涙をこぼしました。

しかし、この悔しい経験はその後の原動力となり翌年は6年ぶりにインカレ出場を手にしました。この年は主任として、チームをどうすれば強く出来るかということに一番集中できた年でした。

そして最終学年。

昨年に続き、インカレ出場を手にすることができました。

特に、インカレ初戦の阪大戦では2ピリ終了時に2-6と4点ビハインド

の逆境をはね返して勝利できたのは本当に良かったと思います。試合が終わった時の爽快感は4年間水球をやってきて本当に良かったと思えました。

今までを振り返ると、4年間いろんなことがありました。しかし、4年間本気で水球をしてこれのおかげで自分が大きく成長する何かを得られたような気がします。そして今までこんなやっかいな自分を見守っていただいた先輩、時にはアドバイスもしてくれた同回やこんな理不尽な先輩についてきてくれた後輩、そしてサポートしていただいたOB・OGの方々には感謝せずにはいられません。

もう引退してしまったのかと思うと寂しくて仕方ありません。また、夏が来たら六甲台のプールで練習するような気がしてなりません。しかし、過ぎ去った日々はもう戻ってはこないのですね。思い出せば脳裏には夏の六甲台プールで練習していた日々が蘇ります。

これからは、過ごしてきた日々を糧に、前に進んでいきたいと思います。

本当に、今までありがとうございました。

## 松村 將由 国文・Bk

卒部の辞と言っても、質、量とも濃密な水泳部生活をどのように振り返ってよいのか？しかも、自分は海外留学のため、三回生の終わりに部の活動から離れたので、卒部の辞を書く立場にあるのかも疑わしい。ただ、部を途中で離れて、海外で全く異質の体験をしたから分かったことがある。神戸大学体育会水泳部での経験は、OBの方々、同回生、後輩がいるこの水泳部でしか得ることができない、他のどこにもないかけがえのない経験であること。そんな自分の経験、思いを書いてみたいと思います。

一回生のとき、僕は中学卒業と同時に水泳を辞めていたので、大学で水泳をやるなど微塵も思ってなかった。高校のとき始めたテニスを大学でも、サークルとかでやる

だろうなと思っていた。しかし、何の縁か、週末に雨ばかりでテニスを見学行けず、たまたま屋内でやっていた水泳部を見に行ってから、気づけば、プレ新、新歓ときて、水泳部に入っていた。正門によじ登って、自己紹介をするところから始めて、水泳部の濃い日々の始まり、ついていだけで精一杯だった。今、思えば、主体性ゼロ。兵カレのエントリー前、バックならすぐレース出してやると言われ、今までの専門フリーを捨て、バックへ。ここでも、そんな強い思いがあったわけではなく、ただ出られないよりは出れたほうがマシと思っただけ。出るだけで終わり、タイムを狙っているわけでもなく、上を狙っているわけでもない。当時はそれで精一杯だったのだろうが、なんともし情けない一回生時代。

二回生になり、それまで見てきた先輩たちの姿、聞いてきた言葉の意味が分かり始め、やっと水泳部員としての自覚がちょっとは出てきたような気がする。正式メンバーの3人として出場するということの重大さに本当に気づいたのは、二回になってからだと思う。そう思ってから、公式試合、交流戦問わず、正式メンバーとして出る100、200バックは緊張と共に臨んでいた。そして、そこで決勝に残って点をとってこれない、全国公の制限が切れない、ベストでさえ出せない時は、悔しくて仕方なかった。

そんな思いから、三回では、全国公に出る、決勝に残るといった目標を持って臨んだ。そもそも、一回生のときには想像してもしなかったことだが、この僕が主務になっていた。幹部として、幹部学年として、水泳部を引っ張っていかねばという点からも、自分の目標達成は必須だと思った。この頃から留学のことはすでに頭にあり、最後のシーズンになるかもという思いもあった。ただ、主務の仕事は想像以上に忙しく、シーズン中は文字通り目が回りそうだった。特に、凌泳全国大会では、数百人規模のイベントの運営に携われたこと、多くのOBの方々の水泳部への熱い思いを直接聞いたのは、忙殺されそうな日々だったが、貴

重な経験だった。その中で、200バックで全国公団体制限突破、近畿国立決勝進出(10位まで残れて、100、200とも10位というのですが)と自分の目標も100%とは言えないが、達成に近づくことができた。ただ関カレ三部降格という時は、もっと自分のできるがあったのではないかという後悔でいっぱいになった。そのとき、結局自分は神戸大学体育会水泳部が好きで、この部が負けるところを見たくなかったのだなと思った。そう言った単純で至極全うな思いで、幹部とか関係なく、動けたのは関カレ直前から。先輩、同回と話し、衝突してからだったと思う。もっと早くそうできていればという思いも、もちろんあるが、これも自分にとってはかけがえのない経験だった。

結局、振り返って見ると、こんな僕でも、選手として、主務として、どうにかこうにかやってこられたのは、OBの方々、上回生、同回生、後輩がいてくれたからこそだと思います。水泳部で得たすべての人のつながり。これが一番かけがえのないものだと思います。水泳部を通して関わられたすべての人への感謝の言葉で卒部の辞を終わらせていただきたいと思います。感謝してもしきれぬものではありませんが、4年間本当にありがとうございました。

## 泉口 将人 法・Polo

グティ。

このあだ名には、呼ばれるようになってまだ4年間とは思えないほど愛着があります。1回生のときの初めての関学の食堂。僕はそんなにサッカーに詳しいわけではないし、とりわけ『グティ』選手が好きなわけでもない。ただ、『いずみぐち』は練習や試合で呼びにくいからという理由だけで岡一成先輩に付けて頂いたのでした(笑)(当時、岡さんは『オッカム』でした)。

あれからもう4年も経って、卒部して、実はもう就職してしまっているなんて、時間が経つのは早いなあと言うか、古谷ごめん。振り返ってみれば、この4年間、部活での時間が大学生活の中心でした。

2回生の秋リーグ。ふがない自分が情けなく、あんなに悔しかったのはあのときが初めてでした。3回生のインカレ。岡さんと行けて本当によかったです。4回生の最終戦。試合が終わって、あれほど充実感を感じたことはありませんでした。

どれも、この部活に入っていなかったら経験できないものばかりで、本気で打ち込んだからこそ経験できたのだったと思いま

す。1つの目標に向かって一致団結して努力していくことは本当に素晴らしいことだと、月並みですが身をもって感じました。こう思えるのは、ここまで自分を育てて下さった先輩方やチームメイトのおかげです。感謝。

また、4年間、とにかく楽しかったです。練習や試合以外でも、同回や先輩後輩とバカをやって過ごしたり、飲み会ではやたらと絡んだり(本当、申し訳なかつたです…水谷さん、後継者になれましたでしょうか)。こんな一緒に楽しめる仲間と出会えたのも部活に入ったのおかげです。

いろいろありましたが、4年間やってきてよかったです。と今笑って言えるのが何よりよかったです。現役のみなさんもそう思えるよう、自分で納得のいくよう日々を過ごしてください。

最後になりましたが、OBの皆様方や先輩方には大変お世話になりました。みなさんの支えがあったからこそ、4年間部活に打ち込むことができました。本当にありがとうございました。そして、4年間を一緒に過ごした同期。感謝です。またみんなで飲みに行きましょう。

## 井領 祐介 海・Fly

このたび！卒部の辞を！述べさせて！い  
ただきたいと！思います！きおつけ！礼！

2003年4月、現在の海事キャンパスである商船大学で、先輩方に勧誘されたのがきっかけで水泳部に入部しました。最初は、水泳とは何かという軽い気持ちで入部し、完全になめてかかっていたので面食らうことが色々ありました。1回生、2回生の頃の僕は、努力やチームへの気配りが出来ていなかったところがあり、今から思い返せば本当に情けなかったです。その頃の自分に、もっと気合いいれろよと説教したい気持ちです。しかし、その頃の情けない自分があったからこそ今の自分があるのだと思います。僕をここまで成長させてもらったのは、一緒に頑張った仲間です。既に卒業していった先輩方や、同期、後輩のみんな1人1人僕には全然もっていない良さがあり、見習うべきものがたくさんありました。

周囲の仲間と一緒にいると、頑張るとはどのようなことか、根性を出すとはどういうことかということが段々と分かってきました。そこから数多くのことを学び取り、自分の力としていき、3回生、4回生と学年が上がるごとに成長していく自分自身を感じました。1回生の頃、25mを泳ぐこともままならなかったのですが、最後の関西学生の試合で決勝に残り、練習でも、最終的に100mのスィムで1'30"サークル、100mのキックで1'55"サークルまで上がりました。自分を強くしてもらった仲間感謝します。今の自分にも足りないことが山ほどあり、まだまだこれから努力していかないといけないです。水泳部で学んだことを生涯忘れず、これからあらゆることに日々努力し、もっともっと自分を成長させようと思います。

きおつけ！以上で！卒部の辞を終了する！別れ！

## 上田 章生 海・Fr

私は2003年の春に神戸商船大学に入部した最後の水泳部員として水泳部に迎えられ、今年の春に神戸大学水泳部員として卒部を迎える事となりました。思い返せば長いようで短い日々でありました。

過去を振り返ると、入部の動機となった

部活見学時の水泳部員の方々が楽しんで練習している姿、入部の後には大学の合併とそれに伴う部の合併、その後の様々な出来事。あまりに多くの思い出が、様々な感情と共に蘇ってきます。

商船大学水泳部の最後の1年、私にと

っては始まりの年、先輩方と共に商船大学水泳部として残り僅かな時間を充実したものとすべく努力した結果、あらゆる活動において有意義かつ楽しめた日々でありました。その後を迎えた合併の年以降、私は身の回りの環境の大きな変化に戸惑いながらも商船大学水泳部の先輩方や同期の部員、さらに1つになった神戸大学水泳部の方々と共に充実した日々を過ごしていこうと考えていました。しかし、現実はその簡単ではなく様々な意見のすれ違いにより、商船時代からの仲間が去ってしまう事もあり、寂しさを感じることも多かったです。しかしながら、合併以後2年間は先輩方と共に最初の一年よりも楽しめるよう努力し、結果的に充実した日々を過ごせたと考えています。そして迎えた最後の一年。残念ながら部活動に対して悔いの残る一年となってしまいました。しかし、この一年は自分の人

生観に多大なる影響を与える数多の出来事が起きた日々でもあり、決して無駄な1年ではなかったと確信しています。

これら全ての水泳部員としての過去を振り返ると、その大半が環境の変化と己の内面との闘いの日々であり、その時々において多くの仲間を支えられてきましたが、支えを失った事で己に負けてしまった時もあり、己の弱さ・脆さを思い知らせてくれる事も数多くありました。他にも様々な事を学びましたが、自分は多くの人に支えられて生きていると実感できた事が、水泳部員であった日々を己にとってかけがえの無い経験としていると感じます。

最後に、様々な事でお世話になった多くの方々に心よりの感謝の意を表し、卒部の辞に代えさせていただきます。この4年間、本当にありがとうございました。



## 上田 久美子 経営・マネ

私の大学生活は水泳中心に全てが動いていました。

何もわからないまま飛び込んだ水泳の世界。本当に深くて広くて、今でもまだつかみきれない世界です。

入部した頃は、毎日練習に行くことだけで精一杯でした。サークルを計算すること、先輩の声の出し方をまねることが当面の課題でした。それでも自分が一つのコースを任せられることが嬉しくて、早く先輩みたいに2つも3つもコースを回せるようになりたいと思っていました。

ずっと恵まれた環境で仕事をしていたが、3回生のシーズンオフ、自分たちが一番上の学年となった時、急に極度の不安を感じました。

「今まで自分がしてきたことは何なのだろう。」

「先輩マネさんの後ろにくっついていただけ。」

「タイムを計ってサークルをまわしているだけ。」

でももっとできることがあるはず・・・と思いはじめました。

おそらくあと1年しか水泳部で活動できない、最後の1年こそ自分にできることは何でもやってみたいという気持ちに溢れていたのだと思います。

そこで、もっと選手との距離を縮めたいと思

ってたどり着いたのが、マネージャー日記の開設と、練習中の声かけ・アドバイスでした。ごく当たり前のことですが、この当たり前のことを実行するには本当に勇気がいりました。知らず知らずのうちに選手とマネージャーの間に自分で大きな境界線を作ってしまったのです。そのため、選手のこと泳ぎのことともわかっていないし、何より選手に声をかけることが怖い、声をかけようにも何て声をかけていいかわからないといった気持ちでいっぱいでした。

実際、この試みが全て上手くいったわけではないですが、自分の意志で「やろう」と一歩を踏み出せたことは今の私にとって大きな自信となりました。

選手が、私の下手なアドバイスを受けとめてくれた上に、「ありがとう」とか「泳ぎをちょっと見てもらえますか？」と言ってくれることが、自分が本当に必要とされているように感じ、ただ素直に嬉しかったのを今でも思い出します。

「私はこう思う。これがやりたい。」ということをお口にすることで、それを聞いて、部内だけに留まらず、本当に多くの方が泳ぎのことを一から教えてくださいました。またいろいろなアドバイスもいただきました。新しい領域への鍵を導いてくださったみなさんにはただ感謝するばかりです。自分が動かないと何も変わらない、自分の本当の思いを口に

することで、いろんなきっかけがつかめることを実感しました。

しんどいことも辛いことも、楽しいことも嬉しいことも、水泳部で経験したことは今となっては全てステキな思い出です。

いつも私の話を聞いて的確なアドバイスをくださった先輩方、こんな私を受けとめてく

れた後輩のみんな、そして4年間一緒に頑張ってきた同回の人々に本当に感謝しています。

最後になりましたが、OB、OG 諸先輩方々、金監督、柳田先生、本間先生には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## 加藤 晃裕 経済・Polo

井上へ

短い間やったけど、伝えなかったことは全て伝えたので、あとは自分次第だ。

一応最後にもう一度。

自分でメニューは考えろ！

常に自分の課題と対策を考えて。

きっと、司馬の方が知識はあるが、自分でたてたメニューには、それだけの責任と…って、もう分かるよね。

そして、メリハリは大切に。

いつも全力でやるよりも、しっかり休んだあとの全力の方が、質が高い練習ができるはず。

もしこのやり方に納得できたら幸いだが、別に自分のやり方があるのなら強制はしない。

じゃあな。

自分勝手なゴールキーパーより

## 田中 宗親 理・Fr

大学水泳部生活は濃くそしてあっという間でした。ここで簡単に僕の水泳人生を振り返ってみたいと思います。

・4歳の夏、「阪急 SS」の短期水泳教室に通い、楽しかったことから同スクールのレギュラーコースに通うことに。7歳の時の引越して「垂水高丸 SS」に移るも水泳を続ける。

・小2の終わり頃、選手コースに入りここから週6で1日3時間のトレーニングという地獄が始まる…(泣)

・小3の途中でバタフライに転向し50mバタフライで神戸市10位に入り初めて新聞に載る。

・小4では、10歳以下クラスでJOを目指すために200IMを専門に頑張るが切れず。(冬の大震災がきっかけで「舞子 SS」に移ることに。)

・小5では、中学受験で塾が忙しくなってきたため週3の育成コースに落とし、その途端みるみるタイムが落ちていった。そして小5が終わると同時に、受験に力を入れると言うことで水泳を辞める。

中学校にはプールがなく、この時から大学で水泳を再開しようと思っていました。そして大学に入学し、新歓祭で入部しに行きました。

・1回の時:

4大戦で7年ぶりに50Frを計り30秒を

切れてる事に驚く。練習では主にC面で泳ぎ、全国公の打ち上げで「近国で1フリ1分切ります」と宣言するも1'00"68で切れず。が、10月のマスターズで短水ながら初の1分切りを達成！この年は「手の回転だけは速い」「フォームが汚い」「キックが下手」など悪いとこだらけ。決勝に残るなど夢のまた夢という感じだった。

・2回の時:

体力が徐々についてきて長水でもコンスタントに1分が切れるようになる。しかし、コースは未だB面(キックはもっと下)。関国で初の決勝。また、4継も任されるようになるが、関カレでは不甲斐無い泳ぎをし、全国公で友彦にその座を奪われる…。秋に競泳主任になり、この時からA面で泳ぐようになる。

・競泳主任(2~3回)の時:

自分のやり方で周りとの歯車がかみ合わず、挫折も味合う。周りにも助けられ何とか1年間やり切った。この時、周りに相談する仲間がいるのに相談しない自分があった。数々の失敗から、客観的な部活の見方、部活に対する取り組み方を知る。今まで生きてきた中でも1番成長できた1年だったと思う。

レースでは関カレで初めて決勝に残り、25"8のベストを出す。(この頃からスタート後の浮き上がりの早い泳ぎをはじめた。)し

かし、数年ぶりに3部降格という残念な結果に終わった。

・主任を終えてから引退まで:

主任を引き継いだ途端にすごく肩の荷がおりた。ほんとすごく楽な気分だった。部活のことも自然と見やすくなっていた。最後のシーズンを、「結果を出してチームに貢献」と誓う。

4年目にして100Frを見切り200IMに転向。(200IMは10年ぶりの専門といった感じ。)50Frと200IMの上位進出、そしてリレ面獲得に向けてオフに泳ぎこんだ。

6月の高槻では50Frで初めて24秒台で泳げ、関カレでは50Fr大ベスト+200IMで初の表彰台+8継1位+3部優勝で2部昇格、全国公では50Frで歴代1位に0.03"届かないもののベスト、引退試合の近国では50Frで初の表彰台+200IMベスト+200Frベスト。おまけで大学院入試合格。

と水泳に関してはほんといい感じで締めくくれました。(悔しいのは、50Frでインカレ制限を切れなかったこと+歴代1位を切れなかったことの2つです。)

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

こうして振り返ってみても、水泳が自分を支え、成長させてくれた気がします。大学水泳部生活でも、辞めたくなくなった時も何度かありました。でもやっぱり周りに同じような境遇で頑張っている仲間がいたから4年間続けて来れたのだと思います。1人じゃとてもやって来れなかったと思います。

とても人数の多いこの部活で皆が同じ方向を向くというのはとても難しいことだと思います。僕もはじめはただ練習をこなすだけで強い目的意識は持ててなかったです。そして色々な考えを持った仲間のおかげでたくさんの方に気付かせてもらい、心も共に成長させることが出来ました。

やはり目的意識を持つと練習に楽しさを見出すことが出来ます。はっきり言って競泳の練習はしんどいです。僕は昔から競泳の練習が好きじゃないです。僕はレースで得られる達成感、これを得るために続けて来たのだと思います。達成感を得るためには日々の練習が必要、そして練習には仲間が必要です。競泳が団体競技と言われる所以の1つはこれだと思います。

どんなにたくさんの部員がいても人には個性があり、それぞれの役割というものがある小さいことであれきつとあると思います。それに気付いた時、部活の一員として部のためにより頑張ることが出来るようになると思います。

あと少し話が変わって。僕がよく話すんですが、4回の時の部のメンバーは僕が入部した時のメンバーと半分以上違っている(当たり前ですが…^^;)ということにすごく時代の変化というのを感じてしまいます。1回から4回になる間に部自体がとても変化している、つまり水泳部は常に変わり続けていると言えると思います。僕は、先輩・同回・後輩と計7学年の人達と関わってき

ました。喜怒哀楽を共にしてきた深いつながりだと思えます。これからもこのつながりというものを大切にしていきたいです。

現役のみなさんへ。僕も去年辺りからよく口にするようになった「客観性」を大事にしてください。言い換えると、「物事を1歩引いて見てみる」という感じです。そしてまわりの仲間達と助け合いベストシーズンを送って下さ

い！あと卒部まで絶対やりきってください！

最後になりましたが、4年間の水泳部生活で関わった監督、OB・OGの方々、先輩方、後輩達、そして1番深く関わった同回の仲間、本当にお世話になりました。この水泳部でやってこられたのは皆様のおかげです。本当に有難うございました。そして今後とも宜しくお願い致します。

### 土田 絵里奈 経営・Fr

無事後期の期末が終わり、只今ほっとしているところです。さて、何を書こうかと、色々思いをめぐらせているのですが、そんないい言葉浮かんできません。

私と水泳について、語りたいと思います。私が初めて水泳をしたのは、幼稚園年中さんのとき。で、小1までNASという所でスイミングを習いました。そのときは、割と覚えも早く、バタフライまで習得したのを覚えています。ひよっとすると、今よりも上手かったかもしれません。(笑)その後、特に水泳に触れることもなく、大学に入って、何か運動をしたいと思い、親に勧められたのが、水泳部でした。当時、神戸商科大学にいたので、部活は、夏こそ毎日練習があるものの、個人練習が多く、割とゆるいものでした。神戸大学に編入してきて、再び水泳部に入るか迷いましたが、何故か、2年の後

期の期末が終わったときには、入部します、と言っていました。それからというもの、やはり入る部活を間違えたかと思うほど、神大の練習は私にとってはきつく、精神的に辛い面もありましたが、やはり、先輩・同回・後輩の支えがあったから無事引退することができたと思います。一度、辞めようと思っていると言ったときに、同回の子らに言ったときに、一応止めてくれて、今の私があると思います。その時の気持ちは複雑で、やりたいことが別にあったり、体力的に無理だったり、編入で単位やばかったり、でも、やっぱり、引退するまで続けると、やめなくてよかったと今では思っています。大学生生活を水泳部で過ごすのに勝る、やりたいことなんてあるのかなと今では思います。先輩のみなさんも、大学で水泳部で、思いっきり青春してください☆

坂田 まりあ 甲南女・Fr

「新しいことを始めてみよう」という思いを機に、入部を決意してから、早2年半の月日が経ちました。実際、1年半という短期間の活動でしたが、それ以上に深く、記憶に刻まれているように思えます。振り返ると、春合宿、全国大会、近畿国公立大会……一つ一つの思い出が鮮明に呼び覚まされます。私が部活から得たもの、泳力、仲間、色々あります。しかし、何より「他者との交流による自己開拓」を部員の皆さんを通し、学べたように思います。同期生、先輩、後輩など多くの方との出会いにより、様々な価値観と触れ、刺激となりました。部活での経験は、現在の私生活の原動力となっていることの一つであると言っても過言で

はありません。

入部の動機を始め、目標も個人個人異なると思います。また、他大学生が入り交じる、特殊な環境下から生じる、多種の相違点が存在する中、核となり部を担う方達の努力は計り知れません。私自身、勝手な行動をとり、多々迷惑をかけたこともありました。色んな面を含め、同じ空間で共に活動したことは貴重な経験になり、今後の糧になると思います。

最後になりますが、今までありがとうございました。お陰様で充実した学生生活が送れました。これからも挑戦する心を忘れず、自身を向上していけるよう頑張ります。今後ともよろしくお願い致します。



Photo 六甲台プール全景(2006年8月12日・三商大戦)

## 野村 真希 神戸葉・マネ

私の中で神戸大学水泳部は、ひとことでは言うとなんてなんですが、かけがえのないものです。いつの間にか、自分の中の基本が水泳部になり、世間を測るものさしが水泳部になり、何もかも水泳部で構成されました。「これで社会とずれるのなら、惜しくはない・・。」(笑)と思っています。(たぶん、もともとずれている・・。)

入部するとき、こんな私でもひとつだけ、ハードルを課していたのです。

「練習を見に行き、陸と水の間、温度差や見えない壁があったら、入らない。」と決めていました。いま思うとえらそうですねー(笑)そんななんのいー。

でも、良い悪い関係なく、そういう体制が昔から染み付いているところもあるのです。

神戸大学水泳部はもちろん違いました。あつたかくてファミリーみたいで・・、私は入部を決めました。

4年間マネージャーをやらせてもらって、いろいろな経験をしました。3年から4年にいくとときに、マネとして加速しました。私も、くみちゃんと革命を起こした・・つもりです(笑)それまでもマネージャーとして、やってきたつもりでしたが、本格的に動き出してから、視界がひどくクリアになりました。自分で見えないと思っていたものを見よう

としたからだと思います。「選手の泳ぎは個人差があるから、わからない」とばかり思っていたけど、よく見ると本人の気持ち次第で泳ぎは全然違いました。

もちろん選手に対する様々な不安が、私を付きまといました。「私の泳ぎに対する一言で、今の泳ぎから大きく軌道を外れてしまうのではないか」「マネなのにいるさといわれていないか」「また、おなじこと言うけど、大丈夫かな」・・・

ほんと、もしもひとりだったら、いろんなものを、人を巻き込んで自爆していたと思います。私はひとりじゃなかったんで、くみちゃんと話し合ったり、先生に聞いたり、先輩に話を聞きに行ったり、同期や後輩に生の声を教えてもらったり・・・、たくさんの人に支えられました。そしてようやく、「マネだから」から始まる言い訳はしない！に至りました。ひとつひとつ進むのに時間がかかりましたが、みなさんのおかげで、私は4年間熱く過ごせたと思います。

本当にありがとうございました。

### 最後に現役生へ

とりあえず、ストリームライン！！  
何が何でも、腰を浮かしてね！！

## 濱本 有紀 甲南女・Bk

えーっと、今、私がなぜこの卒部の辞を書いているのか、どなたか分かりやすく説明していただけないでしょうか？確か、昨年8月に引退したはずなんですけど、約半年経った現在でもかなりの割合で練習に参加させていただいているので、半現役気分です。それゆえ、「卒部の辞」に違和感を覚えております。ええ、後輩にも現役だと思われていることでしょう。

では少し、私のステキな大学生活を振り返ってみるとしましょう。

2003年、大学に入学した当時、4年後の自分が水泳をしてるやなんてどうして考えられたでしょう。なぜなら、私の通う甲南女子大学には水泳部なんて無かったんですから。

2004年3月、ラクロスとは相性が合わないと思った私はラクロス部を辞め、その2週間後に神大水泳部に入部させていただきました。なんで神大水泳部やったかって？運命としか言いようがありません。1回生の時の5月頃、私は確かに見たんです！この目ではっきりと！うちの大学のコモンルーム(学科の部屋)に、神戸薬科大学水泳部のポスターが貼ってあるのを！！で、即連絡を取ってみると、神大と一緒に練習してるっていうじゃありませんか！今考えてみると、不思議です。だって、他大学のポスターがコモンに貼ってあるなんて考えら

れへん。だから運命なんですよ。それとも幻を見ていたのでしょうか？あ、奇跡とも言えますね～

入部時、当時の主任であったk齋さんに申し上げた言葉。「泳ぐのは好きです。でも私、甲子園球場で売り子やってて、売り子も大好きなんです。だから、夏は売り子に行きたいので練習に全部参加できるかわからないんですけど、今は甲子園ないんで一緒に練習させてください。」という内容の言葉。今考えると、何て恐ろしいことを言ってしまったのかと冷や汗が出ます。知らぬが仏です。だけど、そんなええかげんなこと(いや、当時の私としてはマジメな答えやったんですけど)を言う私に対して「まあ、できるとこまでやってみたら？その事はそんな時に考えたらええんちゃう？」というようなことを言ってくださいました。それは当時の私にとって、とてもありがたいお言葉でした。そこから私はどンドンと水泳にはまっていたのであります。

そして、成り行きと勢いに任せて南女水泳部をつくっちゃいました。入ったばかりの頃、多少不安もありましたが、優しくてすばらしい先輩・同輩に恵まれ、おかげ様で楽しく過ごすことができました。本当に感謝しております。

私は3年間通して、泳ぎ自体は褒められたものじゃありませんでした。努力はした

んですがね…。でも、自分にできることは何かって考えたとき、声を出すことやって思ったんです。でっかいです。自慢です。せやから、練習でしんどいときも、試合のときも、誰よりもおっきい声出そうって思っていました。おかげ様でさらに声が大きくなり、ついでにハスキー声になってカラオケで高い声が出なくなりました。挨拶と返事はとっても重要なことなんで、皆さんもしっかり声出していきましょー！でっかい声出したら元気出るでえ～！！

楽しいこと？そりゃあ、もう盛りだくさん！ハンバーガー大食い大会に打ち上げ、新年会、忘年会、お誕生会、同回コン、鍋、友彦杯…いっぱいです！え？飲んで遊んでばかりって？まあ、いーじゃないですか。楽しかったんですから。こんなにも最高の仲間と戯れることができるなんて、そうそうないことですよ！社会人になってからも一緒に戯れたいです。もちろん、泳ぎの面でも嬉しいこと、楽しいことありました。私は他の人と競えるほど速く泳がれへんかったけど、自分のタイムが0.01秒でも縮んだらめっちゃ嬉しかったし、みんなの声援は心強いものでした。試合で念願のリレーが組めたときは、テンションは最高潮に達し、泳ぎながらも嬉しさのあまり笑っていたかもしれませぬ。何よりも、部の子が「水泳部に入ってよかった！楽しい！水泳部最高！」と笑ってる顔を見たときが一番嬉しいのです。

私にだって、辛いこと、悲しいこと、苦しいこともありました。そう、飲み会に参加できなかつたり…っじゃなくてっ！思うように泳げなくて、タイムがよくないことはよくありました。時間がなくて、やりたくても満足にできないこともありました(←売り子とか)。けど、何よりも一番辛かったのは後輩が部を去っていったとき。その度に悩みました。私のしてきたことは間違ってたんとかやうるか？なんで？なんで今辞めちゃうん？強く引き止めたい。辞めたらあかんって言いたい。せやけど、私も退部を経験している身やから、気持ち分からなくもないから、それはできへん。でも続けてほしい。そんなことばかり頭の中でグルグル。かなり悩みました。辞めた子それぞれにいろんな理由があったんやと思います。けどね、「水泳部で水泳やってて、みんなと一緒におれてよかった！楽しかった！！」ってホンマに心のそこから思えるのは、4回になってから、引退してからやと思います。しんどいことを乗り越えられたら、しんどいことの何倍もの素晴らしいことが待ってる、得られる。そう思いませんか？

いっぱいワガママ言って、いっぱいもんく言って、いっぱい勝手なことして、いっぱい困らせて、いっぱい迷惑かけて。それでも、ずっと一緒にいてくださり私を支えてくださった金監督、先生、OB・OGの方、先輩方、後輩たち、そして同輩のみんな。心から感謝しております。神戸大学水泳部と

して、甲南女子大学水泳部として今まで活動してこれたのは、本当に皆様のおかげです。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

みんなと一緒に泳いで、遊んで、飲んで、笑って、時には悔しい思いもして、苦しくて、泣いて、励ましてもらって…こんなにすばらしい仲間<sup>さん</sup>に囲まれて私は幸せ者です！この3年でみんなにたくさんの幸せをもらったけど、私はみんなに何をあげられたやろう？少しでも、ほんの少しでも、元気とか、やる気とか、楽しさとかを感じていただけたら光栄です！

現役のみなさん！水泳部でいて、泳いで、みんなと一緒にいて、幸せを感じる瞬間があると思います。その楽しさ、笑顔、幸せを感じる瞬間を大切にしてください！その一瞬の輝きを大切にしていれば、みんな

なが「卒部の辞」を書く頃には誰にも壊すことのできないキラキラ輝く大きな宝石になっています。今は辛くて苦しいことのほうが強く感じられていても、引退・卒業する頃にはそんな笑って話せるはずですよ。なんせ私がそうなんですから！

あー、ちょっとだけ振り返るつもりやったのに、なんか長くなってもうた。ほなこのへんで。みんな、この先もずうーっつと、一緒に遊んだり飲んだり騒いだりしようね！！うっとうしがっちゃ、嫌<sup>や</sup>一よ♪

最後まで 出しゃばりーの 目立ちたがりーの おしゃべりーの 騒ぎたがりーの 世話やきーな 濱本有紀でした☆

ほなね

## 松本 章子 甲南女・Br

私の一番好きな言葉。

「ありがとう。」

この言葉だけで、卒部の辞は十分な気がします。

いや、この言葉だけでは足りないか…でも、この言葉を一番に言いたいです。

卒部の辞を書くなんて、夢にも思いません

んでした。何を書こうか、何から書こうか、考えていたら分からなくなったので、考えるのを辞めました。切り替えだけは早いのが長所です。

私は小学一年生から水泳を始め、高校卒業と共に水泳を引退しました。「絶対に一生泳がん！」と決めて、引退しました。練習で泣き、試合でも泣いてばかりの競泳な

んで大嫌いでした。いつも辞めようと思って泳いでいました。でも、泳ぐことは大好きでした。その事に気が付くのはもっと後の話ですが…。

浪人を経て入学した甲南女子大学で、元気の有り余る濱本有紀ちゃんに出会いました。水泳部だったと聞き、懐かしいと思いつつ自分の中では「競泳」は関係の無い話だと逃げていました。しばらくして有紀ちゃんに会った時「水泳部作るから一緒に泳ごう!!」と満面の笑みを浮かべて何回もスカウトされましたが、考える間もなく笑みも浮かべず断り続けました。ごめんね、有紀ちゃん。

そして、三回生の冬休み。これこそ偶然であり必然だったのか、久しぶりに会った有紀ちゃんに自分から見学に行きたいと頼みました。自分でも思いますが、自由人です。有紀ちゃんにも、最初は冗談だと思っていたと言われました。高校引退以来、泳がんと決めていたのに、実は毎年3回もマスターズには出場してしていました。小学四年生から一度も直接対決で勝ったことのない、永遠のライバルであるOBさんの安茂弘さんとの再会も、偶然であり必然だったのでしょうか。安茂さんに勝つ為にも!!などと思ったりして、見学に行くことを決めました。未だに直接対決では0勝ですが…。ちなみに、神戸市マスターズで、初めて坂田マリアちゃんに出会いましたが、違う世界に来たような気分になり心地良かったの

を覚えています。

このような自由な動機なのにも関わらず、非常識な時期なのに有紀ちゃんも神大水泳部の方々も入部を認めてくれました。何も分からない私にとって一瞬で引退となった事はもちろんであり、色んな角度から水泳部を見る事が出来ました。歴史ある大学のこと、その歴史ある大学同士が合併したこと、歴史ある水泳部のこと、他大学と一緒に夢を追い掛けている水泳部のこと、偉大なるOBの方々のこと、お世話になりっぱなしの後輩のみんなのこと、そして一番頼りにしていた同回りのみんなのこと。全てが、私にとって凄いい存在で自分が一員になっていたのかは、今でも正直分からないです。ただ、私の人生の中にこの一年間が存在したから今の私があって、これからの私が存在していくのだということは事実です。この一年間を通して私は、今まで色々と考え過ぎていたんだな、と高校時代を振り返ります。「泳ぐことが好き」という気持ちだけで、十分なのに何を追い求めていたのかと少し勿体無い気もしますが、神大水泳部に所属出来たからこそ気が付く事が出来ました。私の水泳人生、後悔で終わらずに済みました。本当にありがとうございました。

卒部の辞で、レースの事やトレーニングの事を書く気は更々ありません。ありません、というか書けません。しかも平泳ぎしか泳げません。。。ここに残しておきたいことは、「ありがとう」という言葉と、現役のみ

なに「水泳が好きだ」という気持ちを素直に感じて忘れないで居て欲しいということだけです。

お味噌汁も、いくら最高級の食材やお味噌を入れて作っても、出汁がとれていないと美味しくありません。熱帯魚も、いくら優秀な魚や葉っぱや餌を入れても、水の温度と質をしっかりと整えないと上手に育ちません。水泳部自体も、その部に所属する一人一人も同じことだと思います。感謝の気持ちや優しさのない部活は出汁のとれてないお味噌汁と同じで、自分の泳ぐ意味を素直に受け止めることの出来ない水泳人は、水の温度と質を間違った水槽と同じです。感わされず、自分の考えをしっかりと貫き通して行って下さい。そして、「部」という温かさを感じて下さい。その先には、心の記憶にも数字の記録にも残る結果であったり、言葉には表せない素晴らしい何かであったりと…皆さんを待っていると思います。もちろん、私もこれから社会人になり一から勉強ですが、自分の考えは心の中で貫き通して夢を追い掛けて生きていきたいと思っています。

この先色々なことがあると思いますが、もし立ち止まったらこの下手っぴな私の例え話を思い出してもらえると幸いです。しかし、もっと良いのは無かったのか…

水泳から逃げてきた私に、競泳の楽しさを教えてくれたのはこの水泳部です。

ありがとう。

水泳から逃げてきた私に、逃げるなど引き止めてくれたのもこの水泳部です。

ありがとう。

水泳から逃げてきた私が、本当は水泳を大好きだと素直になれた理由はこの水泳部です。

ありがとう。

最後に、甲南女子大学水泳部として神戸大学水泳部に所属出来たことに、感謝し誇りを持ち、これからも応援し続けていきます。

そして、短い間でしたが私を支えて下さった偉大な先生方々やOBの方々、可愛い後輩のみんな、そして信頼する同回のみんなに心から感謝致します。

「ありがとうございました!!」

大笑いしながら、目標は違えど同じ夢に向かっていけるような部活動でありますように。



## 【現役部員寄稿Ⅱ】

## 現役部員紹介

### 【4回生】

穂山早紀 帝塚山学院・文・Poloマネ

さっきー・ことさき先輩は誰にでもフレンドリーなお子様です。笑顔でひどい毒をとばされるなんてことはしばしば。ちょっとひどくね？まあ練習中・試合中の彼女はしっかりとマネ業をこなすなかなかのやり手ですわ。特に試合中とか、ビデオに声残すし…黒髪幼すぎるし、、そんな彼女もさすがにシュー活は堪えたらしく、参っております。。もう四年やし残り半年もないけど、残りの期間を大切に一生の思ひ出にしてね☆今年もインカレ行って泣きましょう。あと新しい女マネ(予定)の指導もお願いします。言葉遣いは特に！

浦谷正史 高津・工・Bk・IM

正史さんは、水泳部の皆から頼りにされているとても優秀な先輩である。同回生には「まちゃち」、下の学年には「正史さん」と呼ばれ親しまれている。三商戦幹事校という年に、主務という大変な役職を勤め上げ、今年も、続役の、大阪府人会会長の仕事に専念する模様。

そんな正史さんの専門は IM。4 個メという長い距離を泳ぎきる体力と根性には自然と頭が下がってしまう。

最後の年である今シーズンのレースでは更なる活躍を期待しています。

加藤宏俊 岐阜・工・Br

第一印象→→悪人。と思われがちな宏俊さん。ですがブレ兄弟の兄。この人に何かしら語らすと強い。理屈で勝てる人は居ないんじゃないかな…。やると疲れるし無駄だからやらない様にしましょう。何より強いのはお酒!!ご飯よりお酒。お酒があればご飯はいらない。いやいや、ご飯はちゃんと食べましょう。

彼は練習前はすごいネガティブだけど、いったん水に入るとテンションアップしてきます。

色々忙しいけどブレで素敵な結果を残してくれるでしょう。

加藤亮二 啓光学園・海事・Fly

神大水泳部のバッター一人者。Fr よりも、Fly の方が速いのが、バッタ選手らしいですが、それが亮二さんの悩み。そして何とんでも、昨シーズンの主将。頼りがいがあってチームを引っ張ってくれました。

そんな亮二さんは、女の人大好きです。「世界中の女性が好き」らしいです。なかなか熱く語ってくれます。そんな亮二さんですが、凄く寂しがり屋で、話を聞いてもらえないと凄く悲しい目をします。だから亮二さんの話はしっかり聞きましょう…

今年も、将来の方向性も決まり、充実した生活を送るはず。水泳では、Fly を Fr が、追いつき追い越して、その先に 100mFly のインカレがあるはず。ですよ！

田染茉莉子 宇佐・工・Fr

四回生の中の紅一点。なぜか時々「お嬢」と呼ばれている。真夏のプールの中、皆真っ黒で、黒光りしてるというのに、彼女と、宗親さんだけはやたらと白かった。ちょっとだけ羨ましかった。しっかり者の彼女は真面目な感じ。練習も男子に負けず劣らずくらいに頑張っている。綺麗なフォームを持ってるし、これからもどんどんタイムを伸ばしてくれるだろう。そんな彼女は、優しいお姉さんタイプ。どこがどうお姉さんぽいのかといわれると困るのだが、飲み会で泣いている香織さんをなだめる姿は、姉が妹を慰めている光景を見ているようだ。

九州からはるばる神戸に出てきて彼女は、神戸に来て早3年。一人暮らしは自由で楽しいかもやし、工学部ということもあるし、部活の関係上、なかなか地元には帰れないらしいけど、帰れるときにはできるだけ長く帰って、親孝行してあげてください。

中村友彦 高岡・法・Fr

夏までの友彦さんの印象は、ネガティブそして、乱れた食生活。ネガティブというのは、練習や普段の食生活、さらに試合のレースにも現れる。僕が特に印象に残ったネガティブレースは、関国の400mFrで、最初の200mよりも、最後の200mのほうが2秒も速かったことだ。水泳一筋で来ていた僕も、これには本当に驚いた。少し、今までの水泳観を変えられそうになったくらい

だ。そんな友彦さんのネガティブな得意技は、「時間の逆算」。

夏場はよく時計を見ては、「後～時間で試合」とか、「練習や」といったネガティブな発言が多々見られた。

食生活では、ここには書かれないような生活であったと、噂によく聞く。聞いたとき僕は友彦さんを疑った。「本当にアスリートなんだろうか!？」

こんな友彦さんも今年から自炊を始め、お肌も美しく、ついには練習を再開してすぐの試合でベストを出すなど、最後の夏に向けて出だしは好調である。そして、いつも優しく接してくれ、普段は水泳に対して熱心な友彦さんの目標は、インカレ。今年は、個人と8継でインカレ行きましょう!!

畠山秀一 高槻・経済・Polo

2月下旬より3月上旬にかけて溶血性連鎖球菌感染症で休んでいた畠山秀一です。！よろしく！

自分のディフェンスに得点された時にリアクションが大きい人の一人です。！よろしく！

シュートはいい物を持っていると思うが試合中あまりそのシュートが出来ないのが残念です。！よろしく！

と、ここまでは自己紹介です。(嘘)

畠山さんにはもう残された水球時間はあまり残っていません。その中で悔いが残らないように病気や、ハードな練習や、理不尽な主任に負けず水球を愛してください！

宮崎仁志 星陵・経済・Polo

前水球主任。その長身から繰り出される華麗なカット技は敵味方を問わず魅了する。昨シーズン、スコア表の数字では残せない、数々のメモリアルシュートを放ってみせた。昨季目標であったインカレー勝もぎとった決勝点シュートは水球面の脳裏に焼き付き未だ鮮明な記憶として残っていることは言わずもがな。宮崎氏の格言は「大器晩成」。今年ラストシーズン、彼は成る！！

【3回生】

大川広己 明星・発達・トレーナー

広己さんは競泳面の主任やトレーナーとして、そしてなによりも今期の神戸大学体育会水泳部の主将として水泳部の皆を引っ張っています。大阪府人会(水泳部での大阪人の集まり)の主要メンバーでもあるのです。この筋トレ主任は皆の食生活にも注意を払い、毎日皆の泳ぎ向上に対して熱い視線を送っています。

チャレンジ精神はすごく、昨年には友彦さんと二人でチャリ旅にも…今年は何処に行くんだろう。とにかく熱く色んな事に挑戦する人です。今年も笑いとお水泳部を盛り上げてくれるでしょう。

柳瀬美郁 星陵・海事・Polo

やなびー、ぶなびー、みっかむなどなど色んな愛称で呼ばれる柳瀬さんはめずらしい女子水球プレイヤーです。大学まで続ける選手が少ない中、男子に負けず頑張っています。力も強く、しかもなにげに速え！ブルの速さがすげえ☆しかも負けず嫌いっぽい。また彼女はお菓子作りも上手く、いつもそのウデを披露してくれる。あざーす、今年もお願いしまーす。旦那が羨ましいですな、まったく。この時期試験やらなんやらで忙しいとは思いますが、最後のシーズン悔いなく終われるよう頑張りたいです。

古谷祐希 春日丘・工・Poloマネ

選手からマネージャーに転向し、選手だった頃の経験を生かし少ない現役の練習を支えてくれる。笛には四苦八苦しているようだが、選手と大いに談議してそれぞれに高め合っていて貰いたい。普段は団体行動に重きを置くが、最近時々帰るのがめっちゃ早い。そして仕事も早く仕事が遅い人に対しては冷酷な処置を処す。何はともあれ、新入生マネージャーをマネ歴一年にして教育していかなければならない彼には期待している。

司馬竜也 尼崎北・海事・Polo

今シーズンの水球主任である司馬さんは部活の後にバイトを深夜 2 時まで入れてもなかなか体調を崩さない超人的な方です。様々なシュートを打つことができ、守りの要としても心強い存在です。またバイクを複数所有し、自分のバイクの名前をアドレスにするほどのバイク好きでもあります。

芝井 隆 近畿大学附属・農・Bk

芝井さんはとてもたくさんの顔を持っている先輩である。芝井はダメだ、とあるところではけなされてるかと思いきや、別なところではとても頼りにされていて「芝井！芝井！」と呼ばれている。何を隠そう、彼はシステム委員、青春チャレンジ大臣なる大役を難無くこなし、現在は主務という大変な幹部の役職をやっているのだ。

また、彼女なんて居ない…、と周りには思わせているが、実は結婚相手の候補が 3 人もいるというヒジョーにうらやましすぎるモテモテぶりなのである。

それに、ぶーと呼ばれてバカにされているんじゃないかと思ってしまうときがあるかと思いきや、身内だけでなく他大学の人からも親しまれている人気者なのである。

うーん…、こんな芝井さんは、今シーズンから専門を Bk に変更。新生芝井さんが大活躍するのはもう間違いないだろう。

嶋夢 剛 金沢泉丘・海事・Polo

剛さんは一年目のシーズンを競泳面で過ごした選手です。大きな体と球技センス、そして何よりダッシュ力を併せ持っていますが、なぜか風邪を引きやすい。未だ成長途中の剛さんがダッシュと豪速シュートを活かして、どれだけ活躍できるかが神大の勝敗を分けるかも…。ちなみに白鷗寮自治会役員という顔もお持ちです。

末森香織 山口・薬科・Fr

ダイナマイト、オリカ、モリスエ…香織さんには多くのニックネームがあります。オリカは意外と気に入っているようで、そして、おそらく人生で初めて出会ったキャラです。知らない人に当たり前のように話しかけ、急に歌いだし…。そして何よりツッコミを常に求めているはずです。

そして何より凄いと思ったことは、「大学一の体育会系」である、ということ。男よりもです。本人も認めています。僕も認めています。飲み会では、飲んで最初に潰れちゃいます。毎回潰れちゃいます。

そんな香織さんは、大学から水泳を始めたのですが、練習が終わってもプールで泳ぐし、熱心です。

今年は三年目、きっといい結果を残してくれるでしょう！

末吉 繭子 千種・医(保健)・Polo

大学から水球を始めた彼女の水球好きレベルは未知数だ。保健学科なので授業との両立が大変そうだが、長期休暇中は男子にも負けじと練習に励み、練習後は自前のよく分からん雰囲気皆を包み、疲れを緩和してくれている。かどうかは定かではない。最近、得意の絶妙ループシュートがゴールのネットを遂にゲーム練で揺らし始めた。彼女自身も上達をかみ締めているようだ。これからも更なる彼女の進化に胸が踊る。

砂留 沙季子 神戸・法・マネ

沙季子さんを一言で表すと「何でもできる!!」です。

昨シーズンはスプリント選手として、素敵な泳ぎで表彰台に何度ものぼりました。カッコいい頼れる女の人です。

そして競泳面の唯一のSかもしれないそんな沙季子さんは実はお酒が入ると…あれを言うらしい。何を言うかって、これはみなさん実際に見てみましょう。……見てみたい。

今シーズンは競泳主任+マネージャーと怖いくらいに腕をふるってくれるでしょう。

西澤 翔 高知学芸・海事・Polo

水球大好き西澤さんは海事での六甲登山で、とある格好をして上位に食い込む白鷗寮自治会役員を勤めておられるすごい方です。その自慢の体力もあってかシュートやプレーも着実にレベルアップしてきて、三回生の雰囲気が出てきているように思います。今期の試合での得点に期待が掛かります。

畠山 紗穂 城星学園・神戸女学院・Fr

紗穂さんは若干謎。やっぱり普通に謎。…いや、やっぱり結構謎。まあ、とりあえず謎な人です。お家で飼っているハムスターは「おせち」に「おもち」。名前だけ聞くと色々誤解しちゃうけど、一応ペットの名前です。おいしいかもね。そんな可愛いペットの飼い主、紗穂さんはシャイで表には出さないけど水泳部が大好き。これからも水泳部を愛してくれるでしょう。

土方了輝 洛南・経済・Fr

まず、水泳に対しては厳しい！入部して半年だが、了輝さんの意識は高く、試合の度に色々ぼやいてる気がする。今年は競泳主任になってどんな厳しいことになるのか・・・。

だが、まだ厳しさを出していない気がする。(Mの僕にはキツイメニュー大歓迎！)

そして、何よりもマッチョ！僕の理想の腹筋、そして大胸筋のバランス！たまりません！

腹筋割れたことの無い僕にとってうらやましすぎです。

そんな了輝さんは可愛いヌイグルミが大好き！マサタン、プーさん・・・プーさんは部屋にいっぱいあるんだとか。それを聞いて、了輝さんが更に男らしく感じてきました。笑

だが実は僕もヌイグルミというより、プーさんや、ミッキーなんか好き。だが、それも了輝さんのギャップという権力で、かすんでいます。

今年の目標は、8継でインカレ。絶対に行きましょう！

## 【2回生】

井上陽介 鳥羽・海事・Polo

「水球＋鳥羽」：これは業界ではスーパープレーヤーであることとほぼ同義語である。

まあマーは鳥羽出身でも剣の道を歩ん

吉岡拓磨 千里・農・Br

吉岡さんは、肌寒くなってくる六甲際初日に夏が来た！？との伝説を持つ先輩である。一年中シーズン中という彼のスタミナは、衰えることを知らない。常にやる気満々である。いつも笑顔が絶えない彼は、水泳部皆から愛されている。お酒にも強い彼は、渡されたコップをすぐに干してしまう。お酒の席ではよく先輩方に「ガッツキ」とからかわれているが、なぜガッツキなのか、真相はいまだに明かされていない。

こんな彼は今年数少ないブレ面である。是非是非記録を伸ばして大活躍して行ってほしい。

できたものであり水球は大学からなのでまだまだビギナーではある。見ていただければ「確かに。」と思うだろう。

だが、しかし、スーパープレーヤーの素は持っているマー、努力家なマーなのできっと大物になる日が来るに違いない！！

臼井景子 尼崎小田・発達・マネ

遅れて入部してきたちょっと不思議な妄想少女。

11月の六甲祭ではクラブに入ってきて間もないのに、お店もてっだってくれたしっかり者。…と思いきや、あるときたまに突拍子もないことを言い出します。今年の合宿ではその臼井ワールドをひろげていってました。「想像するのは自由じゃないですか。」

そんな彼女はマネージャーです。その臼井ワールドでみんなをなごませながらがんばってほしい。

北野達也 嵯峨野・発達・IM

かなりのお調子者。目がくりっとした、はっきりとした顔立ちの男。飲み会とかに呼ばれると喜んできてくれるノリのいい奴。

しかし、来てからが問題だ。勝手に飲み、勝手に潰れ、そしてトイレの番人へと変化。これは多少、いやかなりの迷惑行為である。なかなか調子に乗ると止められないけれど、話してみるとおもしろいやつ。かわいらしい京都弁を話すのでちょっと和む。親しみやすいので、友達も多そうやし、友達になりやすそう。

飛田陽佑 小倉・工・Fr

シーズン後半に入部してきたトビ。トビを一言で言うと「良い子」しかない。いつかの打ち上げでのカラオケで歌ったハナミズキは凄い。何よりあの歌を歌った事が面白い。頑張ったね。

そんなトビは顔はものすごく広く、なぜか有名人の事を結構知っていたりする。

トビのバタフライは若干ブレっぼいなんてゆう事もあったりなかったり…どっちでしょう。

去年はあまり試合にでていないので今年からの彼はすごい楽しみです。

まだまだ伸び盛りなトビちゃんには期待いっぱいです。

槇尾 晋 土佐塾・医(保健)・Fr

通称まつきー。彼は頼りがいのある男で、しっかりとした一回生。地元の言葉が濃いのだろうか、高知弁を今になっても、常に使っている感じ。「～でね?」「～が」「～き」など、あたかもこの場所が高知であるかのように普通に使っている。ここまで関西弁が移らないやつは珍しいのではないだろうか。

彼は、見た目は優しそうだが、実は本当に優しい。顔はぼっちゃり感がちょっと出ているが、実は結構引き締まった体をしている。また、彼はおそらく、暑がりかつ、寒がりである。必要以上にあつかさうな服を何枚も着込んでいるのかと思えば、「暑いですわね～」といいながら裸になったりする。

そんな彼は、一年のエース。これからも頑張してほしい。

## 【平成18年度 水泳部活動報告】

### 年間競技カレンダー

4月	16日(日)	競泳	関西学生春季短水路公認記録会	大阪水泳学校長吉校
5月	21日(日)	競泳	※神戸四大学定期戦	
6月	4日(日)	競泳	関西学生夏季短水路公認記録会	高槻市民プール
	10日(土) 11日(日)	水球	※関西選手権	
	17日(土)	水球	※水球オープンリーグ	大阪市立大学プール
	24日(土) 25日(日)	水球	関西学生水球春季戦	京都大学プール
7月	1日(土) 2日(日)			
	2日(日)	競泳	兵庫学生選手権水泳競技大会	神戸市立ポートアイランド スポーツセンター
	8日(土) 9日(日)	競泳	関西国公立大学選手権水泳競技大会	奈良県営屋外プール
	15日(土)	競泳・水球	市大戦	大阪市立大学プール
	28日(金)～ 30日(日)	競泳	関西学生選手権水泳競技大会	大阪プール
8月	5日(土)～ 7日(月)	水球	西日本学生選手権	京都大学プール
	8日(火) 9日(水)	競泳	全国国公立大学選手権水泳競技大会	広島市総合 屋内プール
	12日(土)	競泳・水球	旧三商大戦	神戸大学 六甲台プール
	20日	競泳	※THE 8耐	彦根総合運動場内 スイミングセンター
	22日(火) 23日(水)	競泳	近畿地区国公立大学体育大会	
9月	1日(金)～ 3日(日)	競泳	※日本学生選手権水泳競技大会(競泳)	東京辰巳国際水泳場
	2日(土) 3日(日) 9日(土) 10日(日)	水球	関西学生水球秋季戦	京都大学プール
	21日(木)～ 24日(日)	水球	日本学生選手権水泳競技大会(水球)	相模原市立総合水泳 場 他

※印の大会については詳細結果を掲載しておりません。(日本学生選手権水泳競技大会(競泳)の出場者はありませんでした)

## 関西学生春季短水路公認記録会

2006年4月16日・奈良県営屋内プール

山口での春合宿を終えてから初めて迎える公式試合となり、久しぶりにレース感覚を思い出すことに重点を置いてレースに臨んだ。春になったとはいえまだまだ肌寒く、アッププールが混雑して十分にアップできないなどあまりよろしくない状況下にあったので待機場所でもあった屋外プールサイドをジョギングしてレース前に体を温めた。試合後は、各々課題を見つけ、例年最も多くの好タイム記録者を出す6月の夏季公認記録会にむけてスタートを切った。

### ■男子400m自由形

土方了輝 4'24"99

小川 啓 5'09"75

### ■女子100m平泳ぎ

田染茉莉子 1'30"24

松本章子 1'31"65

坂田まりあ 1'42"10

### ■男子100m平泳ぎ

加藤宏俊 1'14"09

吉岡拓磨 1'14"19

### ■女子100m背泳ぎ

濱本有紀 1'25"76

亀山倫世 1'34"85

### ■男子100m背泳ぎ

大川広己 1'12"24

### ■女子100mバタフライ

砂留沙季子 1'07"51

### ■男子100mバタフライ

加藤亮二 1'00"17

芝井 隆 1'11"34

井領祐介 1'20"85

### ■女子100m自由形

末森香織 1'13"50

### ■男子100m自由形

中村友彦 57"48

上田章生 58"34

### ■男子400m個人メドレー

浦谷正史 5'56"32

### ■男子1500m自由形

井口靖之 19'51"10

小川 啓 20'18"84

### ■女子50m自由形

砂留沙季子 28"86

田染茉莉子 31"83

末森香織 32"30

亀山倫世 34"77

### ■男子50m自由形

田中宗親 25"23

上田章生 26"41

### ■女子200m平泳ぎ

田染茉莉子 3'07"22

### ■男子200m平泳ぎ

吉岡拓磨 2'40"25

加藤宏俊 2'43"35

### ■男子200m個人メドレー

田中宗親 2'22"30

浦谷正史 2'45"61

### ■女子200m背泳ぎ

濱本有紀 3'06"73

### ■男子200m背泳ぎ

大川広己 2'39"15

### ■男子200mバタフライ

加藤亮二 2'24"15

芝井 隆 2'39"91

井領祐介 3'15"60

### ■女子200m自由形

長谷川真帆 2'31"30

### ■男子200m自由形

土方了輝 2'02"64

中村友彦 2'04"57

## 関西学生夏季公認記録会

2006年6月4日・高槻市民屋内プール

「毎年高槻プールは人が多すぎてまるで風呂に浸かっているみたいだ」ということで現役部員にとっては初の試み、海事プールでアップをしてから高槻市民プールへの移動を実行した。各自泳ぎなれたプールでフォームの最終チェック、体調・リズムの調整を行い、バナナを頬張って準備万全にして高槻へ。多くの部員がベストを更新、目標とする制限タイムを突破するという実り多い試合となった。一方でいまいち調子が出ない部員もおり、本間先生からテーパー不足を指摘され、翌週に控えた最後の短水路である石川学生選手権にむけて仕切りなおしをするかたちとなった。

### ■女子400m外レーラー

亀山・田染・土田・砂留  
5'57"47

### ■男子400m外レーラー

土方・吉岡・中村・芝井  
4'17"07

### ■女子200mリレー

砂留・亀山・土田・田染  
2'09"46

### ■男子400mリレー

田中・土方・中村・横尾  
3'45"01

### ■女子400mリレー

田染・亀山・土田・砂留  
5'13"63

### ■男子800mリレー

横尾・加藤(亮)・小川・芝井  
8'49"26

### ■女子50m自由形

砂留沙季子 28"11  
末森香織 32"49

亀山倫世 33"78

土田絵里奈 37"91

### ■男子50m自由形

田中宗親 24"79

上田章生 25"31

横尾 晋 26"57

吉岡拓磨 27"82

小川 啓 28"08

### ■女子50m平泳ぎ

松本章子 39"16

坂田まりあ 48"00

### ■男子50m平泳ぎ

加藤宏俊 33"12

### ■男子50mバタフライ

加藤亮二 27"64

### ■女子100m自由形

長谷川真帆 1'07"42

末森香織 1'10"64

### ■男子100m自由形

上田章生 56"56

横尾 晋 58"85

芝井 隆 1'00"14

小川 啓 1'02"66

浦谷正史 1'03"29

### ■女子100m背泳ぎ

長谷川真帆 1'17"10

濱本有紀 1'23"91

亀山倫世 1'31"13

### ■男子100m背泳ぎ

大川広巳 棄権

### ■女子100m平泳ぎ

松本章子 1'28"69

田染茉莉子 1'29"10

坂田まりあ 1'41"82

土田絵里奈 1'45"64

**■男子100m平泳ぎ**

加藤宏俊	1'11"41
吉岡拓磨	1'12"32
森 将晴	1'27"33

**■男子100mバタフライ**

加藤亮二	59"77
北野達也	1'06"59
芝井 隆	1'08"55
浦谷正史	1'11"88
井領裕介	1'18"35

**■男子200m自由形**

中村友彦	1'59"39
土方了輝	1'59"43

**関西学生春季水球リーグ**

2006年6月24日～7月2日・京都大学プール

昨年卒業された岡さんが抜け、確固たる岡-井口ラインがなくなった穴をどう埋めるかと思われた神大チームであったが、オフシーズン中、就活や乗船実習などでなかなか全員集まることも少なかったが、オフ中に少しずつチームの形も出来始め、オープン戦、関戦、と戦いいよいよと臨むリーグ戦の幕明けであった。速攻狙いでカットもどんどん狙っていき、勢いがあり、良い形になることもあったが、自分たちのミスもかなり目立った。そういう所を丁寧にしていければ、更に流れをものにし、強いチームへと変貌するであろうと思う。今回春リーグは、各大学がブロック毎に別れ、その順位でまた決勝トーナメントを行うという方式であったが、神大は昨年よりひとつ順位をあげ、総合2位を掴み取った。また、チームから、関西ベスト7:井口 靖之、関西ベストキー

パー:加藤 晃裕、が選ばれるという素晴らしい成績を残した。これは神大チームとしての誇りでもあるし、また水球4年目にしてついにその称号を掴み取った先輩の姿を見て、我も続けと皆水球魂が更に燃え盛ったに違いない。

秋には他チームも更に仕上げてくるだろう。シーズンが明け各大学と対戦してみて、つぶしていかなければならない課題はたくさんだ。水球漬けな夏休みは目前である。まずは秋リーグ二位。そして目標はインカレ一勝！！

vs 関西学院大学(6月24日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口5 宮崎4 西澤4 司馬2 尾崎1 畠山1
神大	1	4	7	5	17		
関学	0	1	2	3	6	退水	なし

vs 立命館大学(7月1日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口2 泉口1 宮崎1 畠山1 司馬1
神大	2	0	3	1	6		
立命	6	9	4	4	23	退水	畠山2 尾崎1 司馬1 西澤1

vs 大阪大学(7月1日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口6 泉口1 宮崎1 尾崎1 司馬1
神大	2	3	3	2	10		
阪大	2	0	1	3	6	退水	畠山3 西澤1

vs 立命館大学(7月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口2 泉口2 畠山2 宮崎1 司馬1
神大	1	2	4	1	8		
立命	9	6	4	5	24	退水	泉口2 畠山2

総合成績

- 1位 立命館大学
- 2位 神戸大学
- 3位 大阪大学

ベスト7

- 井口 靖之
- 加藤 晃裕

## 兵庫学生選手権水泳競技大会

2006年7月2日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

シーズン初めての長水レースということで、全員の泳ぎに緊張が目立った試合となった。数少ない1500m、800m自由形のある試合なので、関西学生選手権のために新たな種目にチャレンジする部員もありシーズンに対する意気込みが感じられた。シーズンに挑むうえで良いスタートが切れた試合となった。

### ■女子400mメドレーリレー

1位	関西学院大学	4'28"69
2位	武庫川女子大学	4'35"55
3位	甲南大学	5'06"22
6位	神戸大学	
	亀山・土田・砂留・田染	5'38"22

### ■男子400mメドレーリレー

1位	関西学院大学	4'01"04
2位	甲南大学	4'01"76
3位	神戸学院大学	4'12"54
6位	神戸大学	
	土方・吉岡・加藤(亮)・中村	4'26"47

### ■女子800m自由形

1位	柴崎愛子(関西学院)	9'06"50
2位	倉みなみ(武庫川女子)	9'09"36
3位	加藤直(武庫川女子)	9'21"75

### ■男子1500m自由形

1位	前野拓也(甲南大学)	16'29"83
2位	前野遼二(甲南大学)	16'43"79
3位	芳田鷹哉(流通科学)	17'18"88
予選落ち	芝井隆	19'48"30
予選落ち	上田章生	20'08"86
予選落ち	小川啓	20'30"50

### ■女子50m自由形

1位	小林真衣(関西学院)	27"38
2位	村尾玲子(武庫川女子)	27"67
3位	岡留亜里沙(武庫川女子)	27"90
5位	砂留沙季子(神戸大学)	28"62
予選落ち	末森香織	33"27
予選落ち	亀山倫世	34"59

### ■男子50m自由形

1位	門田直人(関西学院)	24"54
2位	脇坂勇輝(関西学院)	24"66
3位	桑本貴隆(関西学院)	24"80
5位	田中宗親(神戸大学)	25"74
予選落ち	上田章生	26"84

### ■女子200m個人メドレー

1位	小室彩子(武庫川女子)	2'26"63
2位	田中さや香(武庫川女子)	2'33"50
3位	山口公子(神戸学院)	2'34"32

### ■男子200m個人メドレー

1位	上原泰祐(関西学院)	2'12"01
2位	杉山大輔(関西学院)	2'19"26
3位	芝崇暢(兵庫県立)	2'24"58
予選落ち	北野達也	2'36"45
予選落ち	浦谷正史	棄権

**■女子100mバタフライ**

- 1位 小林真衣(関西学院) 1'03"60  
2位 山本みどり(武庫川女子)1'04"46  
3位 赤澤綾子(武庫川女子)1'05"55

**■男子100mバタフライ**

- 1位 磯辺修平(甲南大学) 56"29  
2位 門田直人(関西学院) 57"26  
3位 矢口元大(関西学院) 59"40  
予選落ち 加藤亮二 1'05"96  
予選落ち 井領祐介 1'23"90

**■女子200m背泳ぎ**

- 1位 池田益千(関西学院) 2'17"36  
2位 高岡幸恵(関西学院) 2'20"62  
3位 中谷恵梨(武庫川女子)2'21"71

**■男子200m背泳ぎ**

- 1位 多田匠吾(関西学院) 2'11"58  
2位 堀口敦裕(神戸学院) 2'14"86  
3位 川根次郎(神戸学院) 2'16"77  
予選落ち 大川広己 棄権

**■女子200自由形**

- 1位 竹原久美(武庫川女子)2'04"96  
2位 柴崎愛子(関西学院) 2'06"21  
3位 坂上智美(関西学院) 2'09"55  
予選落ち 田染茉莉子 2'36"01  
予選落ち 亀山倫世 2'49"57

**■男子200m自由形**

- 1位 赤澤寛幸(関西学院) 1'57"66  
2位 水木康介(甲南大学) 1'59"67  
3位 藤井和幸(関西学院) 2'00"16  
予選落ち 土方了輝 2'04"88  
予選落ち 中村友彦 2'06"19  
予選落ち 横尾 晋 2'09"41

**■女子100m平泳ぎ**

- 1位 馬場未来(武庫川女子)1'16"06  
2位 大山志保(武庫川女子)1'17"96  
3位 嶋 ゆかり(関西学院) 1'20"73  
4位 松本章子(甲南女子) 1'30"51  
予選落ち 坂田まりあ 1'38"49

**■男子100m平泳ぎ**

- 1位 酒井雄一(関西学院) 1'06"69  
2位 藤井裕朗(甲南大学) 1'06"73  
3位 山下健斗(関西学院) 1'08"43  
6位 加藤宏俊(神戸大学) 1'14"82  
予選落ち 吉岡拓磨 1'16"10  
予選落ち 森 将晴 1'29"41

**■女子200mリレー**

- 1位 武庫川女子大学 1'48"81  
2位 関西学院大学 1'51"53  
3位 甲南大学 1'58"44  
6位 神戸大学  
亀山・田染・土田・砂留 2'14"30

**■男子400mリレー**

1位	関西学院大学	3'37"59
2位	甲南大学	3'42"37
3位	神戸学院大学	3'47"63
4位	神戸大学	
	中村・土方・榎尾・田中	3'51"40

**■女子400m自由形**

1位	倉 みなみ(武庫川女子)	4'24"14
2位	坂上智美(関西学院)	4'33"17
3位	加藤 直(武庫川女子)	4'36"32
5位	長谷川真帆(神戸薬科)	5'17"23

**■男子400m自由形**

1位	前野拓也(甲南大学)	4'13"95
2位	水木康介(甲南大学)	4'14"15
3位	岩崎浩司(関西学院)	4'16"22
5位	中村友彦(神戸大学)	4'31"68
予選落ち	小川 啓	棄権

**■女子400m個人メドレー**

1位	小室彩子(武庫川女子)	5'07"21
2位	國吉真令(武庫川女子)	5'11"82

**■男子400m個人メドレー**

1位	上原泰祐(関西学院)	4'44"14
2位	杉山大輔(関西学院)	4'50"70
3位	前野遼二(甲南大学)	4'50"82
6位	土方了輝(神戸大学)	5'06"33
予選落ち	榎尾 晋	5'26"08
予選落ち	浦谷正史	棄権

**■女子200mバタフライ**

1位	田中さや香(武庫川女子)	2'26"25
2位	三木原恵美(甲南大学)	2'26"41
3位	毛利早希(武庫川女子)	2'28"20

**■男子200mバタフライ**

1位	磯辺修平(甲南大学)	2'05"46
2位	中野隆宣(流通科学)	2'15"55
3位	山崎直樹(甲南大学)	2'17"68
5位	加藤亮二(神戸大学)	2'25"39
予選落ち	芝井 隆	2'37"55
予選落ち	井領祐介	3'28"94

**■女子100m背泳ぎ**

1位	池田益千(関西学院)	1'04"83
2位	中谷恵梨(武庫川女子)	1'06"35
3位	高岡幸恵(関西学院)	1'06"69
予選落ち	濱本有紀	1'27"72

**■男子100m背泳ぎ**

1位	多田匠吾(関西学院)	1'01"08
2位	川根次郎(神戸学院)	1'01"71
3位	堀口敦裕(神戸学院)	1'04"06
8位	田中宗親(神戸大学)	1'09"39
予選落ち	大川広己	1'16"72

**■女子100m自由形**

1位	竹原久美(武庫川女子)	58"26
2位	岡留亜里沙(武庫川女子)	1'00"06
3位	山本みどり(武庫川女子)	1'00"34
5位	砂留沙季子(神戸大学)	1'02"89
予選落ち	末森香織	1'15"04
OPEN	濱本有紀	1'18"28

**■男子100m自由形**

1位	脇坂勇輝(関西学院)	53"61
2位	齋藤公貴(関西学院)	54"53
3位	藤井和幸(関西学院)	54"64
予選落ち	北野達也	1'01"99

**■女子200m平泳ぎ**

- 1位 馬場未来(武庫川女子) 2'48"73  
 2位 大山志保(武庫川女子) 2'51"28  
 3位 嶋 ゆかり(関西学院) 3'09"03  
 4位 田染茉莉子(神戸大学) 3'14"00  
 5位 松本章子(甲南女子) 3'15"46  
 8位 坂田まりあ(甲南女子) 3'41"81

**■男子200m平泳ぎ**

- 1位 酒井雄一(関西学院) 2'25"44  
 2位 藤井裕朗(甲南大学) 2'31"54  
 3位 山下健斗(関西学院) 2'31"95  
 6位 吉岡拓磨(神戸大学) 2'44"23  
 7位 加藤宏俊(神戸大学) 2'45"43  
 予選落ち 森 將晴 棄権

**■女子400mリレー**

- 1位 武庫川女子大学 3'56"50  
 2位 関西学院大学 4'03"35  
 3位 神戸学院大学 4'36"87  
 4位 神戸大学  
 田染・亀山・土田・砂留 '59"65

**■男子800mリレー**

- 1位 関西学院大学 7'57"52  
 2位 甲南大学 8'06"99  
 3位 流通科学大学 8'19"83  
 5位 神戸大学  
 土方・田中・横尾・中村 8'28"86

**■女子総合順位**

- 1位 武庫川女子大学  
 2位 関西学院大学  
 3位 神戸学院大学  
 5位 神戸大学

**■男子総合順位**

- 1位 関西学院大学  
 2位 甲南大学  
 3位 神戸学院大学  
 5位 神戸大学

## 西日本学生選手権

2007年8月5日～7日・京都大学プール

西日本選手権ではチームにOBプレイヤーが二人入るのでリアルさん、中井さんに交代で入っていただいた。OBさんの助けを得つつも、現役で速攻を仕掛け市大戦では得点を積み重ねた。立命戦は、あまりに後手にまわりすぎであった。高い位置でカットされる、抜かれるの繰り返しで、神大のボール所持率が低く、展開がうまくいかなかった。最期、関学との三決戦では司馬が欠場、また井口が1ピリ永退など、主力を欠いての戦いになった。それでもチーム力は決して劣ることはなかったはずだが、スタメン二人を欠いた神大は攻めあぐね、ミスが重なり、3ピリに突き放される。4ピリでは泉口が2退水誘発2得点と、最上回の維持を見せ、チームとして奮闘するも一歩及ばず、惜敗であった。この試合では、三回生以下、各自がもっとゲームを動かすという自覚を持ってプレーをしなければ、ということをもさに体で理解したのであった。

### vs 大阪市立大学(8月5日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口7 司馬3 畠山2 中井1 泉口1 宮崎1
神大	2	2	8	3	15		
大市大	2	3	2	1	8	退水	岡田1 西澤1

### vs 立命館大学(8月6日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口3 司馬2
神大	2	0	3	0	5		
立命	7	10	6	5	28	退水	宮崎2

### vs 関西学院大学(8月7日)

	1	2	3	4	計	得点者	泉口2 尾崎2 井口1 宮崎1 畠山1
神大	2	1	0	4	7		
関学	2	1	4	1	8	退水	井口3 尾崎2 西澤2 泉口1 畠山1 嶋野1 古谷1

### 総合成績

- 1位 立命館大学
- 2位 大阪大学
- 3位 関西学院大学
- 4位 神戸大学

## 関西国公立大学選手権大会

2006年7月8日・9日・奈良県営屋外プール

本年関西国公立選手権は男子女子ともに全国国公立選手団体権獲得を掲げて試合に臨んだ。女子は選手が4人しかいない中で、個人個人ができる範囲で最善を尽くし点数を稼ぐも、リレーでの点数が伸び悩み総合10位という結果に終わった。男子は1日目に苦戦を強いられ、後一步で決勝を逃す選手の姿が見られたが、ミドル面の大量得点、リレーに助けられ4位にくいこみ団体権を得た。

大会終了後のミーティングで、「誰かが得点してくれると期待するのではなく、自分が点数をもぎ取ってくるんだ」という意識を全員が再度心に刻むことで、本年の本命である関西学生選手権につながる試合としての幕を閉じた。

### ■女子400m個人メドレー

1位	稲森あゆみ(大教大)	5'04"21
2位	大西裕貴(京教大)	5'41"65
3位	東條千章(京都大学)	6'10"27

### ■男子400m個人メドレー

1位	繆尚樹(大教大)	4'49"12
2位	柚木雅信(大阪大学)	5'04"03
3位	上坂登志男(大阪大学)	5'08"52
予選落ち	浦谷正史	6'05"40

### ■女子200m自由形

1位	吉原千晶(大教大)	2'10"97
2位	前田恵里(大阪大学)	2'12"48
3位	木本知甫(大教大)	2'13"79
6位	田染茉莉子(神戸大学)	2'33"41

### ■男子200m自由形

1位	團秀隆(大市大)	2'02"74
2位	中村友彦(神戸大学)	2'02"91
3位	鈴木達也(京都大学)	2'03"10
6位	土方了輝(神戸大学)	2'03"88
予選落ち	横尾晋	2'09"69

### ■女子50m自由形

1位	砂留沙季子(神戸大学)	28"97
2位	中村美貴(大市大)	30"22
3位	松田夏美(奈良教育)	31'60
予選落ち	亀山倫世	35"12

### ■男子50m自由形

1位	浦郷忠右(大阪大学)	24"43
2位	松永義之(大教大)	24"66
3位	金光良祐(京都大学)	24"94
予選落ち	田中宗親	26"01
予選落ち	小川啓	29"18

**■女子200mバタフライ**

1位	片山めぐみ(京都工織)	2'34"58
2位	林 香織(大阪大学)	2'43"24
3位	車田裕美(大教大)	2'49"06
7位	土田絵里奈(神戸大学)	4'30"20

**■男子200mバタフライ**

1位	谷川哲郎(大教大)	2'05"41
2位	岩田 怜(大育大)	2'05"66
3位	松井勇大(奈良教育)	2'15"19
予選落ち	加藤亮二	2'31"16
予選落ち	井領祐介	3'16"04

**■女子200m背泳ぎ**

1位	上田千歳(大教大)	2'30"11
2位	直井みなみ(大教大)	2'38"04
3位	小林真弓(大教大)	2'47"47

**■男子200m背泳ぎ**

1位	染原健次郎(大教大)	2'06"27
2位	森 孝典(大教大)	2'11"38
3位	山崎陽平(大教大)	2'12"27
予選落ち	大川広己	棄権

**■女子200m平泳ぎ**

1位	川辺芙美子(大教大)	2'33"31
2位	古川枝里子(大市大)	2'47"32
3位	藤藪麻友(大市大)	2'47"51
予選落ち	田染茉莉子	3'14"96

**■男子200m平泳ぎ**

1位	吉田 鑑(京都大学)	2'27"77
2位	百瀬弘祐(大教大)	2'28"92
3位	瀧下雄大(大阪大学)	2'30"71
予選落ち	吉岡拓磨	2'44"85
予選落ち	加藤宏俊	2'46"23

**■女子200mリレー**

1位	大阪教育大学	1'57"00
2位	大阪市立大学	2'03"43
3位	大阪府立大学	2'03"51
10位	神戸大学	
	田染・亀山・土田・砂留	2'13"16

**■男子400mリレー**

1位	大阪教育大学	3'35"69
2位	京都大学	3'37"00
3位	大阪大学	3'39"36
4位	神戸大学	
	中村・土方・横尾・田中	3'46"13

**■女子400mメドレーリレー**

1位	大阪教育大学	4'51"68
2位	大阪大学	5'01"58
3位	大阪市立大学	5'10"43
9位	神戸大学	
	亀山・土田・砂留・田染	5'37"84

**■男子400mメドレーリレー**

1位	大阪教育大学	4'00"60
2位	京都大学	4'02"05
3位	大阪大学	4'06"54
5位	神戸大学	
	土方・吉岡・加藤(亮)・田中	4'19"39

**■女子200m個人メドレー**

1位	稲森あゆみ(大教大)	2'23"44
2位	大西裕貴(京教大)	2'40"83
3位	中村美貴(大市大)	2'41"34

**■男子200m個人メドレー**

1位	瀧下雄大(大阪大学)	2'15"14
2位	繆尚樹(大教大)	2'16"61
3位	金光良祐(京都大学)	2'18"89
5位	田中宗親(神戸大学)	2'22"55
予選落ち	北野達也	2'37"49
予選落ち	浦谷正史	2'48"72

**■女子400m自由形**

1位	木本知甫(大教大)	4'38"20
2位	前田恵里(大阪大学)	4'41"80
3位	土田亜希(京都大学)	5'15"94

**■男子400m自由形**

1位	中村友彦(神戸大学)	4'20"77
2位	土方了輝(神戸大学)	4'21"62
3位	山本宗幸(大教大)	4'23"60
8位	横尾晋(神戸大学)	4'34"34

**■女子100m自由形**

1位	吉原千晶(大教大)	1'01"10
2位	砂留沙季子(神戸大学)	1'02"21
3位	河原たかえ(大府大)	1'07"29

**■男子100m自由形**

1位	松永義之(大教大)	53"72
2位	浦郷忠右(大阪大学)	53"77
3位	久留慎太郎(大外大)	54"68
予選落ち	北野達也	1'02"83
予選落ち	小川啓	1'06"64
予選落ち	上田章生	棄権

**■女子100mバタフライ**

1位	片山めぐみ(京都工織)	1'08"93
2位	松原由季(京教大)	1'13"69
3位	車田裕美(大教大)	1'14"48

**■男子100mバタフライ**

1位	谷川哲郎(大教大)	56"43
2位	岩田 怜(大教大)	56"44
3位	松井勇大(奈良教育)	59"64
6位	加藤亮二(神戸大学)	1'02"09
予選落ち	芝井 隆	1'08"82
予選落ち	井領祐介	1'20"73

**■女子100m背泳ぎ**

1位	上田千歳(大教大)	1'10"11
2位	直井みなみ(大教大)	1'14"34
3位	松田夏美(奈良教育)	1'16"28
予選落ち	亀山倫世	1'35"58

**■男子100m背泳ぎ**

1位	染原健次郎(大教大)	58"35
2位	森 孝典(大教大)	58"50
3位	西山 志(京都大学)	59"47
予選落ち	大川広己	棄権

**■女子100m平泳ぎ**

1位	川辺芙美子(大教大)	1'12"50
2位	古川枝里子(大市大)	1'17"27
3位	藤薮麻友(大府大)	1'18"70

**■男子100m平泳ぎ**

1位	吉田 鑑(京都大学)	1'08"75
2位	平野哲也(大阪大学)	1'09"37
3位	石崎大樹(大教大)	1'09"51
予選落ち	吉岡拓磨	1'14"41
予選落ち	加藤宏俊	1'15"12

**■女子400mリレー**

1位	大阪教育大学	4'15"92
2位	大阪市立大学	4'33"61
3位	大阪大学	4'34"69
9位	神戸大学	
	田染・亀山・土田・砂留	4'55"39

**■男子800mリレー**

1位	京都大学	8'05"46
2位	大阪大学	8'10"08
3位	大阪教育大学	8'14"56
4位	神戸大学	
	土方・田中・横尾・中村	8'19"20

**■女子総合順位**

1位	大阪教育大学
2位	大阪大学
3位	大阪市立大学
10位	神戸大学

**■男子総合順位**

1位	大阪教育大学
2位	京都大学
3位	大阪大学
4位	神戸大学

**大阪市立大学神戸大学対抗水上競技大会**

2006年7月15日・大阪市立大学プール

**〔競泳の部〕****■400mメドレーリレー**

神戸大学男子A (2位)	
	土方・吉岡・加藤(亮)・中村 4'30"98
神戸大学男子B (3位)	
	中村・加藤(宏)・横尾・北野 4'38"60
神戸大学女子A	
	長谷川・松本・砂留・田染 5'19"52
神戸大学女子B	
	濱本・山中・土田・亀山 6'27"79

**■800m自由形**

土方了輝 (1位)	9'28"29
芝井 隆 (4位)	10'21"00
北野達也	11'14"79
長谷川真帆	11'15"76

**■200m平泳ぎ**

加藤宏俊 (3位)	2'51"69
吉岡拓磨 (4位)	2'51"73
松本章子	3'19"38
田染茉莉子	3'20"14

■100m自由形

田中宗親 (1位)	58"78
横尾 晋 (4位)	1'02"65
飛田陽祐	1'05"68
北野達也	1'07"56
砂留沙季子	1'04"21
山中陽子	1'19"14
土田絵里奈	1'30"81

■200m背泳ぎ

土方了輝 (1位)	2'33"34
浦谷正史	2'55"67
長谷川真帆	2'58"42
北野達也	3'07"11
濱本有紀	3'12"50
亀山倫世	3'28"54

■400m自由形

横尾 晋 (1位)	4'46"20
中村友彦 (2位)	4'48"23
北野達也	5'44"36
飛田ようすけ	5'47"81

■200mバタフライ

加藤亮二 (3位)	2'38"17
芝井 隆 (4位)	2'43"03
北野達也	3'10"21
井領祐介	3'24"42

■200m個人メドレー

田中宗親 (2位)	2'28"17
中村友彦 (3位)	2'30"51
浦谷正史	2'54"26
北野達也	2'58"69

■800mリレー

神戸大学男子A	土方・田中・横尾・中村	8'50"29
神戸大学男子B	芝井・北野・飛田・浦谷	10'03"75
神戸大学女子	長谷川・田染・亀山・砂留	10'41"36

■競泳の部 結果

1位 大阪市立大学
2位 神戸大学

〔水球の部〕

	1	2	3	4	計	得点者	井口6 宮崎3 島山2
神大	5	3	1	1	13		泉口1 司馬1
大市大	2	1	1	2	6	退水	宮崎1 尾崎1 西澤1

〔総合結果〕

1位 神戸大学
2位 大阪市立大学

## 関西学生選手権水泳競技大会

2006年7月28日・29日・30日・大阪プール

昨年の屈辱の3部落ちのリベンジを果たすために立てた『全員で決勝に残る』という目標を掲げて挑んだ試合となった。例年通り至烈な3倍の争いのなかで終始1位をキープし、僅差ではあったが見事全員で3部優勝・2部昇格を果たした。全員で一致団結することの重要さを学ぶことができた。

### 【男子3部・女子2部競技結果】

#### ■男子50m自由形

1位 飯田 晃(大阪工業)	24"39
2位 久留慎太郎(大外大)	24"94
3位 山脇啓之(桃山学院)	25"02
4位 田中宗親(神戸大学)	25"29
予選落ち 上田章生	棄権

#### ■女子50m自由形

1位 上田千歳(大教大)	27"87
2位 西澤栄里子(関西外大)	28"67
3位 城下知香(びわこ成蹊)	28"81
予選落ち 末森香織	33"98
予選落ち 土田絵里奈	37"87

#### ■男子400m自由形

1位 森脇照人(びわこ成蹊)	4'19"40
2位 土方了輝(神戸大学)	4'20"78
3位 鷹取直道(龍谷大)	4'26"31
4位 横尾 晋(神戸大学)	4'26"36
予選落ち 小川 啓	5'16"11

#### ■女子400m自由形

1位 土橋茜子(立命館)	4'30"32
2位 前田恵里(立命館)	4'37"91
3位 木本知甫(大教大)	4'42"05

8位 長谷川真帆(神戸薬科) 5'11"49

#### ■男子200mバタフライ

1位 浜野 淳(大阪学院)	2'12"29
2位 前田悠太(大市大)	2'21"69
3位 芝井 隆(神戸大学)	2'39"80
8位 井領祐介(神戸大学)	3'13"29
予選落ち 加藤亮二	失格

#### ■女子200mバタフライ

1位 梅園由貴(びわこ成蹊)	2'24"80
2位 柴山知美(立命館)	2'28"31
3位 片山めぐみ(京都工繊)	2'35"81

#### ■男子200m背泳ぎ

1位 藤原辰也(龍谷大)	2'08"57
2位 松尾直哉(桃山学院)	2'14"63
3位 此谷内遙介(神戸芸工)	2'17"83
8位 大川広己(神戸大学)	2'47"34

#### ■女子200m背泳ぎ

1位 田畑知実(大阪大谷)	2'25"49
2位 中山直理子(桃山学院)	2'27"91
3位 高橋真由美(流通科学)	2'35"53

**■男子100m平泳ぎ**

1位 中山博人(京都教育)	1'08"95
2位 山崎智史(桃山学院)	1'09"01
3位 柱谷元紀(佛教大)	1'10"12
予選落ち 吉岡拓磨	1'13"67
予選落ち 加藤宏俊	1'14"71

**■女子100m平泳ぎ**

1位 川辺芙美子(大教大)	1'10"82
2位 藤藪麻友(大府大)	1'18"16
3位 今村 愛(大阪国際)	1'19"26
予選落ち 松本章子	1'29"78
予選落ち 土田絵里奈	1'46"04
予選落ち 坂田まりあ	棄権

**■男子400mリレー**

1位 大阪工業大学	3'43"33
2位 大阪市立大学	3'45"13
3位 びわこ成蹊大学	3'45"13
4位 神戸大学	
中村・土方・横尾・田中	3'46"75

**■女子200mリレー**

1位 大阪教育大学	1'52"10
2位 立命館大学	1'54"03
3位 びわこ成蹊大学	1'55"02
14位 神戸大学	
田染・亀山・土田・砂留	2'10"83

**■男子200m個人メドレー**

1位 森脇照人(びわこ成蹊)	2'18"62
2位 田中宗親(神戸大学)	2'21"53
3位 藤木貴章(大市大)	2'22"13
予選落ち 北野達也	2'40"45
予選落ち 浦谷正史	2'45"57

**■女子200m個人メドレー**

1位 稲森あゆみ(大教大)	2'20"51
2位 草深亜紅(立命館)	2'26"29
3位 山口公子(神戸学院)	2'31"43

**■男子100mバタフライ**

1位 浜野 淳(大阪学院)	57"97
2位 米谷友佑(佛教大)	58"51
3位 小島佑太(摂南大)	58"69
5位 加藤亮二(神戸大学)	58"93
予選落ち 井領祐介	1'17"03

**■女子100mバタフライ**

1位 梅園由貴(びわこ成蹊)	1'04"75
2位 黒田明日香(京都薬科)	1'06"97
3位 柴山知美(立命館)	1'07"40

**■男子200m自由形**

1位 山脇啓之(桃山学院)	2'01"97
2位 土方了輝(神戸大学)	2'02"10
3位 中村友彦(神戸大学)	2'02"26
予選落ち 横尾 晋	2'07"74

**■女子200m自由形**

1位 土橋茜子(立命館)	2'08"54
2位 吉原千晶(大教大)	2'09"89
3位 前田恵里(大阪大学)	2'12"07
予選落ち 長谷川真帆	2'27"85
予選落ち 田染茉莉子	2'37"77
予選落ち 亀山倫世	2'50"21

**■男子1500m自由形**

1位 鷹取直道(龍谷大)	17'25"73
2位 麻生 恒(大府大)	18'05"69
3位 浅田晃輔(大府大)	18'41"40
予選落ち 芝井 隆	19'48"34
予選落ち 小川 啓	21'04"99

**■女子800m自由形**

1位 田中古都美(立命館)	9'25"27
2位 木本知甫(大教大)	9'35"29
3位 橋本奈緒子(立命館)	10'35"90

**■男子400mメドレーリレー**

1位 龍谷大学	4'08"42
2位 大阪工業大学	4'13"90
3位 大阪市立大学	4'16"79
4位 神戸大学	
土方・吉岡・加藤(亮)・田中	4'17"18

**■女子400mメドレーリレー**

1位 大阪教育大学	4'26"41
2位 立命館大学	4'33"00
3位 びわこ成蹊大学	4'44"01
17位 神戸大学	
亀山・土田・砂留・田染	5'31"51

**■男子400m個人メドレー**

1位 中村友彦(神戸大学)	5'00"57
2位 野村聡伯(大阪工業)	5'10"43
3位 藤木貴章(大市大)	5'12"71
予選落ち 浦谷正史	5'57"93

**■女子400m個人メドレー**

1位 稲森あゆみ(大教大)	5'05"17
2位 田中古都美(立命館)	5'11"05
3位 山口公子(神戸学院)	5'18"53

**■男子100m自由形**

1位 飯田 晃(大阪工業)	53"78
2位 久留慎太郎(大外大)	53"97
3位 團 秀隆(大市大)	55"52
予選落ち 上田章生	59"44
予選落ち 北野達也	1'02"22

**■女子100m自由形**

1位 吉原千晶(大教大)	1'01"13
2位 砂留沙季子(神戸大学)	1'01"69
3位 寺川 舞(相愛大)	1'02"82
予選落ち 末森香織	1'12"70
予選落ち 濱本有紀	1'16"91

**■男子100m背泳ぎ**

1位 藤原辰也(龍谷大)	59"11
2位 松尾直哉(桃山学院)	1'01"96
3位 木下 元(大阪学院)	1'02"22
予選落ち 大川広己	1'16"26

**■女子100m背泳ぎ**

1位 田畑知実(大阪大谷)	1'06"64
2位 草深亜紅(立命館)	1'06"95
3位 上田千歳(大教大)	1'08"33
予選落ち 濱本有紀	1'25"18
予選落ち 亀山倫世	1'29"94

**■男子200m平泳ぎ**

1位 山崎智史(桃山学院)	2'30"46
2位 中山博人(京都教育)	2'32"53
3位 藤田剛央(びわこ成蹊)	2'33"95
予選落ち 加藤宏俊	2'45"17
予選落ち 吉岡拓磨	2'45"28

■女子200m平泳ぎ

- 1位 川辺美美子(大教大) 2'31"11  
2位 藤藪麻友(大府大) 2'49"38  
3位 坂本佳奈(滋賀大) 2'59"27  
予選落ち 田染茉莉子 3'14"44

■男子800mリレー

- 1位 神戸大学  
土方・田中・横尾・中村 8'15"76  
2位 びわこ成蹊大学 8'16"89  
3位 大阪工業大学 8'22"94

■女子400mリレー

- 1位 大阪教育大学 4'02"03  
2位 立命館大学 4'05"69  
3位 びわこ成蹊大学 4'11"59  
16位 神戸大学  
田染・亀山・土田・砂留 4'49"30

■男子3部総合成績

- 1位 神戸大学  
2位 びわこ成蹊大学  
3位 大阪工業大学

■女子2部総合成績

- 1位 大阪教育大学  
2位 立命館大学  
3位 びわこ成蹊大学  
19位 神戸大学



## 全国国公立大学選手権水泳競技大会

2006年8月8日・9日・広島市総合屋内プール

広島で行われた06年度の全国国公立は苦い思い出となった。男子は団体出場権を獲得しての、女子は個人での参加だった。決勝に残れる力を持つ部員はいたが、力泳及ばずリレー・個人共に決勝に残ることはできなかった。非常に残念な結果となってしまったが、次回神戸で行われる全国国公立大会での活躍を誓った。

### ■女子400mメドレーリレー

1位 筑波大学	4'17"66
2位 鹿屋体育大学	4'19"47
3位 大阪教育大学	4'24"32

### ■男子400mメドレーリレー

1位 筑波大学	3'48"66
2位 大阪教育大学	3'54"01
3位 岡山大学	3'56"94
予選落ち 神戸大学	

土方・吉岡・加藤(亮)・田中 4'16"77

### ■女子400m個人メドレー

1位 赤木裕加子(岡山大)	4'50"11
2位 打越雅美(鹿屋体育)	4'56"94
3位 上野山祐季(筑波大)	4'57"63

### ■男子400m個人メドレー

1位 森永友貴(筑波大)	4'30"02
2位 内海陽介(筑波大)	4'35"76
3位 福田 優(岡山大)	4'40"82

### ■女子200m自由形

1位 渡辺沙香(鹿屋体育)	2'04"76
2位 飯岡玉貴(鹿屋体育)	2'05"92
3位 鶴見 舞(筑波大)	2'07"32

### ■男子200m自由形

1位 山田悠介(岡山大)	1'55"27
2位 坂本邦彦(筑波大)	1'55"74
3位 高橋正繁(新潟大)	1'56"42
予選落ち 土方了輝	2'03"94
予選落ち 中村友彦	2'04"25

### ■女子50m自由形

1位 水落夏海(筑波大)	26"07
2位 岩崎佐代子(筑波大)	26"92
3位 鈴木茉莉(鹿屋体育)	27"08
予選落ち 砂留沙季子	28"58

### ■男子50m自由形

1位 三木 浩(福岡教育)	23'71
2位 大坂謙介(筑波大)	23"78
3位 浦郷忠右(大阪大学)	24"14
予選落ち 田中宗親	25"24
予選落ち 上田章生	棄権

### ■女子200mバタフライ

1位 渡邊 梢(鹿屋体育)	2'13"72
2位 上名主里美(鹿屋体育)	2'15"70
3位 川崎晴菜(筑波大)	2'16"25

**■男子200mバタフライ**

1位 岩田 怜(大教大)	2'02"75
2位 岸本太一(筑波大)	2'15"70
3位 谷川哲郎(大教大)	2'16"25
予選落ち 加藤亮二	2'20"95
予選落ち 芝井 隆	2'38"80

**■女子200m背泳ぎ**

1位 岡崎 渚(鹿屋体育)	2'19"07
2位 門脇沙緒莉(岡山大)	2'23"10
3位 藤井麻代(金沢大)	2'23"81

**■男子200m背泳ぎ**

1位 福山達也(筑波大)	2'03"55
2位 染原健次郎(大教大)	2'03"91
3位 足立 哲(筑波大)	2'08"12

**■女子200m平泳ぎ**

1位 川辺芙美子(大教大)	2'31"03
2位 相原佳菜(筑波大)	2'36"08
3位 吉田佐貴美(茨城大)	2'45"66

**■男子200m平泳ぎ**

1位 佐藤佑樹(筑波大)	2'14"74
2位 岡崎晃一郎(筑波大)	2'15"91
3位 角川隆明(筑波大)	2'18"88
予選落ち 吉岡拓磨	2'44"86
予選落ち 加藤宏俊	2'45"44

**■女子200mリレー**

1位 筑波大学	1'46"43
2位 鹿屋体育大学	1'46"91
3位 岡山大学	1'51"36

**■男子400mリレー**

1位 筑波大学	3'28"34
2位 大阪教育大学	3'33"41
3位 京都大学	3'35"21
予選落ち 神戸大学	
田中・北野・浦谷・小川	4'07"41

**■女子200m個人メドレー**

1位 赤木裕加子(岡山大)	2'17"95
2位 上野山祐季(筑波大)	2'21"25
3位 湯本 杏(鹿屋体育)	2'21"58

**■男子200m個人メドレー**

1位 浜上洋平(筑波大)	2'05"39
2位 森永友貴(筑波大)	2'06"98
3位 福田 優(岡山大)	2'10"37
予選落ち 田中宗親	2'20"30

**■女子400m自由形**

1位 米永智香(鹿屋体育)	4'17"44
2位 高鍋絵美(鹿屋体育)	4'18"72
3位 富沢美玲(群馬大)	4'35"73

**■男子400m自由形**

1位 田嶋紘一郎(筑波大)	4'02"98
2位 坂本邦彦(筑波大)	4'06"83
3位 高橋正繁(新潟大)	4'07"18
予選落ち 中村友彦	4'23"43
予選落ち 土方了輝	4'26"33

**■女子100m自由形**

1位 水落夏海(筑波大)	56"53
2位 岩崎佐代子(筑波大)	57"52
3位 渡辺沙香(鹿屋体育)	58"68
予選落ち 砂留沙季子	1'02"09

**■男子100m自由形**

1位	三木 浩(福岡教育)	52"54
2位	松下祐生(一橋大)	52"61
3位	平野孝幸(筑波大)	53"09
予選落ち	上田章生	棄権

**■女子100mバタフライ**

1位	川崎晴菜(筑波大)	1'01"24
2位	渡邊 梢(鹿屋体育)	1'01"42
3位	上名主里美(鹿屋体育)	1'02"66

**■男子100mバタフライ**

1位	谷川哲郎(大教大)	55"68
2位	岩田 怜(大教大)	55"73
3位	加藤寛樹(東京学芸)	55"90
予選落ち	加藤亮二	1'00"77

**■女子100m背泳ぎ**

1位	岡崎 渚(鹿屋体育)	1'05"08
2位	門脇沙緒莉(岡山大)	1'06"65
3位	杉原佑来(島根大)	1'07"32

**■男子100m背泳ぎ**

1位	足立 哲(筑波大)	57"31
2位	森 孝典(大教大)	57"70
3位	梶山貴洋(筑波大)	57"74

**■女子100m平泳ぎ**

1位	川辺美美子(大教大)	1'10"65
2位	相原佳菜(筑波大)	1'13"98
3位	打越雅美(鹿屋体育)	1'15"21

**■男子100m平泳ぎ**

1位	岡崎晃一郎(筑波大)	1'02"79
2位	二宮和憲(筑波大)	1'04"54
3位	松原正典(筑波大)	1'06"92
予選落ち	吉岡拓磨	1'14"61
予選落ち	加藤宏俊	1'14"87

**■女子400mリレー**

1位	鹿屋体育大学	3'52"66
2位	筑波大学	3'54"20
3位	大阪教育大学	4'02"91

**■男子800mリレー**

1位	筑波大学	7'39"64
2位	大阪教育大学	7'48"51
3位	岡山大学	8'00"59

予選落ち 神戸大学

土方・田中・加藤(亮)・中村 8'24"15



## 旧三商大戦

2006年8月12日・六甲台プール



Photo 旧三商大戦に集まれた先輩諸氏

### 〔競泳の部〕

#### ■男子

大学名	神戸大学	大阪市立大学	一橋大学
獲得点数	54点	43点	99点
順位	2位	3位	1位

#### ■女子

大学名	神戸大学	大阪市立大学	一橋大学
獲得点数	63点	25点	85点
順位	2位	3位	1位

[水球の部]



Photo  
旧三商大戦 水球

■vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	井口10 司馬4 西澤4 泉口1 宮崎1
神大	5	5	5	5	20		
大市大	1	3	4	1	9	退水	なし

■vs 一橋大学

	1	2	3	4	計	得点者	井口7 畠山4 泉口3 司馬3 西澤3 嶋夢2 宮崎1 柳瀬1
神戸大 学	9	2	9	4	24		
一橋	2	1	0	2	5	退水	なし

■水球の部 結果

1位 神戸大学

2位 大阪市立大学

3位 一橋大学

〔総合結果〕

1位 一橋大学

2位 神戸大学

3位 大阪市大大学



Photo 旧三商大戦 表彰風景 野田会長より賞状およびカップが授与された



Photo 戦い終って場所を移し懇親会が開かれた

## 近畿地区国立大学体育大会

2006年8月22日・23日・奈良県営プール

### ■男子50m自由形

田中宗親 (3位) 25"33

飛田陽祐 28"11

### ■女子50m自由形

砂留沙季子 (2位) 28"75

末森香織 33"24

山中陽子 34"61

土田絵里奈 38"36

### ■男子400m個人メドレー

浦谷正史 6'09"12

### ■男子100mバタフライ

芝井 隆 1'10"89

### ■男子200m自由形

横尾 晋 2'08"17

### ■女子200m自由形

田染茉莉子 (4位) 2'36"62

長谷川真帆 2'30"90

### ■女子100m背泳ぎ

濱本有紀 1'26"29

亀山倫世 1'31"91

### ■男子100m平泳ぎ

吉岡拓磨 1'15"34

### ■女子100m平泳ぎ

松本章子 1'30"76

土田絵里奈 1'47"30

### ■男子800m自由形

小川 啓 10'55"90

### ■男子200mリレー

神戸大学 A

中村・加藤(亮)・横尾・田中 1'44"71

神戸大学 B

小川・飛田・大川・浦谷 1'54"83

### ■女子200mリレー

神戸大学 A

田染・亀山・土田・砂留 2'11"99

神戸大学 B

末森・松本・濱本・山中 2'16"62

### ■男子400m自由形

横尾 晋 (4位) 4'32"27

小川 啓 5'15"53

### ■女子400m自由形

長谷川真帆 5'23"95

### ■男子200m個人メドレー

田中宗親 (2位) 2'20"60

中村友彦 (4位) 2'23"64

浦谷正史 2'51"01

### ■女子100m自由形

砂留沙季子 (2位) 1'02"60

亀山倫世 (6位) 1'16"16

末森香織 1'12"13

### ■男子200mバタフライ

加藤亮二 (9位) 2'35"95

芝井 隆 2'42"68

### ■女子200m背泳ぎ

濱本有紀 3'06"20

■男子200m平泳ぎ

吉岡拓磨 (8位) 2'42"83

■女子200m平泳ぎ

田染茉莉子 (6位) 3'14"12

松本章子 3'12"35

■男子400mメドレーリレー

神戸大学 A

中村・吉岡・横尾・田中 4'22"85

神戸大学 B

芝井・飛田・浦谷・小川 5'02"47

■女子400mメドレーリレー

神戸大学 A

亀山・土田・砂留・田染 5'39"17

神戸大学 B

濱本・松本・末森・山中 5'44"39

■男子800mリレー

神戸大学 A

田中・中村・加藤(亮)・横尾 8'39"17

神戸大学 B

小川・吉岡・芝井・浦谷 9'45"21

■女子400mリレー

神戸大学 A

田染・亀山・土田・砂留 4'58"52

神戸大学 B

末森・松本・濱本・山中 5'07"73

■男子総合順位

1位 大阪教育大学

2位 大阪大学

3位 京都大学

4位 神戸大学

■女子総合順位

1位 大阪教育大学

2位 京都大学

3位 大阪大学

6位 神戸大学



## 関西学生秋季水球リーグ

2007年9月2日～10日・京都大学プール

今年は兵庫国体や大阪インターハイの役員もあり、中々全員で練習できない機会も多かったが、9月第一週、例年より少し遅めの関西秋リーグは幕を明けた。

春リーグ二位に甘んじず、神戸大学の形を常に発揮し、得点を積み重ねようと臨んだ初戦阪大戦。シュートがことごとく決まらず、穴をつかれ、6-6という低スコアな展開の上引き分けた。続く京大戦でも、先行はするが引き離せず勝利するも苦しい戦いが続いた。続く市大戦、2ピリでまさかの井口永退。ベンチが少ない神大は危機にさらされる。しかし、ゲームは課題こそ残るものの、交代で投入された嶋田を含め、チーム一丸となって勝利を収める。(ベンチで心底心配していたらしい井口先輩に勝利を持ち帰れて良かった。)関学戦は相手が一人少ないこともあって、順当に勝利。最終戦、立命館との試合は、DF面で大きな課題が残った。自分達のミスも多く、相手の穴もつけずに終わった。自分達の水球をする！ということは今一度確認し、インカレにむけての最後の調整の必要があった。

このリーグ中チームとしての力をあまり上手く発揮できなかったが、神大チームは個人個人の能力は決して低くない。チームとしての共通理解を深め、シーズン通して確認し合ってきた約束事を守れば、まだまだ強くなれると感じた。

### vs 大阪大学(9月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口3 泉口2 嶋多1
神大	2	1	1	2	6		
阪大	2	1	0	3	6	退水	西澤2 宮崎1 畠山1

### vs 京都大学(9月3日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口4 司馬3 宮崎2 畠山1
神大	2	2	3	3	10		
京大	1	2	2	1	6	退水	泉口1 宮崎1 畠山1

vs 大阪市立大学(9月3日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口2 宮崎2 司馬2 西澤2 泉口1 畠山1
神大	3	3	0	4	10		
大市大	1	1	1	0	3	退水	井口3 畠山2 西澤2

vs 関西学院大学(9月9日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口7 司馬5 西澤5 泉口2 畠山1
神大	4	6	5	5	20		
関学	0	0	1	1	2	退水	なし

vs 立命館大学(9月3日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口2 宮崎1
神大	1	0	1	1	3		
立命	4	7	5	7	23	退水	司馬1 西澤1

総合成績

- 1位 立命館大学
- 2位 神戸大学
- 3位 京都大学

## 日本学生選手権水泳競技大会《水球競技》

2007年9月21日～24日・相模原市立総合水泳場他

ついにこの舞台にきた。初戦は関西秋リーグで引き分けた阪大。勝てばシーズンの目標であったインカレ優勝達成。絶対勝利を掲げ試合に挑んだ。

だが試合が始まってみると1、2ピリではチームの攻防両面がかみ合わず、自分たちのミスからカウンターをくらい、簡単に点をとられてしまった。またシュートチャンスは作るものの、アーリーシュートも決められず、2ピリが終わった時点でスコアは2-6の4点ビハインド。だが神大面に不思議に焦りはなかったように思う。

このピリオド間、コートチェンジし気分一新、マネージャーからの喝も入り、勝利を信じ、自分たちのやるべきことを確認し合った。3ピリは相手に全くシュートを打たせず、3点をとり一点ビハインドまで詰め寄った。そしていよいよ4ピリ、宮崎、司馬の好カットから速攻をかけるも得点に繋がらない。しかし、ラスト3分ついにエース井口がセットから同点ゴールを決めた。そこから互いにシュートまでいかない苦しい時間が続いたが、タイムアウトのセット攻撃から司馬の中央を切り裂く縦ドライブ。フリースローをとりボールはBゾーンの泉口へ。ラスト10秒、泉口のループシュートかと思いきや宮崎への逆ハンツパス。ワンタッチならずも落としたボールを相手キーパーからもぎ取り、宮崎執念のバックシュート。かくしてこれが決勝点となり、見事インカレ優勝を果たしたのであった。

続く二回戦、対するは関西覇者の立命館。食欲に攻めつづけ、開始4分間は互いに得点は止まったままであった。次第に押され始めたが、キーパー加藤のナイスセーブが続き(キープ率50%超)、スコアこそ3-17であったが、対立命戦では今季最高の試合内容であった。この試合はシーズン通してチームの集大成であると感じた。

4回生の満足そうな笑顔が眩しく、また後輩は託された全てを持って来年に臨みたく、こうして'06シーズンの幕は閉じた。

### vs 大阪大学(9月21日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口4 司馬2 宮崎1
神大	1	1	3	2	7		
阪大	4	2	0	0	6	退水	宮崎1

### vs 立命館大学(9月21日)

	1	2	3	4	計	得点者	井口2 司馬1
神大	0	1	0	2	3		
立命	4	4	4	5	17	退水	宮崎1 司馬1

## 歴代10傑

### 【男子】

#### 50m自由形

1	濱出憲一郎	H10	25"21(L)
2	田中 宗親	H18	25"24(L)
3	横山 千泰	H14	25"43(L)
4	松田 有司	H14	25"77(L)
5	久保 達也	H12	26"06(L)
6	中畑 寛之	H 4	26"10(L)
6	竹田 匡志	H 6	26"10(L)
8	上田 章生	H17	26"17(L)
9	宮岡 孝和	H16	26"27(L)
10	西田 憲史	H10	26"28(L)

#### 400m自由形

1	中村 友彦	H18	4'20"77(L)
2	土方 了輝	H18	4'20"78(L)
3	宮岡 孝和	H17	4'22"40(L)
4	福岡 達信	H 8	4'25"62(L)
5	横尾 晋	H18	4'26"36(L)
6	横山 千泰	H16	4'28"36(L)
7	山田 篤	H 8	4'30"52(L)
8	高橋 克哉	H13	4'32"50(L)
9	松田 有司	H13	4'33"08(L)
10	古谷 拓裕	S63	4'36"00(L)

#### 100m自由形

1	松田 有司	H15	55"50(L)
2	濱出憲一郎	H10	55"59(L)
3	横山 千泰	H16	56"35(L)
4	田中 宗親	H18	56"37(L)
5	宮岡 孝和	H17	56"38(L)
6	西田 憲史	H10	56"67(L)
7	藤本 真人	H11	56"81(L)
8	玉田 浩介	H 9	57"05(L)
9	中村 友彦	H18	57"07(L)
10	川原田 貢	S59	57"23(L)

#### 800m自由形

1	福岡 達信	H 8	9'29"12(L)
2	宮岡 孝和	H14	9'29"43(L)
3	古谷 拓裕	S63	9'36"80(L)
4	高橋 克哉	H13	9'43"43(L)
5	山田 篤	H 7	9'44"40(L)
6	藤本 博之	H 3	9'45"90(L)
7	久保田勝己	S57	9'49"00(L)
8	山田 其洋	H 5	9'56"10(L)
9	西田 憲史	H11	9'59"29(L)
10	上田 純也	H 6	10'09"30(L)

#### 200m自由形

1	小齋 一彰	H17	1'59"88(L)
2	宮岡 孝和	H17	2'01"46(L)
3	土方 了輝	H18	2'02"10(L)
4	中村 友彦	H18	2'02"26(L)
5	松田 有司	H15	2'03"56(L)
6	田中 宗親	H18	2'04"78(L)
7	横山 千泰	H16	2'05"15(L)
8	濱出憲一郎	H10	2'05"34(L)
9	高橋 克哉	H13	2'05"94(L)
10	山田 篤	H 8	2'06"29(L)

#### 1500m自由形

1	宮岡 孝和	H15	17'40"70(L)
2	福岡 達信	H 9	17'49"01(L)
3	中村 友彦	H17	18'19"25(L)
4	古谷 拓裕	S63	18'28"50(L)
5	藤本 博之	H 4	18'34"00(L)
6	久保田勝己	S58	18'37"50(L)
7	山田 其洋	H 5	18'50"16(L)
8	山田 篤	H10	18'54"73(L)
9	久保田勝己	S62	19'20"10(L)
10	長野 稔	H 6	19'27"21(L)

## 100m蝶泳

1	加藤 亮二	H17	59"52(L)
2	串辺 由宇	H16	1'01"12(L)
3	小南 裕明	S63	1'01"40(L)
4	竹田 匡志	H 6	1'01"99(L)
5	西和田 靖	H16	1'02"18(L)
6	加藤 有道	H 3	1'02"90(L)
7	當麻 尚正	H 2	1'03"50(L)
8	吉岡 宏之	S58	1'04"00(L)
8	坂田 純孝	S59	1'04"00(L)
10	高岡英一郎	H 1	1'04"60(L)

## 200m背泳

1	西田 憲史	H11	2'12"86(L)
2	村上 幸弘	H14	2'20"42(L)
3	生山 裕	H10	2'23"08(L)
4	小笠原朝隆	S63	2'26"20(L)
5	長谷川堅一	H16	2'26"71(L)
6	井上 達彦	S63	2'26"80(L)
7	上山 敏正	H 5	2'29"10(L)
8	徳永 守	S60	2'29"70(L)
9	坂田 純孝	S56	2'30"40(L)
10	吉田不二彦	S58	2'31"20(L)

## 200m蝶泳

1	小齋 一彰	H17	2'10"65(L)
2	小南 裕明	H 5	2'14"84(L)
3	串辺 由宇	H16	2'17"72(L)
4	加藤 亮二	H17	2'20"30(L)
5	加藤 有道	H 3	2'21"90(L)
6	西和田 靖	H16	2'24"14(L)
7	當麻 尚正	H 2	2'24"20(L)
8	郡 幸雄	S60	2'24"60(L)
9	坂田 純孝	S59	2'26"60(L)
10	高岡英一郎	H 4	2'27"30(L)

## 100m平泳

1	藤尾 幸平	H11	1'09"63(L)
2	後呂 忠祥	S61	1'10"50(L)
3	柴田 孝	H 5	1'10"81(L)
4	西尾 泰紀	H 4	1'12"60(L)
5	林 均	S62	1'12"90(L)
6	吉岡 拓磨	H18	1'13"67(L)
7	長崎 真人	S58	1'14"00(L)
8	笠田 幸介	H 1	1'14"40(L)
9	田中 俊輔	H10	1'14"49(L)
10	鈴木 俊彦	S42	1'14"70(L)

## 100m背泳

1	西田 憲史	H11	1'01"90(L)
2	村上 幸弘	H14	1'04"09(L)
3	生山 裕	H 9	1'05"78(L)
4	長谷川堅一	H17	1'05"93(L)
5	小笠原朝隆	H 1	1'06"60(L)
6	松田 有司	H15	1'07"24(L)
7	土方 了輝	H18	1'07"30(L)
8	上山 敏正	H 5	1'07"70(L)
8	杉山 和弘	S53	1'07"70(L)
10	徳永 守	S60	1'07"90(L)

## 200m平泳

1	藤尾 幸平	H11	2'30"37(L)
2	柴田 孝	H 5	2'36"56(L)
3	後呂 忠祥	S60	2'37"90(L)
4	長崎 真人	S58	2'40"50(L)
5	笠田 幸介	H 2	2'41"80(L)
6	西尾 泰紀	H 3	2'42"60(L)
7	吉岡 拓磨	H18	2'42"83(L)
8	林 均	H 1	2'43"60(L)
9	田中 俊輔	H10	2'45"05(L)
10	加藤 宏俊	H18	2'45"17(L)

## 200m個人メドレー

1	小齋 一彰	H17	2'12"78(L)
2	宮岡 孝和	H17	2'19"19(L)
3	東 圭紀	H 2	2'20"40(L)
4	田中 宗親	H18	2'20"60(L)
5	木村 一也	H 2	2'24"01(L)
6	篠原 康彦	H15	2'24"56(L)
7	森 宣幸	H14	2'25"14(L)
8	當麻 尚正	H 2	2'25"80(L)
9	小南 裕明	H 5	2'26"20(L)
10	田中 亨	H10	2'27"20(L)

## 400m個人メドレー

1	小齋 一彰	H17	4'43"25(L)
2	中村 友彦	H18	5'00"57(L)
3	宮岡 孝和	H17	5'00"65(L)
4	東 圭紀	S63	5'06"10(L)
5	土方 了輝	H18	5'06"33(L)
6	横山 千泰	H15	5'11"49(L)
7	當麻 尚正	H 2	5'13"40(L)
8	森 宣幸	H14	5'13"41(L)
9	田中 亨	H10	5'16"52(L)
10	浦野 敏明	S59	5'20"30(L)

## 400mメドレーリレー

1	西田・藤尾 山田・濱出	H10	4'10"69(L)
2	西田・藤尾 生山・藤本	H11	4'12"10(L)
3	長谷川・小齋 加藤(亮)・宮岡	H17	4'13"83(L)
3	西田・藤尾 生山・津田	H10	4'13"83(L)
5	西田・藤尾 田中・藤本	H11	4'14"26(L)

## 400mリレー

1	松田・宮岡 小齋・横山	H15	3'42"20(L)
2	宮岡・中村 土方・小齋	H17	3'45"27(L)
3	中村・土方 横尾・田中(宗)	H18	3'46"13(L)
4	宮岡・小齋 横山・田中(宗)	H16	3'46"17(L)
5	横山・小齋 中村・宮岡	H16	3'46"60(L)

## 800mリレー

1	小齋・宮岡 土方・中村	H17	8'06"43(L)
2	小齋・宮岡 松田・横山	H15	8'14"65(L)
3	小齋・宮岡 横山・中村	H16	8'15"55(L)
4	土方・田中(宗) 横尾・中村	H18	8'15"76(L)
5	中村・田中(宗) 小齋・横山	H16	8'24"95(L)

【女子】

50m自由形

1	田中 理恵	H 8	28"54(L)
2	砂留沙季子	H18	28"58(L)
3	多田羅美帆	H11	29"76(L)
4	河原 あや	H16	29"89(L)
5	田中 桂子	H13	30"21(L)

200m蝶泳

1	村山 依子	H 8	2'30"67(L)
2	寺井美穂子	H 3	2'33"05(L)
3	坂東 美枝	S57	2'44"77(L)
4	横野恵里香	H14	2'57"86(L)
5	川上 景子	S60	3'00"70(L)

100m自由形

1	砂留沙季子	H18	1'01"69(L)
2	田中 理恵	H 8	1'02"18(L)
3	多田羅美帆	H11	1'05"14(L)
4	河原 あや	H16	1'05"24(L)
5	寺井美穂子	H 3	1'06"78(L)

100m背泳

1	田中 理恵	H10	1'12"68(L)
2	西川 弥穂	H15	1'16"45(L)
3	村上 美和	S61	1'16"80(L)
4	田中 桂子	H14	1'17"44(L)
5	中山美穂香	H12	1'18"20(L)

200m自由形

1	田中 理恵	H10	2'16"82(L)
2	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
3	河原 あや	H15	2'23"42(L)
4	川上 景子	S62	2'26"40(L)
5	田中 桂子	H14	2'29"27(L)

200m背泳

1	田中 理恵	H10	2'36"51(L)
2	中山 美穂	H12	2'43"11(L)
3	村上 美和	S63	2'48"40(L)
4	西川 弥穂	H15	2'48"63(L)
5	寺井美穂子	H 6	2'49"19(L)

400m自由形

1	田中 理恵	H10	4'57"16(L)
2	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
3	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
4	河原 あや	H16	5'07"46(L)
5	村山 依子	H 9	5'07"96(L)

100m平泳

1	山本 奈穂	H 8	1'21"19(L)
2	番場 順子	H 8	1'26"70(L)
3	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)
4	宮下 静子	S63	1'27"57(L)
5	西田野生子	H10	1'27"68(L)

100m蝶泳

1	寺井美穂子	H 4	1'08"02(L)
2	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
3	村山 依子	H 8	1'09"69(L)
4	坂東 美枝	S57	1'14"30(L)
5	横野恵里香	H14	1'16"71(L)

200m平泳

1	山本 奈穂	H 9	2'59"59(L)
2	清水めぐみ	H13	3'01"97(L)
3	番場 順子	H 8	3'02"17(L)
4	西田野生子	H10	3'08"35(L)
5	川上 景子	S60	3'10"02(L)
5	吉川 智子	H 5	3'10"02(L)

## 200m個人メドレー

1	田中 理恵	H10	2'34"05(L)
2	加島 宏子	H 8	2'41"73(L)
3	寺井美穂子	H 3	2'43"40(L)
4	川上 景子	S60	2'45"50(L)
5	番場 順子	H 7	2'48"02(L)

## 400m個人メドレー

1	田中 理恵	H11	5'32"51(L)
2	加島 宏子	H 7	5'48"97(L)
3	川上 景子	S62	5'53"00(L)
4	寺井美穂子	H 6	5'54"07(L)
5	番場 順子	H 7	5'55"99(L)

## 400mメドレーリレー

1	田中・山本 村山・多田羅	H 8	4'51"28(L)
2	田中・清水 村山・多田羅	H11	4'56"04(L)
3	加島・山本 村山・田中	H 8	4'59"63(L)
4	加島・山本 田中・多田羅	H 9	5'04"15(L)
5	吉川・番場 寺井・小笠原	H 5	5'08"80(L)

## 200mリレー

1	田中・多田羅 山本・村山	H10	1'59"92(L)
2	田中・多田羅 山本・加島	H 9	2'00"63(L)
3	田中・多田羅 加島・村山	H 8	2'01"04(L)
4	多田羅・田中 清水・村山	H11	2'01"87(L)
5	田中・清水 河原・横野	H13	2'03"03(L)

## 400mリレー

1	多田羅・山本 加島・田中	H 9	4'23"03(L)
2	多田羅・村山 加島・田中	H 9	4'23"23(L)
3	多田羅・山本 村山・田中	H10	4'23"42(L)
4	多田羅・村山 清水・田中	H11	4'27"55(L)
5	河原・清水 田中・横野	H13	4'32"84(L)

## 水球歴代戦績

競泳に十傑があるなら水球にも十傑に相当するものがあるべきとのご意見がありました。しかし、水球はチーム競技であることから、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

(注) ・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載をもとに、昭和63年度以降を抜粋したものです。

- ・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。
- ・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生 水球リーグ Jr 戦	日本学生 選手権	チーム得点王
昭和63年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 専修大)	林 均 20点
平成元年度	5位	4位	—	西島 淳一 21点
平成 2年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44点
平成 3年度	2位	優勝	初戦敗退 (vs 日体大)	木村 一也 54点
平成 4年度	不明	不明	不明	不明
平成 5年度	優勝	5位	初戦敗退 (vs 中央大)	木村 一也 43点

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生水球 秋季戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 6年度	1部6位	8位	—	大場 理世 13点
平成 7年度	2部優勝	6位	—	井村 大智 33点
平成 8年度	2部優勝	2回戦敗退	—	塚本 善隆 59点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 9年度	3位	3位	ベスト16 (vs 鹿児島 経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58点
平成10年度	3位	2位	初戦敗退 (vs 中央大)	塚本 善隆 37点
平成11年度	1部2位	1部2位	初戦敗退 (vs 早稲田)	塚本 善隆 37点
平成12年度	1部5位	2部優勝	—	中島 太平 36点
平成13年度	4位	5位	—	中井 秀昭 28点
平成14年度	5位	7位	—	中井 秀昭 43点
平成15年度	2部優勝	6位	—	篠原 康彦 40点
平成16年度	不明	4位	—	井口 靖之 29点
平成17年度	3位	3位	初戦敗退 (vs 成蹊大)	井口 靖之 31点
平成18年度	2位	2位	ベスト16 (vs 大阪大学 vs 立命館)	井口 靖之 39点

## 商船大歴代10傑

### 【男子】

#### 50m自由形

1	鳥谷賢一	N46	H12	26"20	四大戦	大府大
2	松本照生	E37	H1	26"29	近国体	ポートアイランド
3	富永三智夫	P1	H5	26"30	近国体	臨海プール
4	石塚秀一	E41	H6	26"50	近国体	奈良県営
5	小川雄司	N50	H14	26"59	近国	大阪プール
6	伊藤浩史	A18	H2	26"60	記録会	和歌山大
7	松浦剛	E49	H14	26"64	近国体	奈良県営
8	桶矢康太	N49	H14	26"67	近国	大阪プール
9	上田章生	K4	H15	26"84	白鷺杯	大府大
10	出口達也	P2	H5	26"90	記録会	和歌山大

#### 100m自由形

1	橘佳臣	E32	S61	57"47	近国体	太陽ヶ丘
2	伊藤浩史	A18	H4	57"56	全国公	滋賀県営
3	石塚秀一	E41	H5	57"60	関カレ	大阪プール
4	松本照生	E37	H1	57"73	関カレ	大阪プール
5	斎藤勝彦	N29	S56	58"10	記録会	広船専
6	桶矢康太	N49	H12	58"50	関国公	奈良県営
7	鳥谷賢一	N46	H12	58"80	関国交	奈良県営
8	小川雄司	N50	H14	58"84	白鷺杯	大府大
9	西村圭右	N51	H15	59"11	近国体	ポートアイランド
10	格谷隆	T9	S63	59"20	関国公	大府大

#### 200m自由形

1	松本照生	E37	H3	2'04"95	近国体	滋賀総合
2	伊藤浩史	A18	H4	2'07"48	近国体	太陽ヶ丘
3	石塚秀一	E41	H5	2'08"30	関国公	臨海プール
4	橘佳臣	E32	S59	2'09"30	関カレ	大阪プール
5	田内俊英	N41	H5	2'09"40	近国体	臨海プール
6	大杉知明	K6	H10	2'09"85	関カレ	大阪プール
7	鳥谷賢一	N46	H12	2'10"00	近国体	大阪プール
8	格谷隆	T9	H6	2'10"85	関カレ	大阪プール
9	水野教良	T2	H5	2'11"50	兵カレ	王子プール
10	斎藤勝彦	N29	S58	2'11"60	対東京	東京商船大

## 400m自由形

1	松本照生	E37	H3	4'26"18	全国公	佐賀総合
2	田内俊英	N41	H5	4'30"06	関カレ	大阪プール
3	伊藤浩史	A18	H3	4'36"60	兵カレ	王子プール
4	須崎学	T3	H6	4'40"60	近国体	奈良県営
5	鳥谷賢一	N46	H11	4'44"86	関国公	奈良県営
6	藤波泰史	P2	H4	4'48"15	近国体	太陽ヶ丘
7	中山勝之	A18	H4	4'48"23	近国体	太陽ヶ丘
8	橋佳臣	E32	S58	4'48"40	関国公	大府大
9	恵美祐	E42	H6	4'48"80	近国体	奈良県営
10	大杉知明	K6	H7	4'48"95	関カレ	大阪プール

## 800m自由形

1	田内俊英	N41	H4	9'20"65	近国体	太陽ヶ丘
2	伊藤浩史	A18	H3	9'28"10	兵カレ	王子プール
3	松本照生	E37	H1	9'30"01	近国体	ポートアイランド
4	橋佳臣	E32	S59	9'49"90	対東京	東京商船大
5	須崎学	T3	H94	9'58"09	近国体	奈良県営
6	大杉知明	P6	H8	10'01"82	関カレ	ポートアイランド
7	中山勝之	A18	H4	10'05"70	近国体	太陽ヶ丘
8	恵美祐	E42	H8	10'08"74	近国体	大阪プール
9	水野教良	T2	H5	10'11"48	関カレ	大阪プール
10	鳥谷賢一	N46	H12	10'23"01	記録会	太陽ヶ丘

## 1500m自由形

1	田内俊英	N41	H4	17'50"10	関カレ	大阪プール
2	伊藤浩史	A18	H3	18'03"20	兵カレ	王子プール
3	松本照生	E37	H3	18'12"78	関カレ	大阪プール
4	大杉知明	K6	H8	19'01"92	関カレ	大阪プール
5	水野教良	T2	H5	19'14"39	関カレ	大阪プール
6	鳥谷賢一	K3	H4	19'24"72	兵カレ	王子プール
7	恵美祐	E42	H6	19'28"77	兵カレ	王子プール
8	中山勝之	A18	H3	19'37"60	兵カレ	王子プール
9	須崎学	T3	H6	19'41"60	兵カレ	王子プール
10	松浦剛	E49	H15	19'51"30	兵カレ	王子プール

### 100mバタフライ

1	石塚秀一	E41	H7	1'00"75	近国体	京都大
2	串辺由宇	N51	H14	1'02"34	関国公	奈良県営
3	斎藤勝彦	N29	S58	1'02"72	関カレ	ポートアイランド
4	伊藤浩史	A18	H3	1'02"74	記録会	筑波大
5	杉本誠二	P5	H9	1'03"76	近国体	奈良県営
6	大杉知明	K6	H9	1'03"83	近国体	奈良県営
7	山野健次	A12	S60	1'04"20	四大戦	神戸商船大
8	鳥谷賢一	N46	H12	1'04"93	四大戦	大府大
9	松本照生	E37	H3	1'05"90	記録会	和歌山大
10	格谷隆	T9	S63	1'06"20	関国公	大府大

### 200mバタフライ

1	石塚秀一	E41	H6	2'15"19	近国体	奈良県営
2	田内俊英	N41	H4	2'21"40	関国公	臨海プール
3	串辺由宇	N51	H14	2'22"86	関国公	奈良県営
4	杉本誠二	P5	H9	2'26"75	近国体	奈良県営
5	伊藤浩史	A18	H3	2'26"90	記録会	和歌山大
6	鳥谷賢一	N46	H12	2'27"40	関国公	奈良県営
7	斎藤勝彦	N29	S58	2'31"10	兵カレ	西代プール
8	山野健次	A12	S59	2'31"30	対東京	神戸商船大
9	大杉知明	K6	H9	2'35"99	関国公	臨海プール
10	伊藤昌宏	K12	S41	2'36"70	記録会	神戸商船大

### 100m背泳

1	出口達也	P2	H5	1'03"78	全国公	広島総合
2	水野教良	T2	H6	1'04"38	近国体	奈良県営
3	格谷隆	T9	H1	1'05"54	近国体	ポートアイランド
4	長谷川堅一	E51	H15	1'07"71	近国体	ポートアイランド
5	桶矢康太	N49	H14	1'09"31	近国体	大阪プール
6	斎藤勝彦	N29	S58	1'10"80	対東京	東京商船大
7	松田泰英	N35	S63	1'10"87	近国体	大阪大
8	鳥谷賢一	N46	H12	1'11"10	四大戦	大府大
9	浅野浩司	N45	H11	1'11"57	関カレ	大阪プール
10	大杉知明	K6	H10	1'11"64	近国体	太陽ヶ丘

### 200m背泳

1	出口達也	P2	H5	2'19"36	全国公	広島総合
2	水野教良	T2	H6	2'20"65	近国体	奈良県営
3	格谷隆	T9	S83	2'24"28	全国公	島根県立
4	長谷川堅一	E51	H15	2'29"06	近国体	ポートアイランド
5	桶矢康太	N49	H14	2'32"59	関国公	奈良県営
6	松田泰英	N35	S63	2'35"60	全国公	島根県立
7	大杉知明	K6	H7	2'38"33	近国体	京都大
8	浅野浩司	E45	H11	2'39"37	関国公	奈良県営
9	斎藤勝彦	N29	S59	2'41"50	記録会	神戸商船大
10	高木脇一	N31	S58	2'43"00	関カレ	ポートアイランド

### 100m平泳

1	西村尚	T1	H5	1'09"28	全国公	広島総合
2	鳥谷賢一	N46	H12	1'12"80	四大戦	大府大
3	記本貴寛	E42	H8	1'13"15	関カレ	ポートアイランド
4	若松秀州	E28	S54	1'16"90	兵カレ	神戸商船大
5	宇都宮聖賢	K3	S58	1'17"10	対東京	東京商船大
6	山口修	N17	S43	1'17"50	近国体	京都教育大
7	児玉武士	K6	H10	1'18"16	関カレ	大阪プール
8	安井竜馬	T12	H13	1'18"60	対東京	東京商船大
8	木下哲也	E22	S49	1'18"60	三大戦	神戸商船大
10	浅野浩司	E45	H11	1'18"65	近国体	滋賀総合

### 200m平泳

1	西村尚	T1	H5	2'33"03	全国公	広島総合
2	記本貴寛	E42	H6	2'37"91	近国体	奈良県営
3	鳥谷賢一	N46	H12	2'42"36	四大戦	神戸商船大
4	小川雄司	N50	H14	2'43"80	白鷺杯	大府大
5	杉本誠二	P5	H8	2'46"89	近国体	大阪プール
6	山口修	N17	S43	2'47"40	近国体	京都教育大
7	若松秀州	E28	S54	2'49"30	記録会	神戸商船大
8	宇都宮聖賢	K3	S58	2'52"30	対東京	東京商船大
9	山野孝男	N30	S59	2'54"10	対東京	神戸商船大
10	山下哲也	E22	S49	2'54"30	対東京	神戸商船大

## 200m個人メドレー

1	伊藤浩史	A18	H4	2'20"42	近国体	太陽ヶ丘
2	桶矢康太	N46	H12	2'22"58	関国公	奈良県営
3	格谷隆	T9	S62	2'22"90	関カレ	大阪プール
4	鳥谷賢一	N46	H12	2'23"83	関カレ	大阪プール
5	出口達也	P2	H5	2'25"40	記録会	和歌山大
6	大杉知明	K6	H10	2'25"56	近国体	太陽ヶ丘
7	松本照生	E37	H1	2'29"30	関カレ	大阪プール
8	橘佳臣	E32	S58	2'29"40	記録会	神戸商船大
9	朝の浩司	E45	H11	2'31"53	近国体	滋賀総合
10	山野健次	A12	S59	2'33"20	対東京	神戸商船大

## 400m個人メドレー

1	伊藤浩史	A18	H3	5'01"80	関国公	臨海プール
2	出口達也	P2	H5	5'04"55	関カレ	大阪プール
3	石塚秀一	E41	H5	5'12"61	関カレ	大阪プール
4	松本照生	E37	H3	5'13"20	記録会	近畿大
5	田内俊英	N41	H5	5'13"50	関国公	臨海プール
6	鳥谷賢一	N46	H12	5'15"29	四大戦	大府大
7	大杉知明	K6	H8	5'29"30	記録会	和歌山大
8	記本貴寛	E42	H7	5'30"04	近国体	京都大
9	安井竜馬	T12	H15	5'31"21	近国体	ポートアイランド
10	杉本誠二	P5	H6	5'34"80	近国体	奈良県営

## 200mリレー

1	松本・伊藤・格谷・孫	H1	1'44"07	近国体	ポートアイランド
2	富永・石塚・出口・岡本	H5	1'45"30	近国体	臨海プール
3	串辺・小川・桶矢・松浦	H14	1'45"50	四大戦	岡大プール
4	石塚・出口・水野・須崎	H6	1'45"89	近国体	奈良県営
5	串辺・桶矢・松浦・西村	H15	1'46"03	近国体	ポートアイランド
6	伊藤・松本・格谷・西村	H2	1'46"13	近国体	大新公園
7	伊藤・石塚・岡本・出口	H4	1'46"39	近国体	太陽ヶ丘
8	松本・孫・松田・格谷	S63	1'46"64	近国体	大阪大
9	松本・伊藤・出口・柳瀬	H3	1'47"56	近国体	滋賀総合
10	安井・桶矢・佐藤・大野	H13	1'47"70	近国体	太陽ヶ丘

## 400mリレー

1	串辺・小川・長谷川・桶矢	H14	3'52"80	四大戦	岡大プール
2	松本・格谷・孫・伊藤	H1	3'55"41	関カレ	大阪プール
3	伊藤・石塚・水野・田内	H4	3'55"54	全国公	滋賀総合
4	伊藤・松本・格谷・西村	H2	3'55"77	全国公	松任市プール
5	石塚・藤波・水野・須崎	H6	3'55"85	全国公	奈良県営
6	石塚・藤波・出口・須崎	H5	3'57"57	関カレ	大阪プール
7	石塚・藤波・出口・伊藤	H3	3'58"31	関カレ	大阪プール
8	安井・松浦・中村・西村	H14	3'58"70	四大戦	岡大プール
9	松田・格谷・孫・松本	S63	3'58"85	関カレ	大阪プール
10	上田・松浦・桶矢・大野	H15	4'00"79	関国公	奈良県営

## 800mリレー

1	伊藤・石塚・水野・田内	H4	8'35"29	近国体	太陽ヶ丘
2	石塚・水野・藤波・田内	H5	8'40"14	全国公	広島総合
3	藤波・石塚・須崎・田内	H6	8'42"49	近国体	奈良県営
4	孫・格谷・伊藤・松本	H1	8'43"86	近国体	ポートアイランド
5	伊藤・山野・出口・松本	H3	8'44"11	近国体	滋賀総合
6	松本・伊藤・中山・格谷	H2	8'44"99	近国体	ポートアイランド
7	松田・格谷・松本・孫	S63	8'53"49	全国公	大新公園
8	田内・石塚・大杉・須崎	H7	8'55"33	関カレ	不明
9	小川・安井・桶矢・中村	H14	8'59"97	近国体	大阪プール
10	松浦・中村・串辺・桶矢	H14	9'01"98	関国公	奈良県営

## 400mメドレーリレー

1	出口・西村・石塚・伊藤	H4	4'14"26	近国体	太陽ヶ丘
2	出口・西村・石塚・藤波	H5	4'14"80	全国公	広島総合
3	格谷・西村・伊藤・松本	H2	4'15"57	近国体	大新公園
4	出口・記本・石塚・須崎	H6	4'18"80	全国公	大宮公園
5	出口・西村・伊藤・松本	H3	4'19"02	近国体	滋賀総合
6	格谷・岡崎・伊藤・松本	H1	4'24"53	近国体	ポートアイランド
7	大杉・記本・石塚・田内	H7	4'28"49	対東京	東京商船大
8	長谷川・安井・串辺・松浦	H15	4'28"55	近国体	ポートアイランド
9	恵美・記本・杉本・大杉	H8	4'32"49	関カレ	ポートアイランド
10	斎藤・宇都宮・山野・橋	S57	4'35"20	対東京	東京商船大

【女子】

50m自由形

1	原田真帆	N48	H13	32"19	関国公	奈良県営
2	林晶世	N38	H2	32"90	関カレ	大阪プール
3	長谷川真紀	N40	H5	33"90	近国体	臨海プール
4	長井香枝	N49	H15	34"32	関カレ	大阪プール
5	福岡美穂	E40	H5	34"60	記録会	和歌山大
6	松本京子	N47	H11	34"78	関国公	奈良県営
7	藤原祥子	N36	S62	34"80	四大戦	広島大
8	富永久貴	T10	H2	34"88	関カレ	大阪プール
9	中澄広実	N46	H12	35"76	関国公	奈良県営
10	長谷美喜	N31	S57	37"60	近国体	京都大

100m自由形

1	原田真帆	N48	H13	1'11"04	関カレ	大阪プール
2	林晶世	N38	H2	1'13"09	関カレ	大阪プール
3	長井香枝	N49	H15	1'14"35	近国体	ポートアイランド
4	安田あゆみ	K7	S62	1'14"40	近国体	京都大
5	松本京子	N47	H12	1'15"78	関国公	奈良県営
6	福岡美穂	E40	H6	1'16"04	兵カレ	王子プール
7	中澄広実	N46	H12	1'17"68	兵カレ	王子プール
8	菅沼登紀子	N35	S62	1'18"90	関カレ	大阪プール
9	富永久貴	T10	H2	1'19"51	関カレ	大阪プール
10	長谷川真紀	N40	H4	1'21"99	兵カレ	王子プール

200m自由形

1	原田真帆	N48	H12	2'40"30	四大戦	神戸商船大
2	福岡美穂	E40	H5	2'45"00	記録会	和歌山大
3	林晶世	E40	H1	2'46"27	関カレ	大阪プール
4	安田あゆみ	K7	H1	2'47"07	近国体	ポートアイランド
5	長井香枝	N49	H15	2'48"46	関国公	奈良県営
6	中澄広実	N46	H12	2'48"70	四大戦	神戸商船大
7	松本京子	N47	H12	2'54"70	四大戦	神戸商船大
8	富永久貴	T10	H1	3'00"47	近国体	ポートアイランド
9	菅沼登紀子	N35	S62	3'12"60	四大戦	広島大
10	道場加奈子	N46	H12	3'26"10	四大戦	大府大

## 400m自由形

1	安田あゆみ	K7	S62	5'28"00	近国体	京都大
2	原田真帆	N48	H12	5'42"00	四大戦	大府大
3	福岡美穂	E40	H5	5'56"00	記録会	和歌山大
4	中澄広実	N46	H12	6'03"50	四大戦	神戸商船大
5	道場加奈子	N46	H12	7'13"00	四大戦	神戸商船大
6	長谷美喜	N31	S57	7'14"10	兵カレ	西代プール

## 800m自由形

1	安田あゆみ	K7	S62	11'16"96	近国体	大阪プール
2	原田真帆	N48	H12	12'07"49	OB戦	神戸商船大
3	福岡美穂	E40	H6	12'12"39	兵カレ	王子プール
4	中澄広実	N46	H12	12'57"60	関カレ	大阪プール
5	菅沼登紀子	N35	S61	13'56"70	兵カレ	西代プール
6	長谷美喜	N31	S58	14'05"80	兵カレ	西代プール

## 1500m自由形

1	安田あゆみ	K7	S62	21'34"00	記録会	和歌山大
2	中澄広実	N46	H12	24'20"40	四大戦	神戸商船大
3	原田真帆	N48	H12	25'15"40	四大戦	神戸商船大
4	松本京子	N47	H12	26'47"40	四大戦	神戸商船大
5	道場加奈子	N46	H12	31'02"40	四大戦	神戸商船大

## 100mバタフライ

1	原田真帆	N48	H12	1'19"50	四大戦	大府大
2	福岡美穂	N40	H5	1'21"60	近国体	臨海プール
3	長井香枝	N49	H15	1'26"63	近国体	ポートアイランド
4	中澄広実	N46	H12	1'34"10	四大戦	大府大
5	安田あゆみ	K7	S61	1'34"75	全国公	福岡県営
6	長谷美喜	N31	S59	1'42"60	四大戦	大府大
7	角谷圭子	E36	S62	2'08"60	記録会	和歌山大

### 200mバタフライ

1	原田真帆	N48	H14	3'09"21	近国体	大阪プール
2	福岡美穂	E40	H6	3'09"45	近国体	奈良県営
3	安田あゆみ	K7	S62	3'16"30	近国体	京都大
4	中澄広実	N46	H12	3'33"60	四大戦	大府大
5	長井香枝	N49	H14	3'42"21	四大戦	岡大プール
6	長谷美喜	N31	S59	3'42"40	関カレ	大阪プール

### 100m背泳

1	菅沼登紀子	N35	S63	1'26"94	近国体	大阪大
2	原田真帆	N48	H12	1'31"80	白鷺杯	大府大
3	林晶世	N38	H3	1'31"95	関カレ	大阪プール
4	長井香枝	N49	H14	1'41"90	記録会	神戸商船大
5	長谷美喜	N31	S59	1'42"10	近国体	大阪大
6	長谷川真紀	N40	H3	1'42"18	近国体	滋賀総合
7	中澄広実	N46	H12	1'42"20	四大戦	神戸商船大
8	道場加奈子	N46	H11	1'46"51	関カレ	大阪プール
9	松本京子	N47	H12	1'53"30	四大戦	神戸商船大
10	富永久貴	T10	S63	1'55"38	関カレ	大阪プール

### 200m背泳

1	菅沼登紀子	N35	S63	3'06"98	近国体	不明
2	原田真帆	N48	H13	3'07"30	白鷺杯	大府大
3	中澄広実	N46	H12	3'34"50	四大戦	神戸商船大
4	長井香枝	N49	H14	3'47"61	対東京	神戸商船大

### 100m平泳

1	横野由佳	薬科	H15	1'27"02	近国体	ポートアイランド
2	中澄広実	N46	H12	1'28"34	関国公	奈良県営
3	原田真帆	N48	H12	1'33"20	四大戦	神戸商船大
4	長谷川真紀	N40	H4	1'37"07	関カレ	大阪プール
5	安田あゆみ	K7	S61	1'38"13	近国体	太陽ヶ丘
6	松本京子	N47	H13	1'48"30	四大戦	神戸商船大
7	長井香枝	N49	H14	1'49"77	白鷺杯	大府大
8	道場加奈子	N46	H12	1'51"40	四大戦	神戸商船大
9	石橋通子	K13	H15	1'51"65	白鷺杯	大府大
10	福岡美穂	E40	H3	1'52"90	記録会	和歌山大
11	近藤有紀	N48	H11	1'56"87	兵カレ	王子プール

## 200m平泳

1	原田真帆	N48	H13	3'07"03	四大戦	神戸商船大
2	横野由佳	薬科	H15	3'08"64	関カレ	奈良県営
3	中澄広実	N46	H11	3'12"60	近国体	不明
4	長谷川真紀	N40	H4	3'29"62	近国体	太陽ヶ丘
5	長井香枝	N49	H14	4'02"93	対東京	神戸商船大
6	松本京子	N40	H13	4'06"09	四大戦	神戸商船大

## 200m個人メドレー

1	原田真帆	N48	H12	3'00"02	関国公	奈良県営
2	中澄広実	N46	H12	3'07"70	兵カレ	王子プール
3	安田あゆみ	K7	S61	3'09"43	近国体	太陽ヶ丘
4	林晶世	N38	H3	3'12"80	記録会	和歌山大
5	富永久貴	T10	H3	3'25"41	関カレ	大阪プール
6	福岡美穂	E40	H4	3'26"40	四大戦	大府大
7	長井香枝	N49	H14	3'26"70	対東京	神戸商船大
8	長谷美喜	N31	S58	3'30"20	近国体	西代プール
9	柳田由美子	E43	H7	4'06"06	記録会	和歌山大

## 400m個人メドレー

1	原田真帆	N48	H14	6'30"27	白鷺杯	大府大
2	安田あゆみ	K7	S61	6'35"75	関カレ	大阪プール
3	中澄広実	N46	H12	6'40"20	四大戦	大府大
4	長谷美喜	N31	S58	7'27"20	全国公	呉・二河
5	柳田由美子	E43	H9	8'05"80	記録会	和歌山大

## 200mリレー

1	富永・菅沼・安田・林	H1	2'18"01	近国体	ポートアイランド
2	富永・林・福岡・長谷川	H3	2'20"67	関カレ	大阪プール
3	中澄・道場・松本・原田	H11	2'22"96	関国公	奈良県営
4	長井・石橋・空野・横野	H15	2'23"06	近国体	ポートアイランド
5	菅沼・藤原・安田・角谷	S62	2'24"30	近国体	京都大
6	中澄・松本・原田・近藤	H11	2'29"19	兵カレ	王子プール
7	長谷川・早川・石野・福岡	H4	2'42"50	四大戦	大府大

#### 400mリレー

1	林・菅沼・安田・富永	H1	5' 11"39	近国体	ポートアイランド
2	林・長谷川・福岡・富永	H3	5' 21"21	近国体	滋賀総合
3	横野・石橋・空野・長井	H15	5' 25"70	近国体	ポートアイランド
4	中澄・道場・松本・原田	H12	5' 25"82	白鷺杯	大府大
5	安田・菅沼・藤原・角田	S61	5' 28"10	近国体	太陽ヶ丘
5	中澄・道場・松本・原田	H12	5' 28"10	関国公	奈良県営

#### 400mメドレーリレー

1	菅沼・安田・林・富永	H1	6' 01"12	近国体	ポートアイランド
2	空野・横野・長井・石橋	H15	6' 09"41	近国体	ポートアイランド
3	林・長谷川・福岡・富永	H3	6' 11"34	近国体	滋賀総合
4	菅沼・角谷・安田・藤原	S62	6' 23"30	関カレ	大阪プール
5	富永・角谷・安田・菅沼	S63	6' 37"07	近国体	大阪大
6	中澄・道場・松本・原田	H11	6' 44"64	兵カレ	王子プール

### 「みずむし」のいわれ

みずむしとは・・・

手のひら、足のうらなどに小水疱、小膿疱、落屑(ラクセツ)等が集まってできる皮膚病。甲殻綱目ミズムシ科の節足動物。

体が茶色または黒色で、わが国各地の淡水に分布する。(広辞林)

実はこれではないのでして、我が神戸商船大学水泳部員は水泳の虫であるため、前後を取って水虫。漢字をひらがなにしただけのものです。

## 平成18年度凌泳会総会並びに懇親会

萩原 武・昭 37

### 【総会の部】

日時 平成18年5月220日(土) 午後1時より

場所 六甲台 神戸大学百年記念会館

出席者 柳田 泰義(部長) 本間 正信(副部長)

佐藤 一夫(昭 30) 岡村 司(昭 34) 野田 浩志(昭 36) 萩原 武(昭 37)  
得丸 哲士(昭 46) 長谷川 健(昭 49) 細谷 明夫(昭 51) 川本 典子(昭 51)  
松井 玲子(昭 52) 金 一波(昭 58) 羽瀬 智文(平 2) 家門 秀行(平 5)  
諫山 大介(平 9) 米田 晃士(平 17) 以上16名 ・・は懇親会出席者

連休の後、梅雨のはしりの天候不順が続いたが幸い五月晴れに恵まれ、コーペビューが素晴らしい、ここ神戸大学百年記念会館に佐藤副会長、柳田、本間両先生をはじめ16名の会員の出席を得て、今年度の総会及び懇親会が開催された。

冒頭に凌泳会の運営に身を捧げられた富岡会長はじめ3名の新たな物故会員に対して全員で黙祷を捧げ、冥福を祈ったあと議題の審議に移った。

ご逝去された会員は以下のとおりです。

学11/昭16 平井 洋 様 平18年2月逝去

学12/昭17 尾上 信三 様 平17年10月逝去

新4/昭31 富岡 道雄 様 平17年9月逝去

佐藤副会長挨拶 富岡会長亡き後、本会を引き継いで行くに当たってもう一度本会の発運営目的を確認しよう。その第一は、会員相互の連絡と親睦、その第二は水泳部の発展に寄与することである。第一については、ほぼ一通りの活動ができているとはいえるが、第二については財的支援と精神的支援の両面でもっとも活発化して欲しいと願っている。関東支部は試合応援のチャンスが少ないが、よく纏まって応援に駆けつけている。一方、関西は機会に恵まれているにもかかわらず、応援は寂しい限りである。

プールサイドからノ熱い声援が選手諸君にとってこの上ない励みとなることは皆さんが身を以って経験されたことです。

会費の納入率低迷も大問題です。今年度は寄付金と併せて200万円確保を達成したい。

そのためには本部幹事、運営委員、現役諸君のチームワークでOB訪問をもっと組織的に展開する必要がある。

柳田部長挨拶 凌泳会と故富岡会長への感謝の言葉。法人化3年経過でかなり落ちついて来た。世界に冠たる大学をめざして、研究分野で世界一、教育実績でも世界一、人材の育成も世界一を目標に、学長以下一丸となって邁進しているところです。

特に人材の育成分野での凌泳会の強力な支援をこれからもよろしく願いたい。

本間副部長挨拶 本学の各クラブのOB会の中でも凌泳会は特に活発で、学生の活動のバックボーンとして本当に心強く思っています。

### 一般経過報告 幹事長

以下の4項目について口頭での報告があった。

・富岡会長のご逝去および告別式での凌泳会としてのお送りについて

- ・商船大との統合記念全国大会の開催と協力へのお礼
- ・水球チームの全日本インターカレッジ大会出場と応援およびカンパご協力へのお礼
- ・羽瀬君受難に対する見舞い・激励・応援カンパご協力へのお礼

#### 1号議案 平成17年度決算報告および会計監査報告

諫山会計幹事より別紙内容の決算報告。名簿分冊化および凌泳誌ページ増等により35万円の赤字決算となった。予備費から充当した結果、今年度への繰越金は70万円に減少した。長谷川幹事の会計監査報告のあと承認された。

つづいて全国大会の収支について会計担当の西村さんが所用欠席のため諫山会計幹事が代って報告。記念事業としての水泳部へのペースクロックの寄付を含め17万円の黒字となった。内Tシャツ販売による4万円とTシャツの残は現役へのプレゼントとして引渡し、残13万円は今年度凌泳会収入に繰り入れた。承認。

#### 2号議案 本部役員改選 今年度(平成18年度)凌泳誌37ページ参照

富岡会長の逝去による本部役員の改選案が佐藤副会長からつぎの通り提案された。

新会長:野田 浩志(昭 36)、佐藤副会長退任し萩原 武(昭 37)が引き継ぎ、長谷川監事退任し佐藤 一夫(昭 30)が引き継ぎ、萩原幹事長退任し長谷川 健(昭 49)が引き継ぎ、本部幹事新任:得丸 哲士(昭 46)、コミュニケーションシステム担当幹事新任:家門 秀行(平 5)

以上6名異議なく承認された。つづいて柳田先生から西田副学長についてご紹介があり、特別顧問になっていただけたとのご内諾を得たので、近い内に野田新会長と水泳部幹部と一緒に正式にお願いに伺いたいと思っているがいかがか、とのご発言があった。

西田副学長はご自身も競泳選手として活躍され、商船大学では水泳部顧問を引き受けておられた。現在、海事科学部長、副学長として課外活動を受け持っておられます。

一同このうえない朗報と歓迎、柳田先生と野田新会長に改めてご足労をお願いすることとなった。

#### 続いて野田新会長挨拶

力のおよぶ限り凌泳会と水泳部の発展に尽くしたい。佐藤前副会長が話された物心両面での支援、そして故富岡前会長が腐心された組織の活性化、この二つの遺志をしっかり引き継いで行きたい。

1. より良い学生生活とクラブ活動のために今日より明日、一步でも前進・向上を。
2. 本年は三商大戦の当番校であり運営に遺漏なきよう、しっかり準備・対応したい。
3. 現役諸君のOB訪問は就職活動としてまた社会人としての基礎訓練として得難いチャンスである。これを活用しない手はない。会費を戴くことのみでなく、社会勉強と心得るべし。
4. 凌泳誌発送時に新会長のメッセージを同封したいのでよろしくたのむ。

#### 3号議案 会運営方針策定のためアンケート実施について 川本 典子さん提案

ここ数年の凌泳会行事や現役応援状況を見てきて強く感じることは女性と平成年代の会員の参加が低調だということです。この2大勢力を引き込むためにアンケートを実施して、その結果を運営企画に反映させてほしい。

上記趣旨説明に続いて、川本さんが準備されたタキキ台に沿って大筋を審議、細部は改めて実行委員で詰めて凌泳誌発送時に同封することが承認された。

#### 4号議案 水泳部活動報告、決算報告、予算案説明

小川前主将、田中競泳・井口水球両前主任からの前年度活動報告。

松村前主務はオーストラリア留学中にて、浦谷新主務より決算報告と予算案説明が併せて行われた。

つづいて加藤新主将、中村新競泳主任、宮崎新水球主任からの今年度目標表明。

加藤主将:三商大戦総合優勝。OB、OGの支えがあつての部活動を忘れない。

中村泳主:男子は関西インカレ2部昇格。女子は全国公団体出場。

宮崎球主:インカレ初戦突破。

以上まとめて承認。

#### その他自由議題

競泳の練習プログラムについて、専門知識を持つ西村 尚(準 みずむし会)にアドバイスを求めたらどうか。

これに対して金監督より、選手ひとり一人についての長期にわたる注意深い観察が前提であり、意見を求められた西村さんも困るだろうとの見解有り。

今年度より名簿が別冊になったがメンテナンスはどうするのか。

今年は正誤表を凌泳誌に同封発送する。来年以降は総会時に異動表を作成し、数年後時期を見て改訂版を発行する。管理は新幹事の家門 秀行君に集中する。

三商大戦は神戸が当番校であり、8月12日(土)に決まったので多数の会員の応援と大会運営協力をお願いする。

また市大戦は、7月15日(土)市大プールで予定されているので併せて応援をお願いします。

#### 【懇親会の部】

会場を隣接の農学部学生食堂に移し、現役との交流懇親会を開催した。

今年は常連の石井名誉顧問がやむを得ざる事由にて欠席の他、昭和50、60年代もいつもの半数、平成年代に至っては、家門君と米田君の二人だけという寂しさ。

野田新会長の音頭で乾杯。新旧なごやかな歓談の中、宴はいつもの活気に満ちあふれて締めくくりは岡村さん、商神は佐藤さんの音頭でめでたく大団円となった。

この場を借りて幹事長としての最後の仕事となった本日の総会を振り返り、一言申し述べさせていただきます。

最初に、今日まで至らぬ事ばかりの私を支えて下さいました会員各位に心から感謝し厚く御礼申し上げます。

次に、今日の総会が故富岡会長をお送りし野田新会長をお迎えして、凌泳会が新しい第一歩を踏み出す大事な総会であったにも拘わらず、近年希にみる出席者の少ない総会になってしまったことを幹事長としてお詫びしなければなりません。

凌泳会はこれまでも幾多の困難を先輩諸氏の献身的なご苦勞によって乗り越えてきました。私が今一番心配していることは、卒業直後の一番若手の会員の出席がほとんど無いことです。

四年間在学会員として総会に参加し、主務を中心として設営に苦勞してもらったのだから、総会の重要性をもっと理解してくれているはずだと信じていたのは誤りだったのでしょうか。

若い人の関心が維持されている限り組織はかならずよみがえります。老人クラブに成り下がってしまったら活力は無くなり、組織は衰微の一途をたどることでしょう。

まさにジャンヌダルクのように現れてくれた川本さんの提案に感動と感謝の気持ちでいっぱいです。どうか皆さんの絶大なご協力を願ってやみません。

以上

(萩原記)

## 平成17年度 凌泳会決算報告書

平成17. 4. 1～平成18. 3. 31

### <収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	実績額	備考
会費	1,300,000 (164名)	1,264,000 (164名)	新入会員15名 みずむし会29名が参加 会費納入対象者 345名
寄付金	300,000	290,050	49名
インカレ寄付金		307,700	
小計	1,600,000	1,861,750	
雑収入	10	2	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	1,036,109	1,036,109	
合計	2,636,119	2,897,861	

【参照】会員総数483名(会費免除者85、夫婦会員14、準会員56)

### <支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	500,000	662,987	総会補助(2万円)、場所代(2万円)、案内葉書代等(4万円) 「凌泳」印刷(40万円 前年度+8万円)、発送代(18万円 前年度+6万円) ※前年度支出がなかった場所代、凌泳印刷発送代の増加により、大幅な予算オーバー
月見の宴	60,000	49,148	月見の宴案内状発送
会費督促	40,000	15,080	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	7,000	6,520	支払い手数料、振込用紙代
銀行振替手数料負担	70,000	70,980	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	950,000	950,000	4、7月に分けて出金(収入に占める割合約70%) 100,000 冬場練習プール確保のため、臨時に援助 307,700 インカレ寄付金
全国大会積立	20,000	20,000	H13年度より再スタート(累計10万円)
その他、事務連絡、雑費	15,000	22,810	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費等
予備費	974,119	692,636	
合計	2,636,119	2,897,861	

※監査役による会計監査済みの印

平成18年4月22日

凌泳会監査役 長谷川 舞 印

### 全国大会会計

収入		
会費(本人60名家族3名)	429,000	
積み立て金	100,000	
合計	529,000	
支出		剰余金
材料費など	293,706	
記念品代	100,000	
合計	393,706	135,294

※Tシャツ 4月22日現在

仕入れ 255,000円 売上 248,000円(124/200着)

不足金 7,000円現校立替

未販売のTシャツ76着の売上は水泳部援助とする。

## 平成18年度 凌泳会予算案

平成18. 4. 1～平成19. 3. 31

### <収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	対前年	備考
会費	1,350,000 (170名)	86,000	新入会員13名、会費免除者11名増 会費納入対象者 349名
寄付金	350,000	59,950	
小計	1,700,000	145,950	
雑収入	10	8	郵便局、銀行預金利息
全国大会剰余金	135,294	135,294	一般会計剰余金
前年度繰越金	692,636	-343,473	
合計	2,527,940	-62,221	

【参照】会員総数496名(会費免除者96、夫婦会員14、準会員54)

### <支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	750,000	87,013	総会補助、「凌泳」印刷(50万円)、発送
月見の宴	50,000	852	月見の宴案内状発送、懇親会補助
会費督促	30,000	14,920	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	7,000	480	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	-980	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	900,000	-50,000	4、6月に分けて出金、OB訪問交通費補助
全国大会積立	20,000	0	H18年度より再スタート(累計2万円)
その他、事務連絡、雑費	15,000	-7,810	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費等
予備費	685,940	-6,696	
合計	2,527,940	37,779	

2005 年度 神戸大学体育会水泳部決算報告書

(H. 17.4.1~H. 18.3.31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	実績	備考
前年度繰越金		89,176	89,176	
現役部員負担	部費現役負担分	180,000	165,000	部費(選手6,000円/年マネ3,000円/年)
	スポーツ保険1割負担	12,000	2,700	加入者1人当たり1,500円
	全国公道征費(合計)	2,000,000	2,414,330	会場:岩手 一人単価65,252円
	合宿費(合計)	1,000,000	784,900	参加者:16名 一人単価49,056円 交通費:346,300円 食費:134,880円 宿泊費:184,000円 雑費:4,200円 プール使用料:115,520円
	プール利用費	0	108,150	
学校助成金	青友会助成金	106,000	120,000	
	青友会助成金(海軍)	75,000	0	
	体育会費(海軍)	200,000	0	
	甲南女子大学補助金	0	5,000	
	スポーツ保険助成金	18,000	24,300	
	近国交通費補助	0	13,320	
渡泳会	水泳部援助金	950,000	950,000	
	月見懇親会補助金	25,000	5,000	OB有志より寄付
	プール利用費補助金	0	100,000	
	プール利用費補助金(みずむし)	0	50,000	
	水球インカレ補助金	0	331,700	
年間利子		0	6	
収入合計		4,655,176	5,163,582	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	実績	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	120,000	138,000	日本水泳連盟選手登録費
	日本学生補助費	39,000	48,000	インカレ運営補助金
	競泳エントリー代	600,000	564,300	出場試合: 春季短水路、大阪学生、夏季公認 兵庫学生、石川学生、関国、近国 チャレンジミート、全国公、関カレ
	水球エントリー代	250,000	224,110	出場試合: 関西選手権、オープンリーグ 春リーグ、秋リーグ 西日本選手権、インカレなど
	水球インカレ補助金	0	331,700	
	全国公道征費(合計)	2,000,000	2,414,330	
プール利用費		0	258,150	11月:23,250円 12月:49050円 1月:51750円 2月:77250円 3月:56850円
合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	1,000,000	784,900	
体育会費		96,000	81,000	
スポーツ保険費	加入費一時負担	12,000	2,700	
燃料費	風呂用灯油	7,000	1,296	
通信費	葉書代	50,000	31,200	初泳ぎ案内
	郵送費	0	2,760	
会合費	OB関係行事	110,000	8,000	渡泳総会・月見の宴・初泳ぎ 懇親会
	対抗戦	50,000	0	
広告費	広告掲載費	15,000	45,420	
交通費		30,000	14,590	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	80,000	29,516	
	水球用備品	60,000	41,691	
	プログラム購入費	10,000	13,300	
雑費		100,000	43,710	
次年度繰越金		26,176	84,909	
支出合計		4,655,176	5,163,582	

2006 年度 神戸大学体育会水泳部予算案

(H. 18.4.1~H. 19.3.31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
前年度繰越金		36,909	-52,267	
現役部員負担	部費現役負担分	219,000	54000	部費(選手6,000円/年+マネ3,000円/年)
	スポーツ保険負担	12,000	9300	加入者1人当たり,500円
	全国公遠征費(合計)	1,800,000	-614330	
	合宿費(合計)	800,000	15100	
学校助成金	育友会助成金	120,000	0	
	育友会助成金(海事)	0	0	
	体育会費(海事)	0	0	
	スポーツ保険助成金	18,000	-6300	
凌泳会	水泳部援助金	950,000	0	
	月見観覧会補助金	20,000	15000	
	OB訪問交通費補助	0		上記水泳部援助金に含まれる
年間利子			-6	
収入合計		3975909		

<支出の部>

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	132,000	-6000	日本水泳連盟選手登録費
	日本学生補助費	45,000	-3000	インカレ運営補助金
	競泳エントリー代	600,000	35700	出場予定試合↓ 春季短水路、大阪学生、夏季公認 兵庫学生、石川学生、関国、近国 チャレンジミート、全国公、関カレ
	水球エントリー代	250,000	25890	出場予定試合↓ 関西選手権、オープンリーグ 春リーグ、秋リーグ 西日本選手権、インカレなど
	全国公遠征費(合計)	1,650,000	-764330	
合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	800,000	15100	
体育会費		90,000	9000	
スポーツ保険費	加入費一時負担	12,000	9300	
燃料費	風呂用灯油	3,000	1704	
通信費	葉書代	50,000	18800	初秋ぎ案内
会合費	OB関係行事	30,000	22000	凌泳総会・月見の宴・初秋ぎ 観覧会
	対抗戦	30,000	30000	
広告費	広告掲載費	50,000	4580	
交通費		25,000	10410	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	40,000	10484	
	水球用備品	50,000	8309	
	プログラム購入費	15,000	1700	
雑費		60,000	16290	
次年度繰越金		43,909	-41000	
支出合計		3975909		



Photo 凌泳会総会  
(2006年5月20日)

## 編集後記

古谷 祐希・I3回生・Polo マネ

シーズンに入り、昨年以上の成績を目指して今年も部員一同日々がんばって泳いでおります。

新企画のリレー随想がはじまるなど前号よりの変更点が多く色々と戸惑いでしたが OB 諸兄、現役の部員のご協力により今号も無事に完成させることが出来ました。編集にご協力くださいました皆様、そして御迷惑をおかけした方々に厚く御礼申し上げます。

川本 典子・昭51

凌泳会会員としては劣等生の川本です。このたび、現役時代に出筆して以来、ん～十年ぶりに会誌の編集をお手伝いさせていただきました。フォーマットの統一などリニューアルを試みましたが、まだ満足はしておりません。今後とも、良き伝統は守りつつ、改善できるところは徐々に改めてゆきたいと思っておりますので、ご意見・ご要望などお寄せください。

ご出筆いただきました皆様、ワープロ入力をお手伝いくださった皆様、各種連絡や写真提供をくださった方々に厚く御礼申し上げます。

### 原稿募集

『凌泳』誌は会員相互の連絡と親睦を図り、あわせて現役部員とOB・OGの連携を強化するための機関誌です。本誌をより楽しいものにするため、多数の方々のご投稿をお待ちしています。

- 人名や固有名詞は正確・明瞭にお書きください。会員名が登場する場合は、卒業年を明記ください。(昭52、平14 等)
- 写真も歓迎します。
- 原稿の締切は毎年2月末、発行は5月中旬です。
- ワープロの場合： 最大40字詰め×最大100行まで。写真は jpg データで。

(送り先) メールに添付して下記アドレスまで

kawamoto\_noriko@cosmopolis.co.jp

手書きの場合： 最大400字詰め原稿用紙5枚まで。写真は紙焼きで。

(送り先) 神戸大学体育会水泳部 凌泳編集幹事宛

以上(凌泳編集幹事)